LIXIL TOEX

樹ら楽ステージ　取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきまして誠にありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
　表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。

🔑ポイント

●部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
　・当製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
　・平らな場所に立てかけないように保管してください。
　・暖房機や焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
　・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
●設置場所を確認してください。
　・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。
　・施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
●人工木は表面に研磨加工処理を施してありますので、床板の施工方向によっては色調に濃淡が出ます。
●デッキ上にフェンス、ガーデンルームの柱等を設置する場合は、必要に応じて、あらかじめ床板補強材を取付けてください。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
●施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
●市販の研磨紙を利用する際は、40番の研磨紙を用いてください。

＜施工の前に＞（つづき）

ポイント

●施工の前に、使用する取付説明書を確認してください。
●取付ける部材によって施工手順が変わる場合があります。施工内容を十分確認してください。

樹ら楽ステージ取説区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
デッキの施工 束柱施工位置決め	自然浴家族ジーマ デッキ編(樹ら楽ステージ)	E362
	暖蘭物語 デッキ編(樹ら楽ステージ)	E363
	フィリアⅡ デッキ編(樹ら楽ステージ)	E364
	ココマ デッキ編(樹ら楽ステージ)	E361
	樹ら楽ステージ　多段幕板	E351
	樹ら楽ステージ スロープ	E366
デッキの施工 基礎石の配置	樹ら楽ステージ	E343
デッキの施工 補助根太の位置出し	樹ら楽ステージ	E343
	樹ら楽ステージ　点検口・収納蓋	E344
デッキの施工 補助根太の取付け	樹ら楽ステージ	E343
	樹ら楽ステージ　点検口・収納蓋	E344
デッキの施工 床板補強材の位置出し	自然浴家族ジーマ デッキ編(樹ら楽ステージ)	E362
	フィリアⅡ デッキ編(樹ら楽ステージ)	E364
	アーキレール 樹ら楽ステージ デッキ施工用	C399
	樹ら楽ステージ　モダンデッキフェンス	E348
	樹ら楽ステージ　ボードラインフェンス	E349
	樹ら楽ステージ　ウッドパーティション	E352
	樹ら楽ステージ　サニーブリーズフェンス(デッキ仕様)	E353
	樹ら楽ステージ　ラフィーネフェンス(デッキ仕様)	E354
	樹ら楽ステージ　デザイナーズパーツフェンス(デッキ仕様)	E355
	樹ら楽ステージ　デッキフェンス	E358
デッキの施工 床板補強材の取付け	樹ら楽ステージ	E343
デッキの施工 床板の取付け	樹ら楽ステージ	E343
	樹ら楽ステージ　ノンレールサッシ納め部材	E346
デッキの施工 幕板の取付け	樹ら楽ステージ	E343
	樹ら楽ステージ　多段幕板	E351
内面デッキの施工 柱の建て込み ～内面デッキの取付け	自然浴家族ジーマ デッキ編(樹ら楽ステージ)	E362
	暖蘭物語 デッキ編(樹ら楽ステージ)	E363
	フィリアⅡ デッキ編(樹ら楽ステージ)	E364
	ココマ デッキ編(樹ら楽ステージ)	E361

＜施工上のご注意＞

注 意

●束柱の移動範囲は弊社指定範囲にしてください。
●製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
　φ4ネジ：1.5N・m
　φ5ネジ：3.0N・m
●基礎石は指定寸法以上のものを使用し、確実に設置してください。
●コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固防止剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

ポイント

●モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具)を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、研磨してある方向に沿って行なってください。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
●施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

補 足

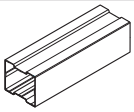
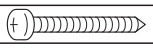
●本書では、縦張りを基本とした施工方法を説明しています。

INDEX

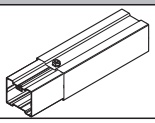
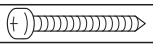
1　梱包明細表 …… 5
2　施工時の重要確認事項 …… 11
3　基本寸法と各部名称 …… 12
　1．各部名称 …… 12
　2．詳細納まり …… 13
　3．基本寸法 …… 15
　4．床板横張り基本寸法 …… 19
4　束柱・大引の施工 …… 23
　1．基礎の施工 …… 23
　2．束柱・大引の取付け …… 24
　3．根がらみの取付け オプション …… 28
　4．筋交いの取付け …… 29
　5．土間施工 …… 31
5　床板の施工 …… 33
　1．側面幕板取付材の取付け …… 33
　2．床板の取付け …… 34
　3．床板の上止め …… 37
6　幕板の施工 …… 40
　1．幕板Aの施工 …… 40
　2．幕板Bの施工 …… 45
7　幕板の大引固定 …… 53
　1．幕板Aの大引固定 …… 53
　2．幕板Bの大引固定 …… 55
8　隅切り・R施工 …… 56
　1．床板取付上の注意 …… 56
　2．補助根太の取付け …… 57
　3．フリーコーナーの幕板Aの取付け …… 59
　4．フリーコーナーの幕板Bの取付け …… 60
9　床板補強材の取付け …… 62
　1．床板補強材の取付け …… 62
10　オプション …… 63
　1．くり貫き部幕板の取付け オプション …… 63
　2．タイルフロアーの取付け オプション …… 66
　3．躯体付けアングルの取付け オプション …… 70
　4．床板キャップの取付け オプション …… 71
　5．躯体側隙間塞ぎ材の取付け オプション …… 71
　6．ポイントライトの取付け オプション …… 72
11　関連商品への取付け …… 73
　1．テラスとの接続 …… 73
　2．ほせるんですⅡ、サンクスペースⅡ、ルームトラスとの接続 …… 75
　3．ノンレールサッシとの接続 …… 76
12　施工後の補修 …… 77

1　梱包明細表

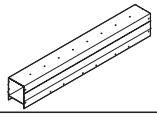
【1】束柱Aセット

名　称	略　図	員　数			
		1本入り	4本入り	6本入り	9本入り
束柱A		1	4	6	9
束柱固定金具		1	4	6	9
【1-1】φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6	9
【1-2】φ4×13ナベドリルネジ		5	20	30	45

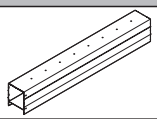
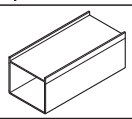
【2】束柱Bセット

名　称	略　図	員　数		
		1本入り	4本入り	6本入り
束柱B		1	4	6
束柱固定金具		1	4	6
【2-1】φ5×35セルフタップアンカー		1	4	6
【2-2】φ4×19ナベドリルネジ		9	36	54

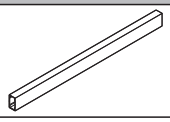
【3】大引セット

名　称	略　図	員　数	
		1本入り	2本入り
大引		1	2

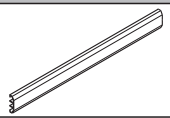
【4】大引セット（連棟用）

名　称	略　図	員　数	
		1本入り	2本入り
大引（連棟用）		1	2
大引スリーブ		1	2
【4-1】φ4×19ナベドリルネジ		9	17

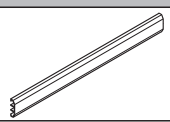
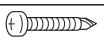
【5】筋交いセット

名　称	略　図	員　数	
		2本入り	3本入り
筋交い		2	3
筋交いキャップ		4	6
【5-1】φ4×25ナベドリルネジ		4	6

【6】根がらみ6尺、7尺　オプション

名　称	略　図	員　数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【6-1】φ4×19ナベドリルネジ		6	9

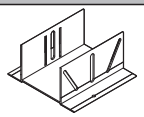
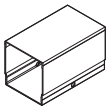
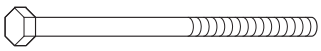
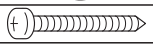
【7】根がらみ8尺、9尺、10尺　オプション

名　称	略　図	員　数	
		2本入り	3本入り
根がらみ		2	3
【7-1】φ4×19ナベドリルネジ		9	12

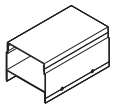
E343_201305A

■梱包明細表（つづき）

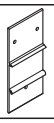
【8】土間施工部品セット

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	4個入り	6個入り
大引支持台		1	4	6
大引スペーサー		1	4	6
スライドナット		1	4	6
【8-1】M6×90六角ボルト		1	4	6
【8-2】M6バネ座金		1	4	6
【8-3】M6平座金		1	4	6
【8-4】φ5×35セルフタップアンカー		2	8	12
【8-5】φ4×16ナベドリルネジ		6	24	36

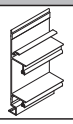
【9】土間施工 高さ調整部品セット

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	4個入り	6個入り
大引補助スペーサー		1	4	6
【9-1】φ4×16ナベドリルネジ		4	16	24

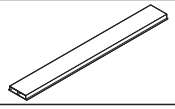
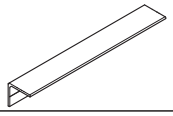
【10】側面幕板A取付材セット

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板A取付材		1	3	5
幕板金具A1		1	3	5
【10-1】φ4×16トラスタッピンネジ1種		3	9	15
【10-2】φ4×20ナベタッピンネジ2種G=5		4	12	20
【10-3】φ4×40サラドリルネジ		2	2	2

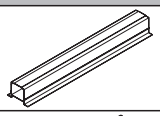
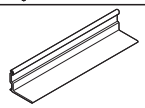
【11】側面幕板B取付材セット

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
側面幕板B取付材		1	3	5
幕板B取付補助部材		2	4	6
【11-1】φ4×19サラドリルネジ		6	12	18
【11-2】φ4×20ナベタッピンネジ2種G＝5		4	12	20
【11-3】φ4×30トラスタッピンネジ1種		4	8	12

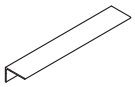
【12】床板補強材

名　称	略　図	員 数
床板補強材		1
大引アングル		4
【12-1】φ4×13ナベドリルネジ		20
【12-2】φ4×70トラスタッピンネジ1種		24

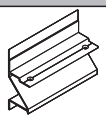
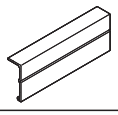
【13】補助根太セット　オプション

名　称	略　図	員 数
補助根太		1
補助根太取付部品		4
【13-1】φ4×13ナベドリルネジ		16

【14】躯体付けアングルセット　オプション

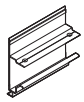
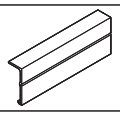
名　称	略　図	員 数
躯体付けアングル		1
【14-1】φ6×70六角タッピンネジ1種		6

【15】正面幕板A取付材セット（大引固定用）

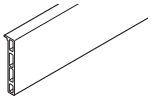
名　称	略　図	員 数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材（大引固定用）		1	3	5
大引取付部材		1	3	5
【15-1】φ4×16トラスタッピンネジ1種		4	12	20
【15-2】φ4×13ナベドリルネジ		3	9	15
【15-3】φ4×30サラドリルネジ		2	2	2

■梱包明細表（つづき）

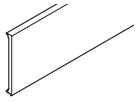
【16】正面幕板B取付材セット(大引固定用)

名　称	略　図	員 数		
		1個入り	5個入り	8個入り
正面幕板B取付材(大引固定用)		1	5	8
大引取付部材		1	5	8
【16-1】φ4×25サラドリルネジ		4	12	18
【16-2】φ4×13ナベドリルネジ		4	20	32

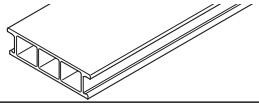
【17】幕板Aセット

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板A		1	2

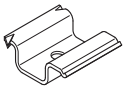
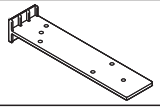
【18】幕板Bセット

名　称	略　図	員 数	
		1本入り	2本入り
幕板B		1	2

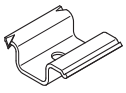
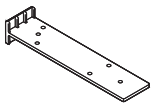
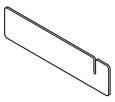
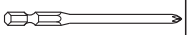
【19】床板セット

名　称	略　図	員 数		
		1本入り	2本入り	3本入り
床板		1	2	3

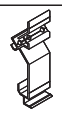
【20】床板取付部品セット

名　称	略　図	員 数		
		基本	追加40	追加20
横止め金具		60	40	20
穴開け治具		1	—	—
補修用研磨紙		2	—	—
【20-1】φ4×13ナベドリルネジ		66	44	22
【20-2】φ4×12ナベタッピンネジ1種		6	—	—
取付説明書〈E343〉	—	1	—	—
取扱説明書〈UE089〉	—	1	—	—

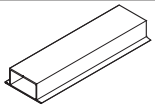
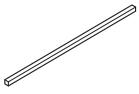
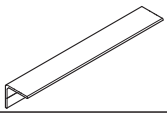
【21】床板取付部品セット(補修用) オプション

名　称	略　図	員　数	
		横止め補修	上止め補修
横止め金具		10	5
穴開け治具		1	1
横止め金具移動治具		1	1
交換用ビット		1	1
補修用研磨紙		1	1
【21-1】φ4×65サラドリルネジ		—	20
【21-2】φ4×13ナベドリルネジ		12	7
取付説明書〈E343〉	—	1	1

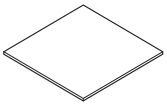
【22】くり貫き部用幕板固定金具セット オプション

名　称	略　図	員　数
くり貫き部用幕板固定金具		4
正面幕板B取付材(床板固定用)		4
【22-1】M4×25サラ小ネジ		8
【22-2】M4六角ナット		8
【22-3】M4平座金		8
【22-4】M4バネ座金		8
【22-5】φ4×25サラドリルネジ		16
【22-6】φ4×30ナベドリルネジ		8

【23】タイルフロアー根太セット オプション

名　称	略　図	員　数
タイルフロアー根太		3
隙間隠しパッキン		4
大引アングル		6
【23-1】φ4×13ナベドリルネジ		25
【23-2】φ4×35サラドリルネジ		10

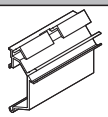
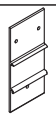
【24】タイルフロアーベース オプション

名　称	略　図	員　数
タイルフロアーベース		1

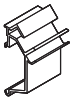
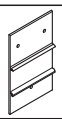
【25】タイルフロアー オプション

名　称	略　図	員　数
タイルフロアー		9

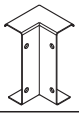
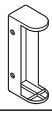
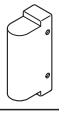
【26】正面幕板A取付材セット(床板固定用)

名　称	略　図	員　数		
		1個入り	3個入り	5個入り
正面幕板A取付材(床板固定用)		1	3	5
幕板金具A1		1	3	5
【26-1】φ4×16トラスタッピンネジ1種		3	9	15
【26-2】φ4×30ナベドリルネジ		2	6	10
【26-3】φ4×40サラドリルネジ		2	2	2

【27】コーナー幕板A取付材セット(角度切り用) オプション

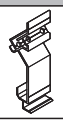
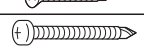
名　称	略　図	員　数
正面幕板A取付材 (角度切り用)		2
幕板金具A2		1
【27-1】φ4×16トラスタッピンネジ1種		3
【27-2】φ4×30ナベドリルネジ		4

【28】幕板Aコーナーキャップセット

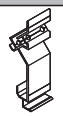
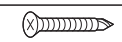
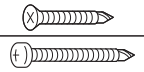
名　称	略　図	員　数		
		90°	入隅	フリー
幕板A90°コーナーキャップ		1	—	—
幕板A入隅コーナーキャップ		—	1	—
幕板Aフリーコーナー キャップ1		—	—	1
幕板Aフリーコーナー キャップ2		—	—	1
【28-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		4	4	4

E343_201305A

【29】正面幕板B取付材セット(床板固定用)

名　称	略　図	員　数		
		1個入り	5個入り	8個入り
正面幕板Ｂ取付材(床板固定用)		1	5	8
【29-1】φ4×25サラドリルネジ		4	12	18
【29-2】φ4×30ナベドリルネジ		2	10	16

【30】コーナー幕板B取付材セット(R用/角度切り用)　オプション

名　称	略　図	員　数
正面幕板Ｂ取付材(床板固定用)		2
【30-1】φ4×25サラドリルネジ		4
【30-2】φ4×30ナベドリルネジ		4

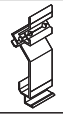
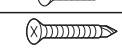
【31】幕板Bコーナーキャップセット

名　称	略　図	員　数		
		90°	入隅	フリー
幕板B90°コーナーキャップ		1	−	−
幕板B入隅コーナーキャップ		−	1	−
幕板Bフリーコーナーキャップ1		−	−	1
幕板Bフリーコーナーキャップ2		−	−	1
【31-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2	2	4

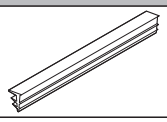
【32】幕板Aジョイントカバーセット

名　称	略　図	員　数
幕板A連結キャップ		1
【32-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2

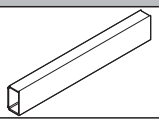
【33】幕板Bジョイントカバーセット

名　称	略　図	員　数
幕板B連結キャップ		1
正面幕板Ｂ取付材		1
【33-1】φ4×14サラタッピンネジ1種		2
【33-2】φ4×25サラドリルネジ		2
【33-3】φ4×30ナベドリルネジ		2

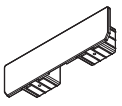
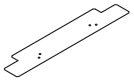
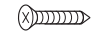
【34】躯体側隙間塞ぎ材　オプション

名　称	略　図	員　数
躯体側隙間塞ぎ材		1

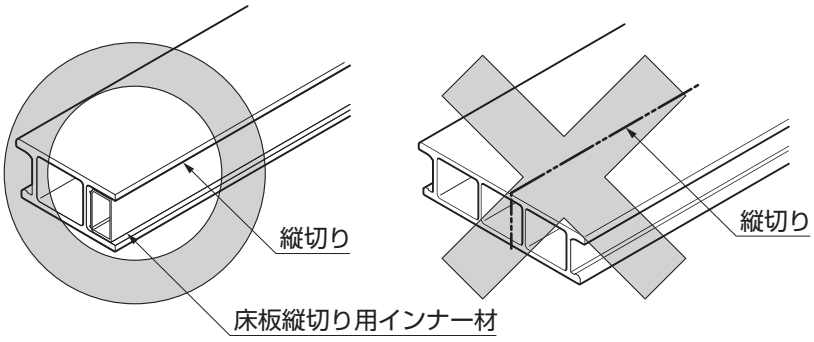
【35】床板縦切り用インナー材　オプション

名　称	略　図	員　数
床板縦切りインナー材		1
【35-1】φ4×16サラドリルネジ		4

【36】床板キャップ　オプション

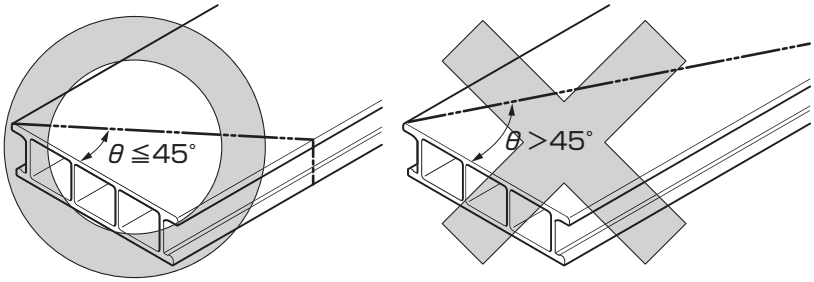
名　称	略　図	員　数	
		2個入り	10個入り
床板キャップ		2	10
床板キャップ穴開け治具		1	1
【36-1】φ4×16サラタッピンネジ1種		4	20

2　施工時の重要確認事項



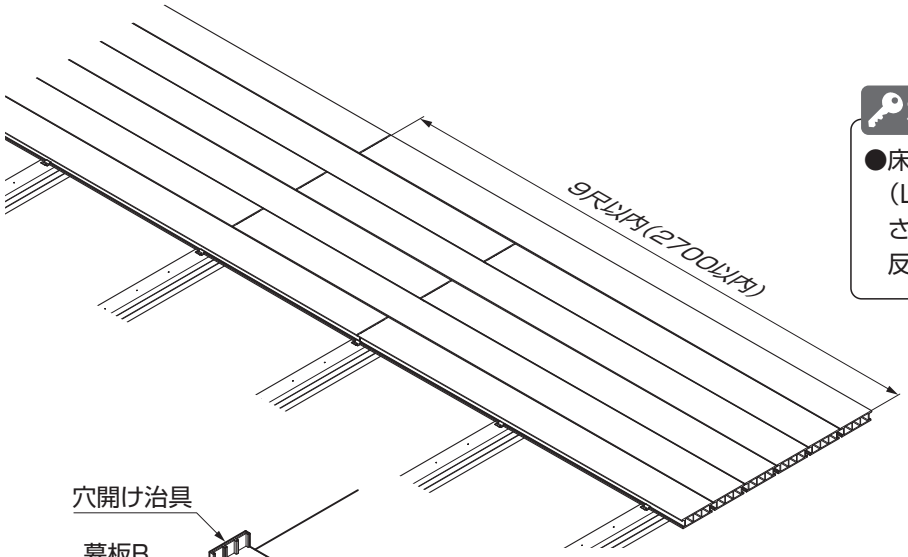
ポイント

●床板の間口調整は、床板枚数単位で行なってください。
●納まり上、床板の縦切りが部分的に必要な場合は、「床板縦切りインナー材」を使用してください。（P.38「3-2 床板を縦切りする場合」参照）



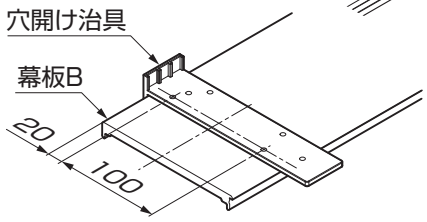
ポイント

●床板を斜め切りするときは、45°以内にしてください。
切り込み過ぎは、材料の変形・破損の原因になります。



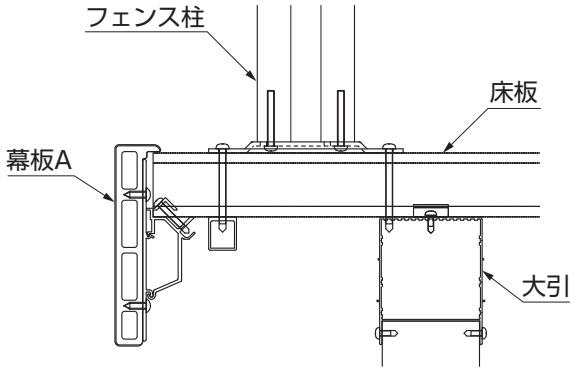
ポイント

●床板を長さ方向に連結する場合は、9尺（L=2700）以内の床板を使用してください。それより長い床板を連結すると、反り・変形の原因になります。



ポイント

●床板・幕板を取付ける際は、専用の穴開け治具を使い固定してください。ネジの打込み位置がずれると、材料の変形・破損の原因になります。

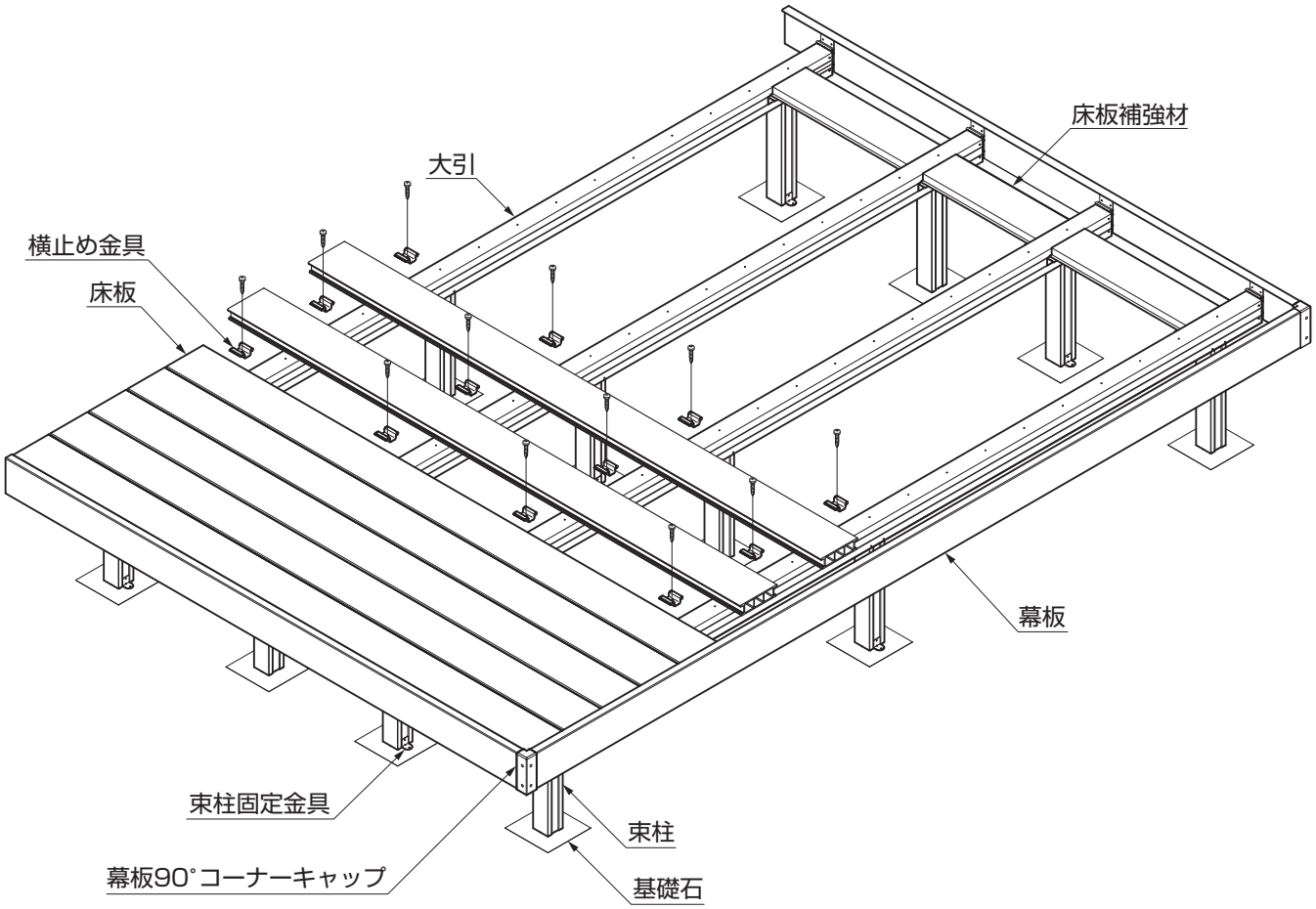


ポイント

●デッキにフェンス柱を取付ける場合は、各フェンスの取付説明書を必ず確認してください。

3　基本寸法と各部名称

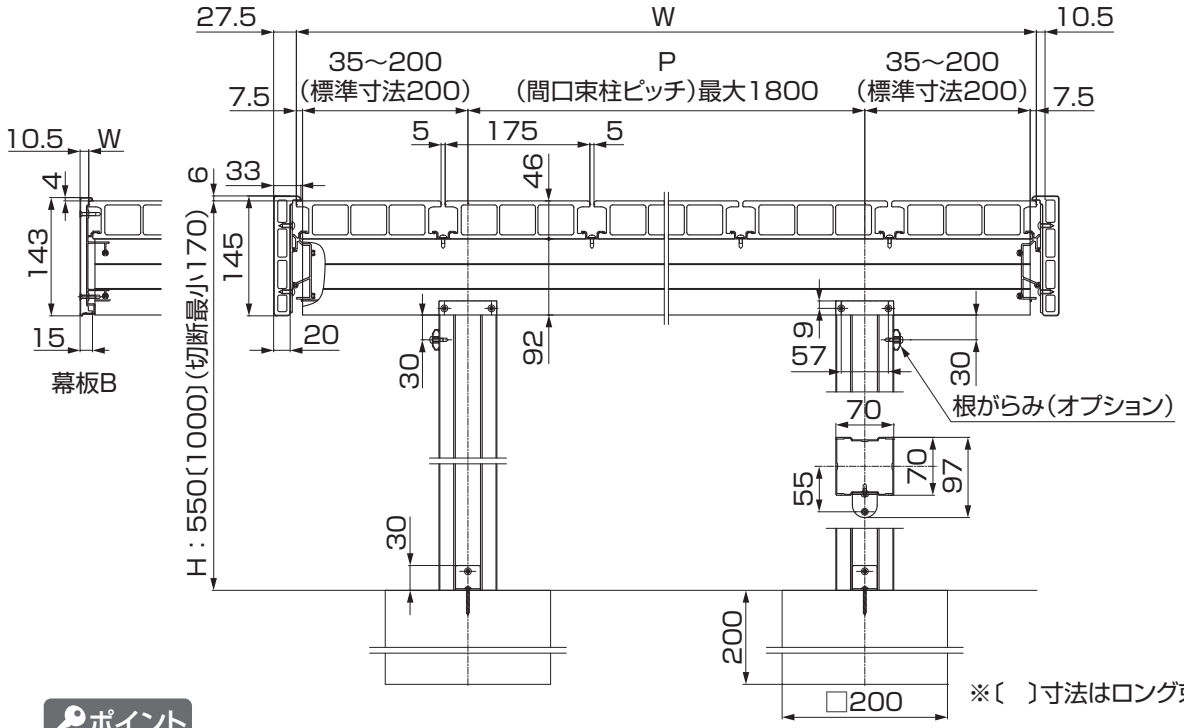
1. 各部名称



E343_201305A

2. 詳細納まり

2-1 幕板床板固定　間口方向納まり図(正面) ※標準束柱・幕板A仕様の場合を示します。

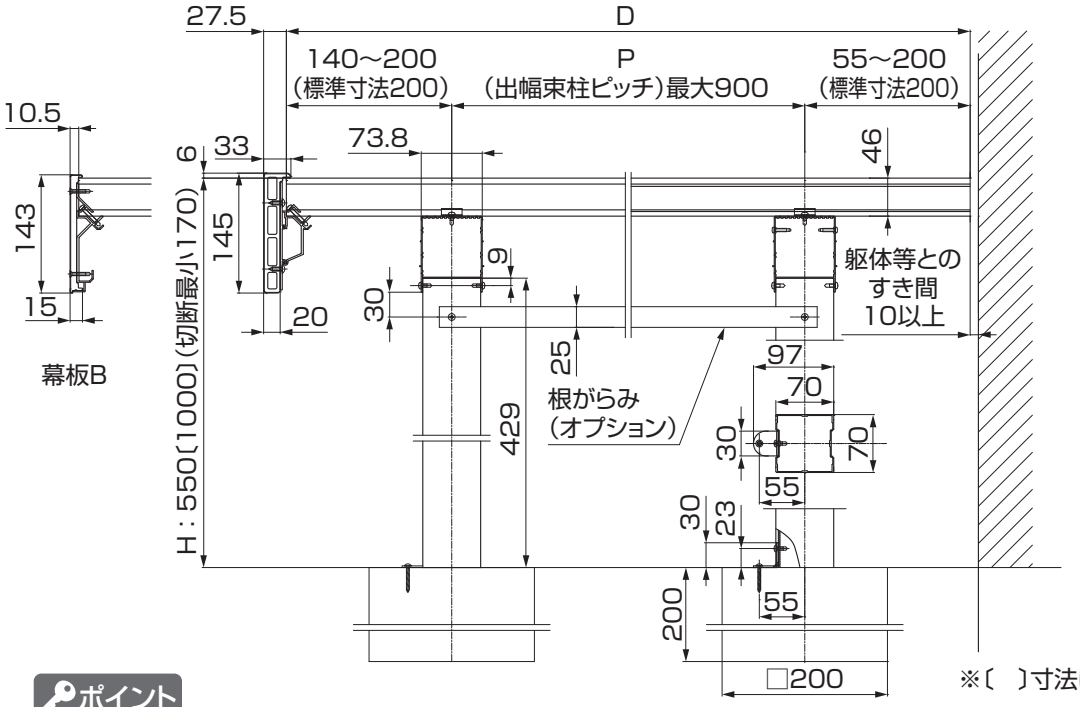


※〔 〕寸法はロング束柱の場合

ポイント

- デッキの間口最大寸法は、W+55mm(21mm)です。( )は、幕板B寸法です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A：170mm、束柱B：250mmです。

2-2 幕板床板固定　出幅方向納まり図(側面) ※標準束柱・幕板A仕様の場合を示します。



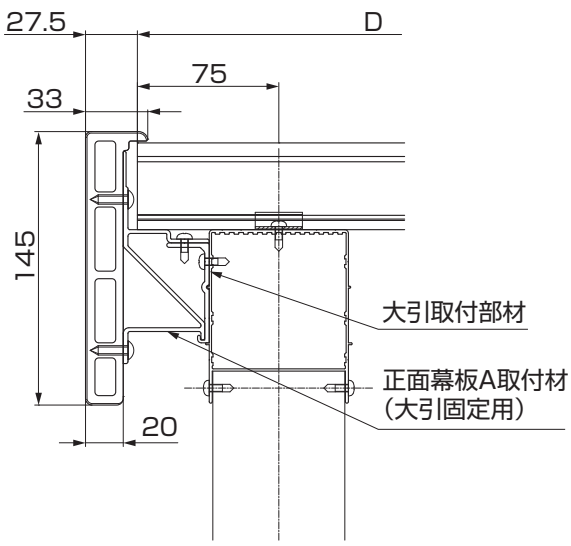
※〔 〕寸法はロング束柱の場合

ポイント

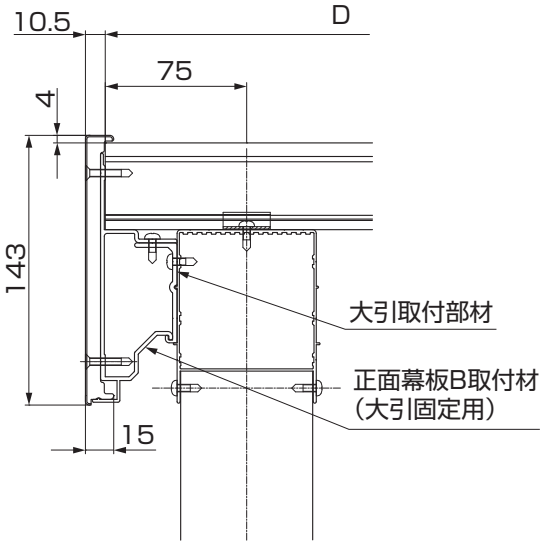
- デッキの出幅最大寸法は、D+27.5mm(10.5mm)です。
- デッキ最低H寸法は、束柱A：170mm、束柱B：250mmです。

2. 詳細納まり（つづき）

2-3 幕板大引固定　出幅方向納まり図(側面)



幕板A

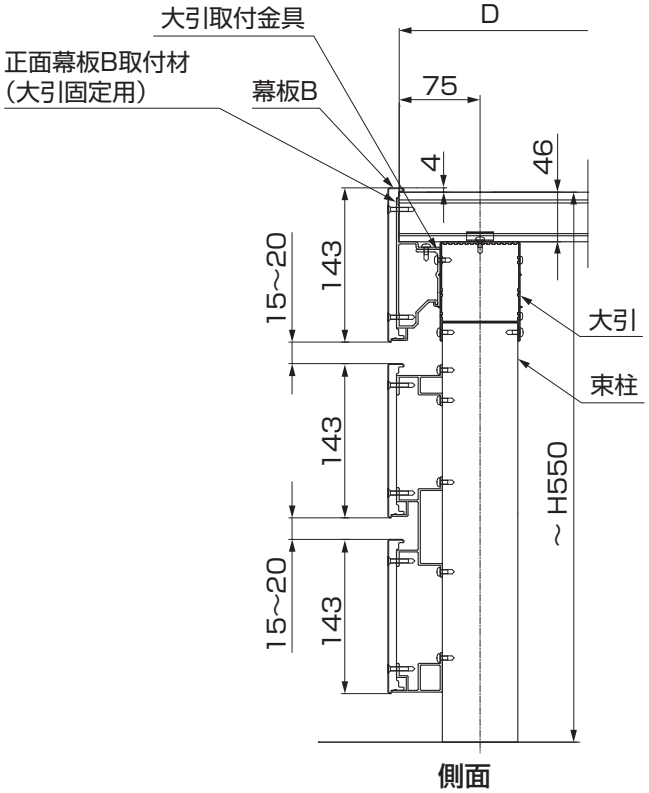


幕板B

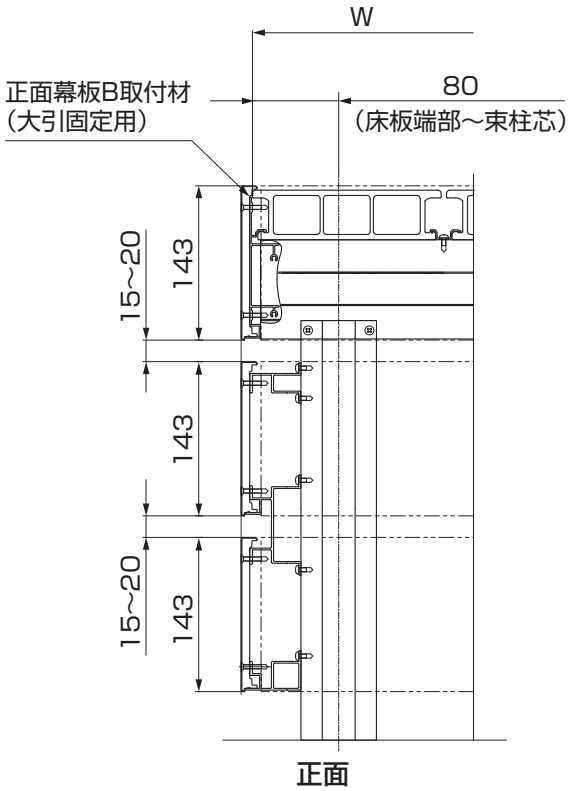
ポイント

- ●デッキの出幅最大寸法は、D+27.5mm(10.5mm)です。
- ●デッキの間口最大寸法は、W+55mm(21mm)です。(　)は、幕板B寸法です。
- ●デッキ最低H寸法は、束柱A：170mm、束柱B：250mmです。

2-4 多段幕板



側面

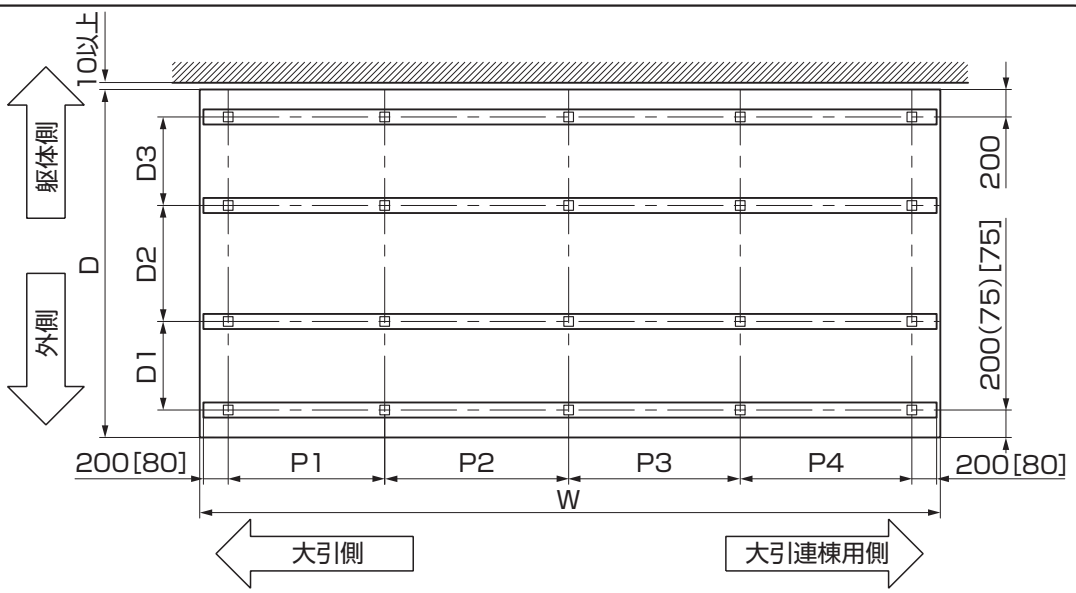


正面

多段幕板

3. 基本寸法

3-1 基本寸法



間口方向寸法

	床板外々 W	幕板A デッキ外々 W+55	幕板B デッキ外々 W+21	ピッチ寸法 (大引側) ⟷ (大引連棟用側) P1	P2	P3	P4	P5	P6	使用大引
1.5間	2695	2750	2716	1140	1140	−	−	−	−	1.5間
2.0間	3595	3650	3616	1590	1590	−	−	−	−	2.0間
2.5間	4315	4370	4336	1300	1300	1300	−	−	−	2.5間
3.0間	5395	5450	5416	1140	1340	1250	1250	−	−	1.5間+1.5間(連棟用)
3.5間	6295	6350	6316	1140	1340	1700	1700	−	−	1.5間+2.0間(連棟用)
4.0間	7195	7250	7216	1590	1790	1700	1700	−	−	2.0間+2.0間(連棟用)
4.5間	7915	7970	7936	1300	1300	1500	1700	1700	−	2.5間+2.0間(連棟用)
5.0間	8815	8870	8836	1300	1300	1500	1500	1400	1400	2.5間+2.5間(連棟用)

大引連結部分

出幅方向寸法

	床板出幅 D	幕板A デッキ出幅 D+27.5	幕板B デッキ出幅 D+10.5	ピッチ寸法 (外側) ⟷ (躯体側) D1	D2	D3	D4	D5	使用床板
3尺	900	927.5	910.5	500	−	−	−	−	L=900
4尺	1200	1227.5	1210.5	800	−	−	−	−	L=1200
5尺	1500	1527.5	1510.5	550	550	−	−	−	L=1500
6尺	1800	1827.5	1810.5	700	700	−	−	−	L=1800
7尺	2100	2127.5	2110.5	850	850	−	−	−	L=2100
8尺	2400	2427.5	2410.5	700	600	700	−	−	L=2400
9尺	2700	2727.5	2710.5	700	900	700	−	−	L=2700
10尺	2900	2927.5	2910.5	700	900	900	−	−	L=2900
12尺	3600	3627.5	3610.5	700	900	900	700	−	L=3600
15尺	4500	4527.5	4510.5	700	900	900	900	700	L=1800、2700

床板連結部分

ポイント

- ●束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- ●大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
- ●床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
- ●床板と躯体等は10mm以上すき間をあけてください。
- ●間口3.0間以上で大引の連結が必要になります。
- ●大引の連結部は、必ず束柱を取付けてください。
- ●床板を長さ方向に連結する場合は、2700mm以内の床板を使用してください。
- ●(　　)寸法は、幕板を大引固定する場合の寸法です。
- ●[　　]寸法は、多段幕板の場合の寸法です。

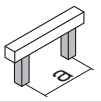
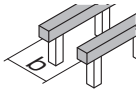
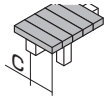
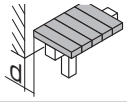
3. 基本寸法(つづき)

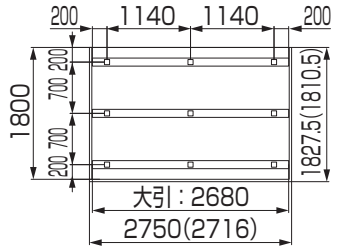
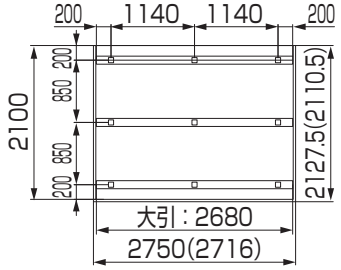
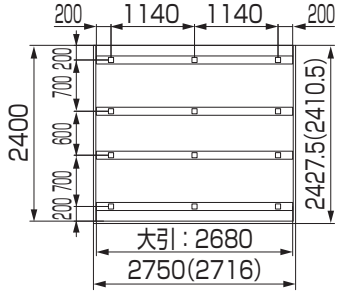
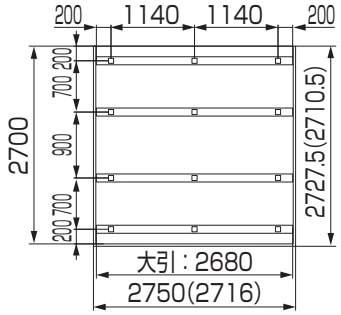
3-2 1.5間

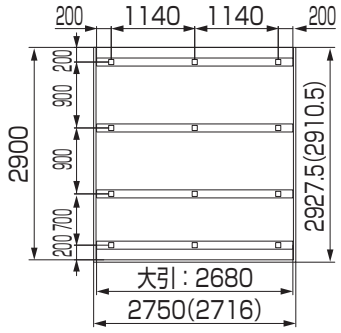
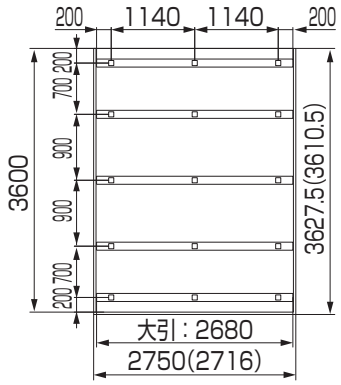
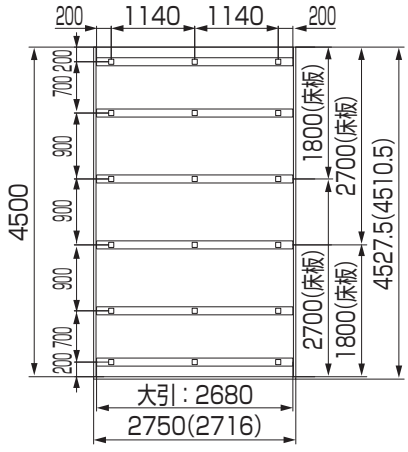
※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
※( )は幕板Bの寸法です。
※代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

出幅＼間口	1.5間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

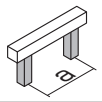
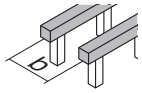
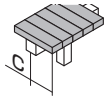
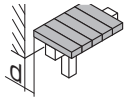
出幅＼間口	1.5間
10尺	
12尺	
15尺	

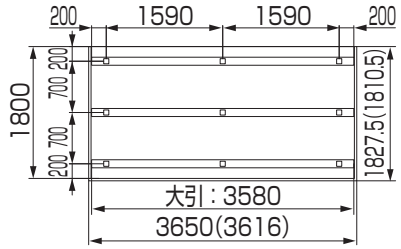
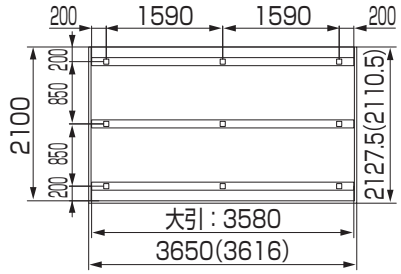
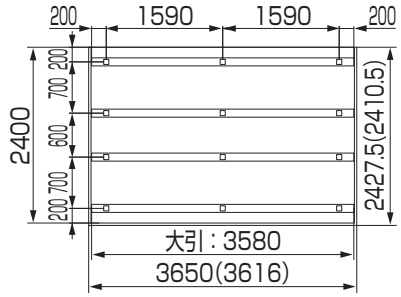
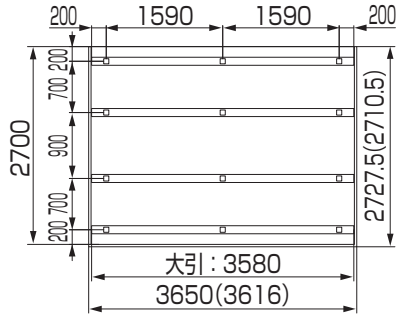
3-3 2.0間

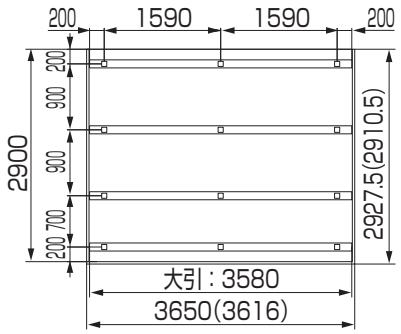
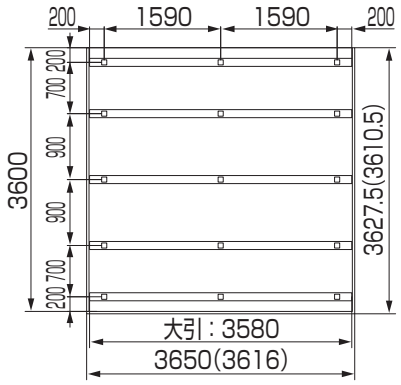
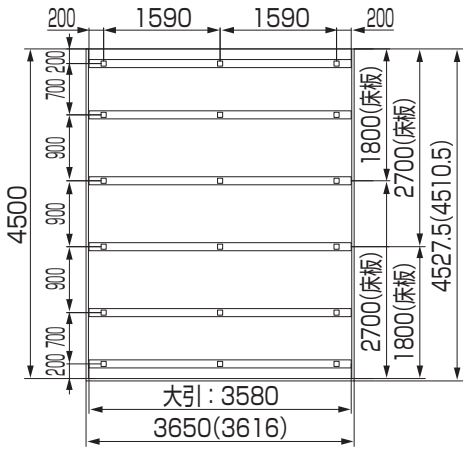
※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
※( )は幕板Bの寸法です。
※代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

出幅＼間口	2.0間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

出幅＼間口	2.0間
10尺	
12尺	
15尺	

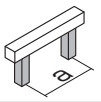
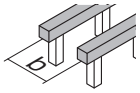
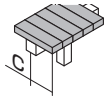
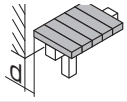
3. 基本寸法(つづき)

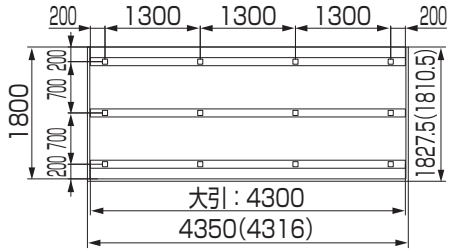
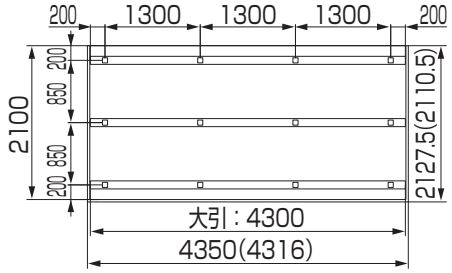
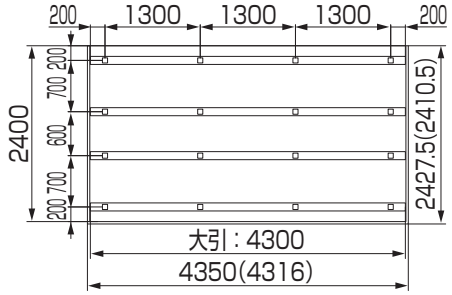
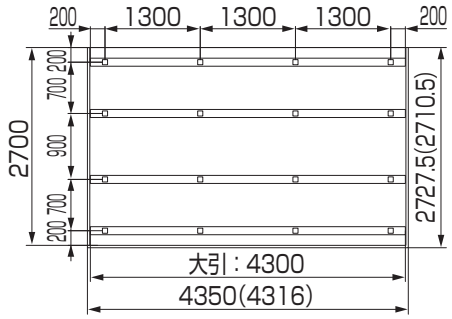
3-4 2.5間

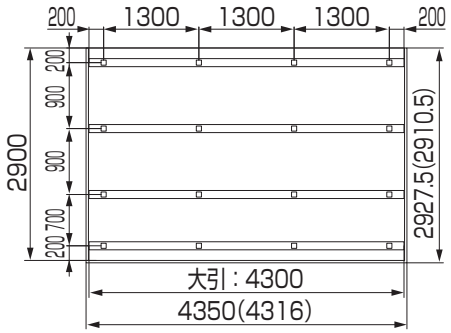
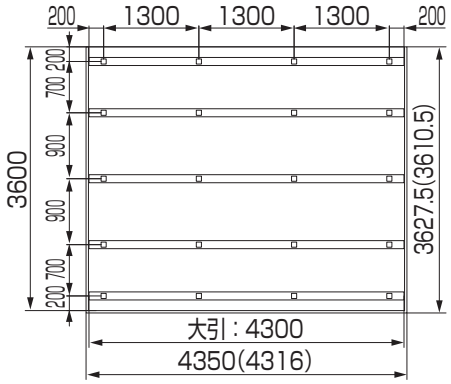
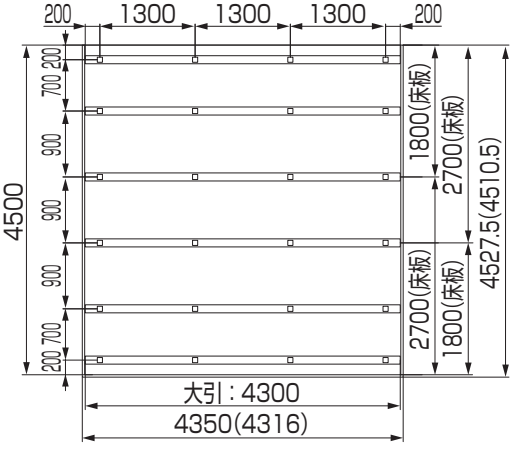
※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「3-1 基本寸法」を参照してください。
※( )は幕板Bの寸法です。
※代表サイズが記載されています。3~5尺に関しては「3-1 基本寸法」を参照してください。

ポイント

●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

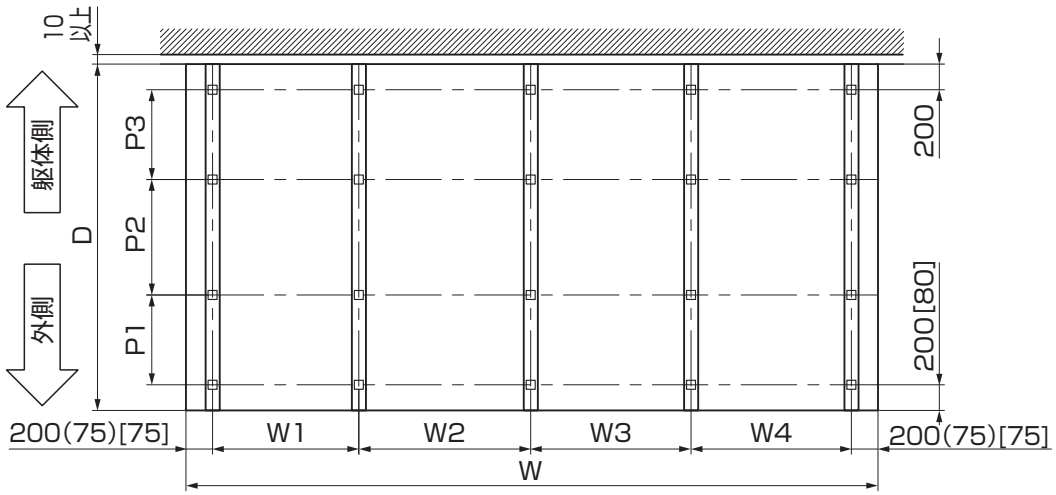
出幅＼間口	2.5間
6尺	
7尺	
8尺	
9尺	

出幅＼間口	2.5間
10尺	
12尺	
15尺	

E343_201305A

4. 床板横張り基本寸法

4-1 基本寸法



開口方向寸法

	床板外々 W	幕板A デッキ外々 W+55	幕板B デッキ外々 W+21	ピッチ寸法 W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8	W9	W10	使用床板
1.5間	2700	2755	2721	700	900	700	-	-	-	-	-	-	-	L=2700
2.0間	3600	3655	3621	700	900	900	700	-	-	-	-	-	-	L=3600
2.5間	4500	4555	4521	700	900	900	900	700	-	-	-	-	-	L=1800、2700
3.0間	5400	5455	5421	700	900	900	900	900	700	-	-	-	-	L=1800、2700
3.5間	6300	6355	6321	700	900	900	900	900	900	700	-	-	-	L=1800、2700
4.0間	7200	7255	7221	700	900	900	900	900	900	900	700	-	-	L=1800、2700
4.5間	8100	8155	8121	700	900	900	900	900	900	900	900	700	-	L=1800、2700
5.0間	9000	9055	9021	700	900	900	900	900	900	900	900	900	700	L=1800、2700

出幅方向寸法

	床板外々 D	幕板A デッキ外々 D+27.5	幕板B デッキ外々 D+10.5	ピッチ寸法 (外側)⇔(躯体側) P1	P2	P3	間口毎の使用大引 1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間
3尺	895	922.5	905.5	480	-	-	1.5間×2本	1.5間×2本	1.5間×2本	2.0間×2本	2.0間×2本	1.5間×3本	1.5間×1本 +2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×2本
4尺	1255	1282.5	1265.5	840	-	-	1.5間×2本	2.5間×2本	2.5間×2本	1.5間×2本 +2.5間×1本	1.5間×2本 +2.5間×2本	1.5間×3本 +2.5間×1本	1.5間×2本 +2.5間×2本	1.5間×4本 +2.5間×1本
5尺	1435	1462.5	1445.5	1020	-	-	2.0間×2本	2.5間×2本	2.5間×2本	1.5間×2本 +2.5間×2本	2.0間×1本 +2.5間×2本	2.5間×3本	1.5間×1本 +2.5間×3本	2.5間×4本
6尺	1795	1822.5	1805.5	1380	-	-	2.0間×2本	1.5間×1本 +2.0間×2本	2.0間×3本	1.5間×1本 +2.0間×3本	2.0間×4本	1.5間×1本 +2.0間×4本	2.0間×5本	1.5間×1本 +2.0間×5本
7尺	1975	2002.5	1985.5	1560	-	-	2.5間×2本	1.5間×1本 +2.5間×2本	2.5間×3本	1.5間×1本 +2.5間×3本	2.5間×4本	1.5間×1本 +2.5間×4本	2.5間×5本	1.5間×1本 +2.5間×5本
8尺	2335	2362.5	2345.5	960	960	-	1.5間×4本	1.5間×5本	1.5間×6本	1.5間×7本	1.5間×8本	1.5間×9本	1.5間×10本	1.5間×11本
9尺	2695	2722.5	2705.5	1140	1140	-	1.5間×4本	1.5間×5本	1.5間×6本	1.5間×7本	1.5間×8本	1.5間×9本	1.5間×10本	1.5間×11本
10尺	2875	2902.5	2885.5	1230	1230	-	2.0間×4本	2.0間×5本	2.0間×6本	2.0間×7本	2.0間×8本	2.0間×9本	2.0間×10本	2.0間×11本
12尺	3595	3622.5	3605.5	1590	1590	-	2.0間×4本	2.0間×5本	2.0間×6本	2.0間×7本	2.0間×8本	2.0間×9本	2.0間×10本	2.0間×11本
15尺	4495	4522.5	4505.5	680	1800	1600	1.5間×4本 +連1.5間×4本	1.5間×5本 +連1.5間×5本	1.5間×6本 +連1.5間×6本	1.5間×7本 +連1.5間×7本	1.5間×8本 +連1.5間×8本	1.5間×9本 +連1.5間×9本	1.5間×10本 +連1.5間×10本	1.5間×11本 +連1.5間×11本

大引連結部分

ポイント

- 束柱の芯々寸法は、1800mm以内にしてください。
- 大引の芯々寸法は900mm以内にしてください。
- 床板の張出し寸法は、大引の芯から200mm以内にしてください。
- 床板と躯体等は10mm以上すき間をあけてください。
- 出幅15尺以上で大引の連結が必要になります。
- 大引の連結部は、必ず束柱を取付けてください。
- 床板を長さ方向に連結する場合は、2700mm以内の床板を使用してください。
- (　　)寸法は、幕板を大引固定する場合の寸法です。
- [　　]寸法は、多段幕板の場合の寸法です。

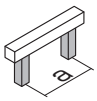
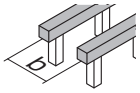
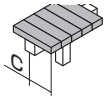
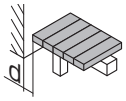
4. 床板横張り基本寸法(つづき)

4-2 6尺

※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。
※( )は幕板Bの寸法です。

ポイント

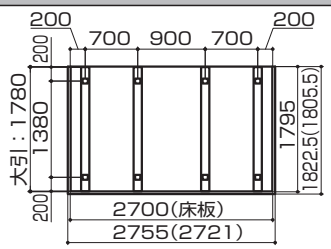
●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

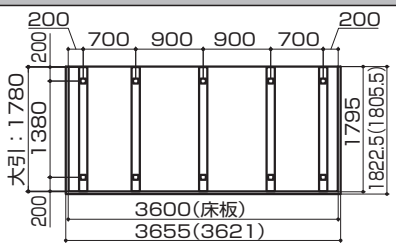
出幅＼間口

6尺

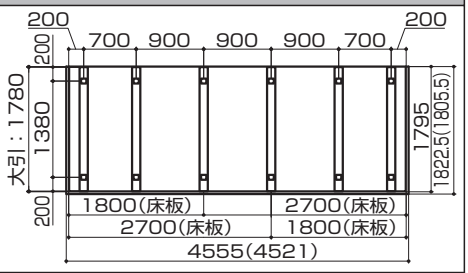
1.5間



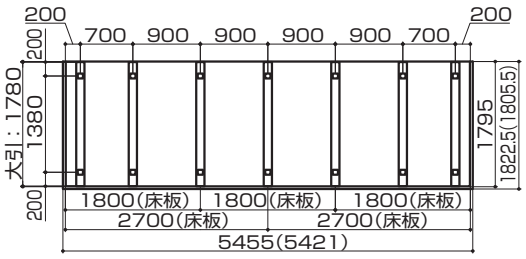
2.0間



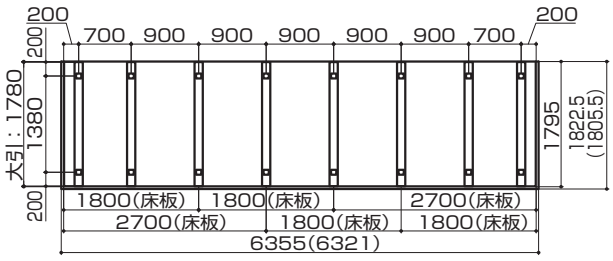
2.5間



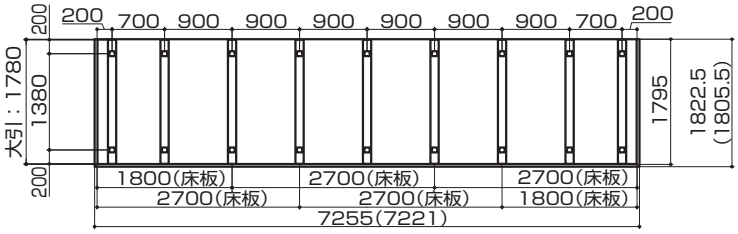
3.0間



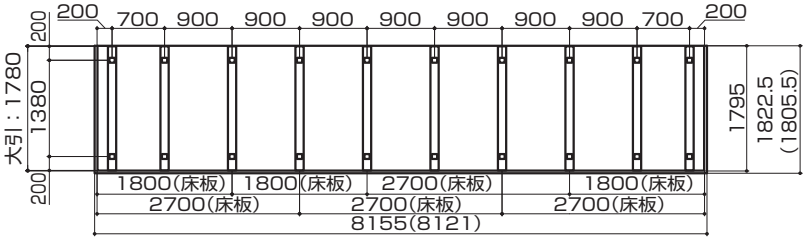
3.5間



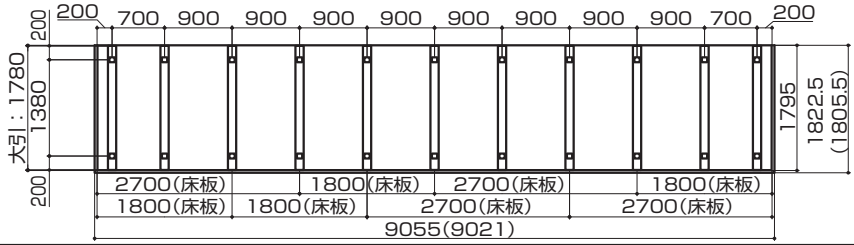
4.0間



4.5間



5.0間



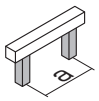
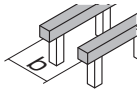
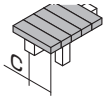
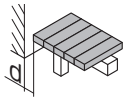
E343_201305A

4-3 7尺

※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。
※(　)は幕板Bの寸法です。

ポイント

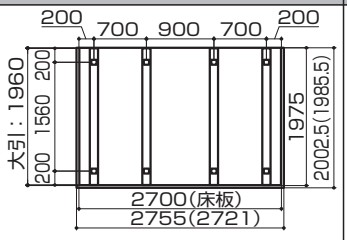
●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

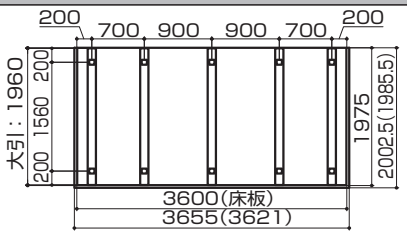
出幅＼間口

7尺

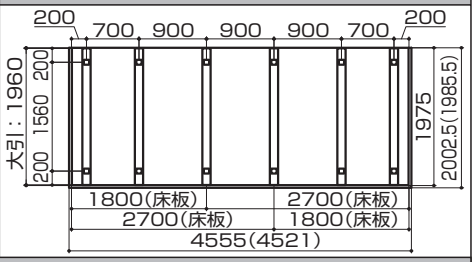
1.5間



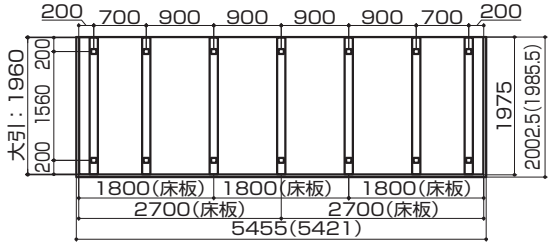
2.0間



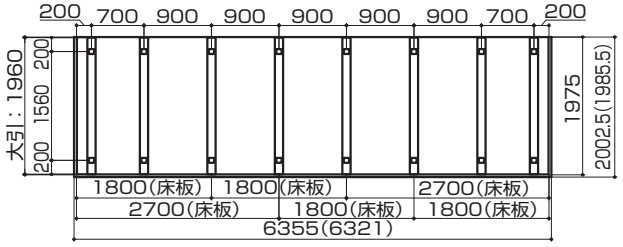
2.5間



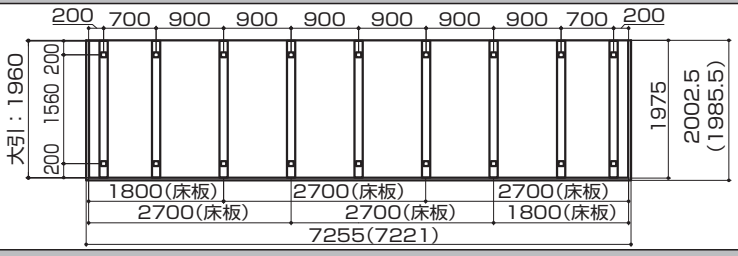
3.0間



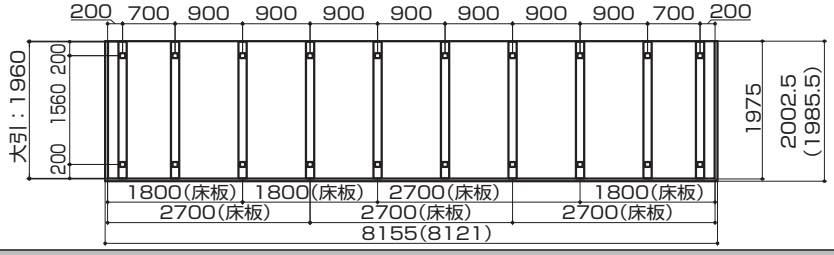
3.5間



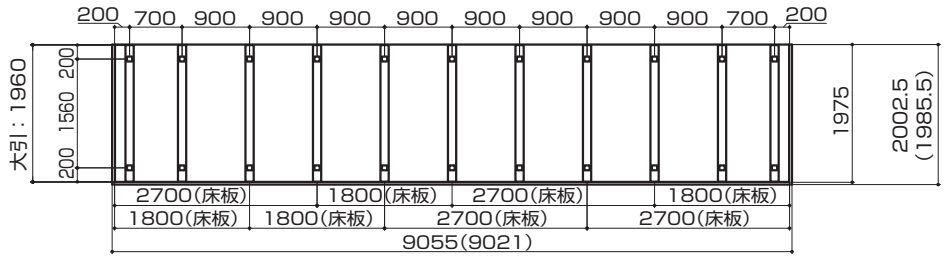
4.0間



4.5間



5.0間



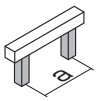
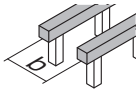
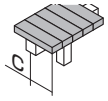
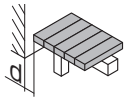
4. 床板横張り基本寸法(つづき)

4-4 8尺

※図は、幕板を床板固定する場合の寸法です。幕板大引固定は「4-1 基本寸法」を参照してください。
※(　)は幕板Bの寸法です。

ポイント

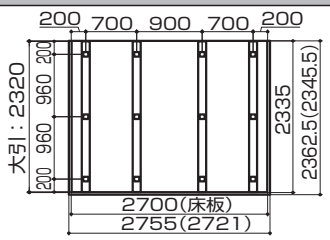
●右表の寸法を必ず守ってください。

間口方向 束柱芯々寸法	出幅方向 大引芯々寸法	床板端部 張出し寸法	床板と躯体の すき間
			
1800mm以内	900mm以内	200mm以内	10mm以上

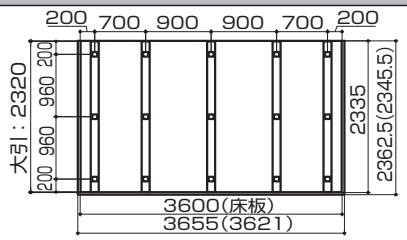
出幅 / 間口

8尺

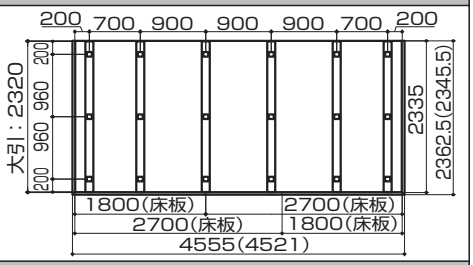
1.5間



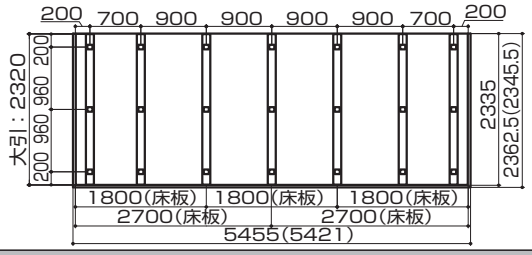
2.0間



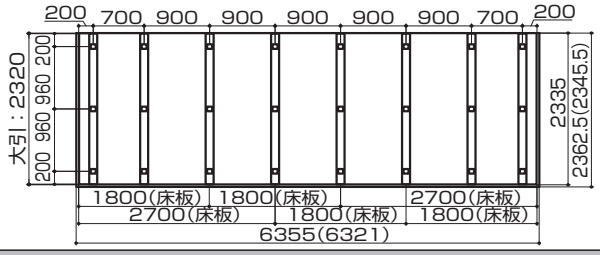
2.5間



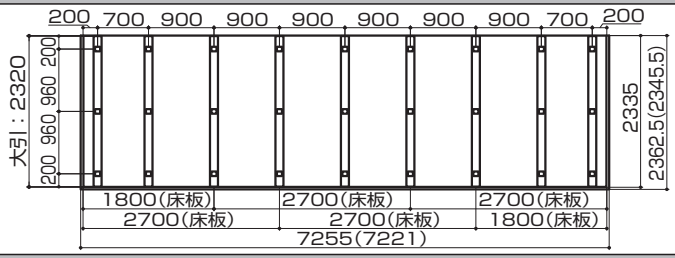
3.0間



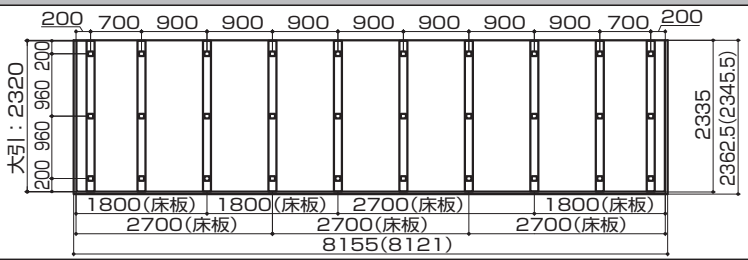
3.5間



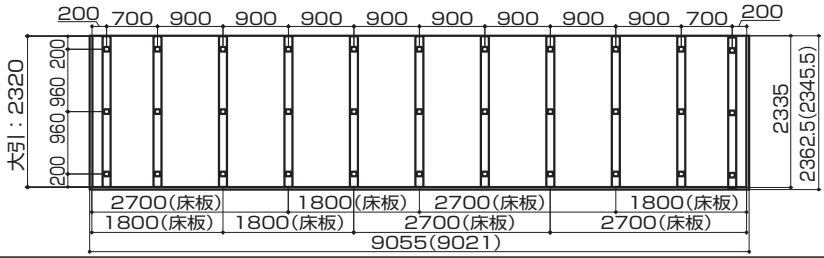
4.0間



4.5間



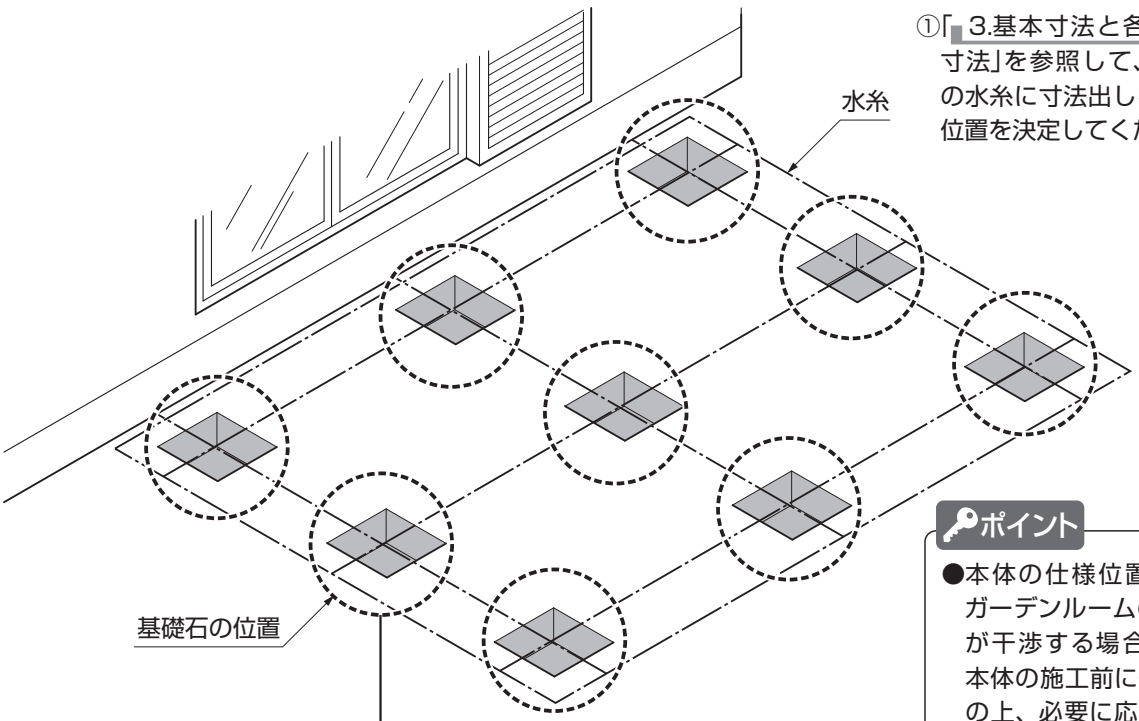
5.0間



4　束柱・大引の施工

1. 基礎の施工

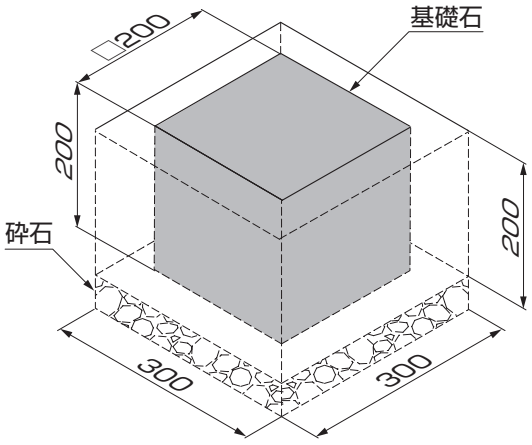
※スロープを施工する場合は、スロープ取付説明書〈E366〉を合わせて参照し、確実に施工してください。



①「3.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。

ポイント

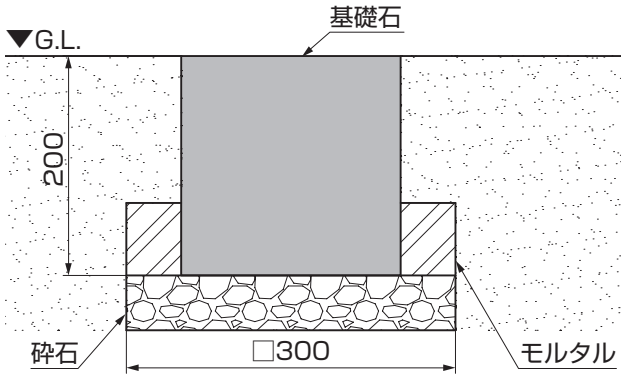
●本体の仕様位置によっては、ガーデンルームの柱と基礎石が干渉する場合があります。本体の施工前にその事を確認の上、必要に応じて基礎を移動してください。



①指定位置に穴を掘り、砕石を敷いて突き固めてください。

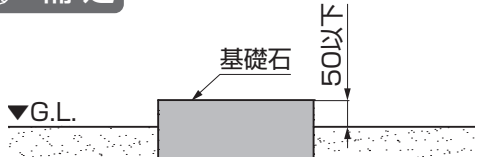
ポイント

●この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。



②基礎石を設置し、レベルを出してください。
③基礎石のまわりをモルタルで固めてください。

補 足



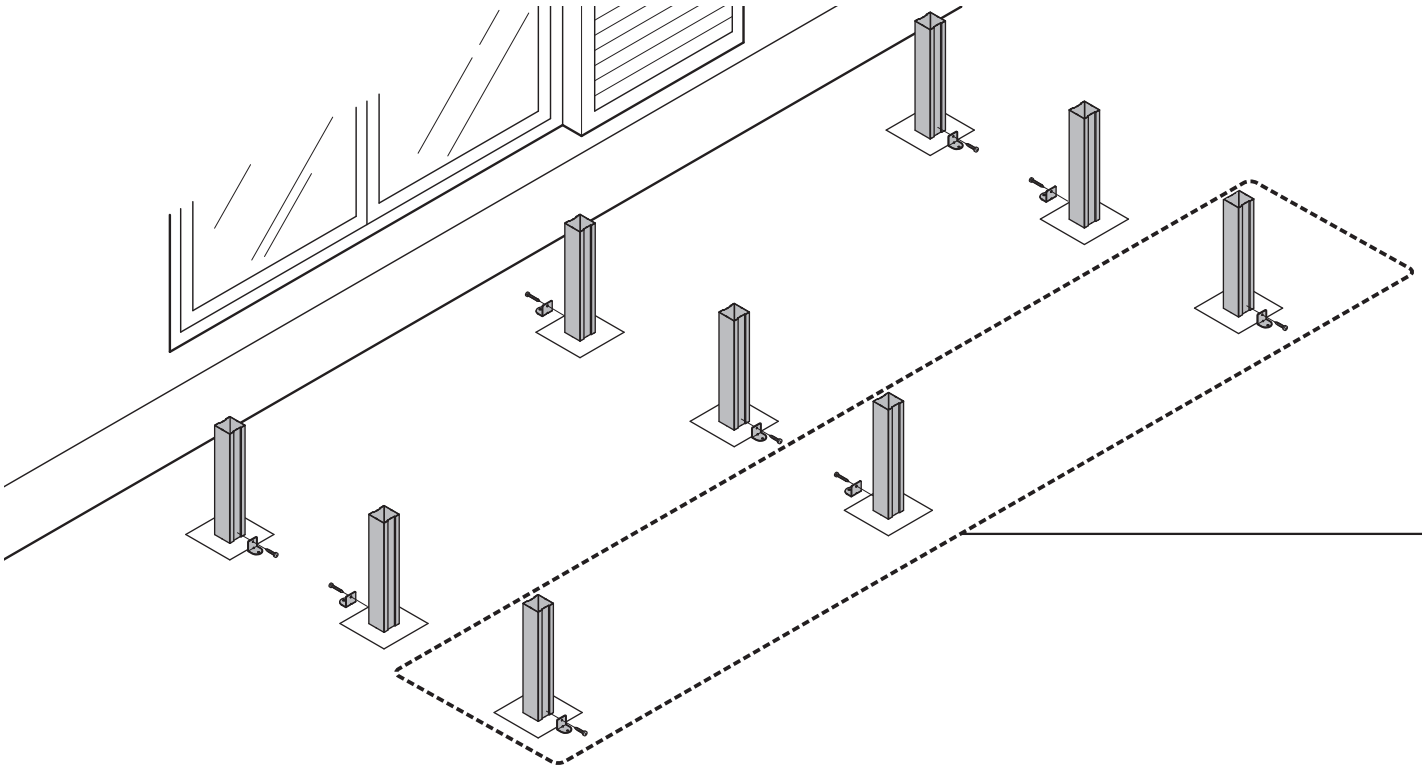
●基礎石をG.L.面より出す場合は50mm以下にしてください。

ポイント

●モルタルで基礎を固めないと、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。

E343_201305A

2. 束柱・大引の取付け



2-1 束柱の加工

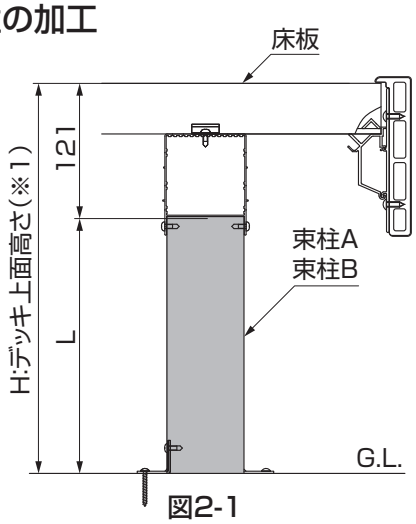


図2-1

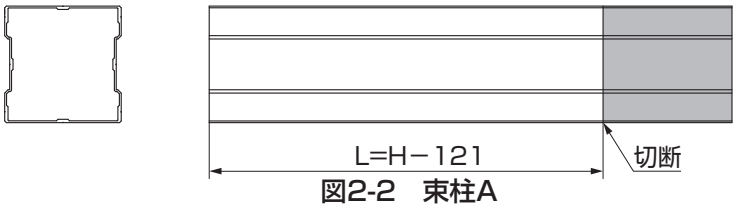


図2-2　束柱A

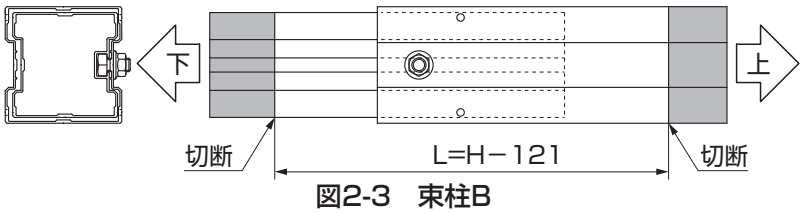
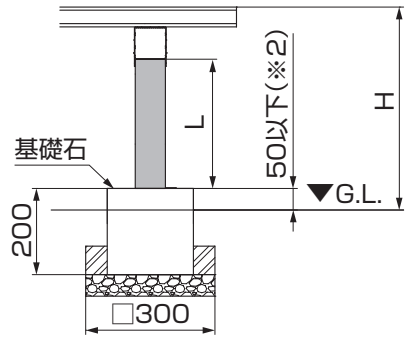


図2-3　束柱B

補足



●基礎石をG.L.面より出す場合は、基礎石の高さ(※2)を考慮して切断してください。

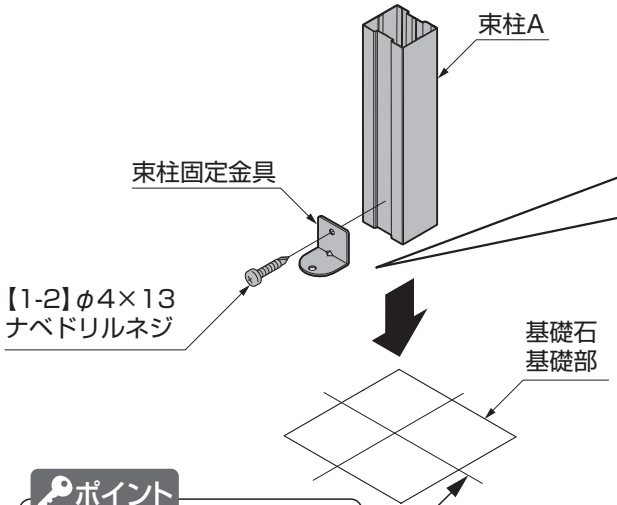
①H寸法(デッキ上面高さ)を決定してください。
②束柱を切断してください。

補足

●H(デッキ上面高さ)は最大550mm(ロング1000mm)、最小170mmです。(※1)
●束柱Bは高さ調整式で、調整寸法は147mmです。
●束柱Bの切断は、柱下部側の下面方向ならびに柱上部側の上面方向より、同寸法で行ってください。

2-2 束柱固定金具の取付け

(1)束柱Aの場合



ポイント

●基礎部材の水平・直角等を確認してください。

①束柱Aに、束柱固定金具を【1-2】で固定してください。

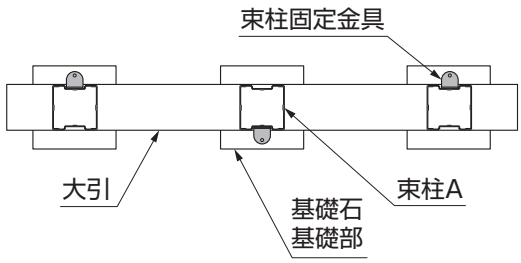


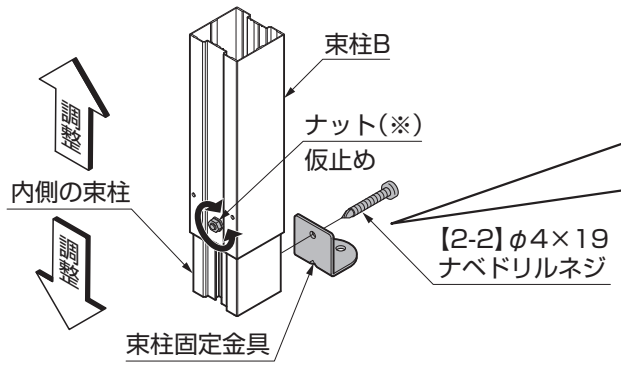
図2-4

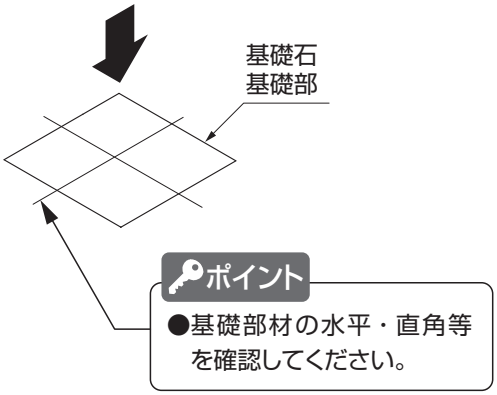
ポイント

●束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図2-4参照)

②「3.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱Aをのせてください。

(2)束柱Bの場合





ポイント

●基礎部材の水平・直角等を確認してください。

①束柱Bに、束柱固定金具を【2-2】で固定してください。

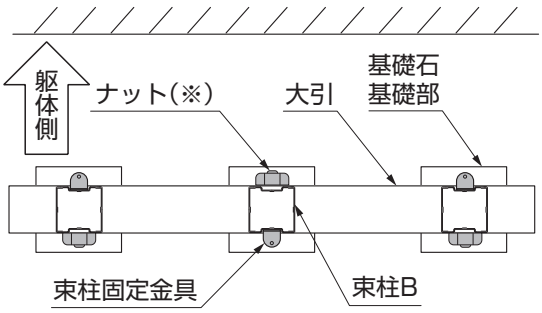


図2-5

ポイント

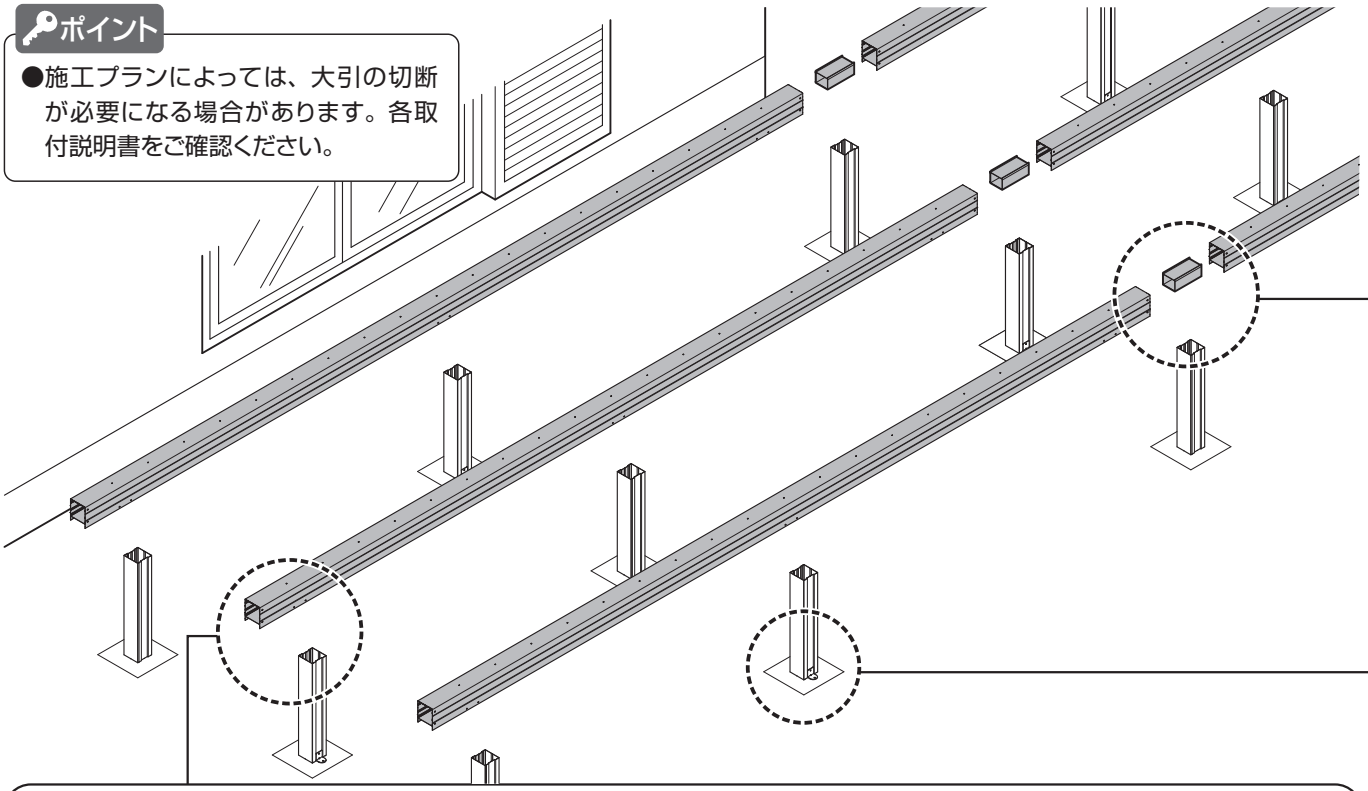
●束柱Bはナットを緩め、内側の束柱をスライドさせて表へ出し、ナット(※)を仮締めして、内側の束柱が下になるように取付けてください。
●束柱固定金具は、それぞれの束柱に交互に取付けてください。(図2-5参照)

②「3.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石または基礎部に束柱Bをのせてください。

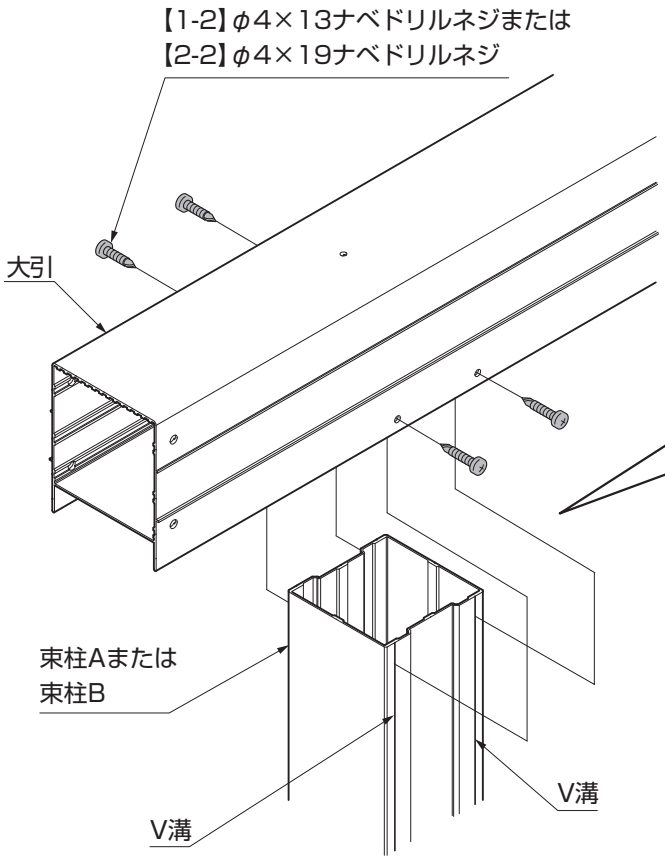
2. 束柱・大引の取付け（つづき）

ポイント

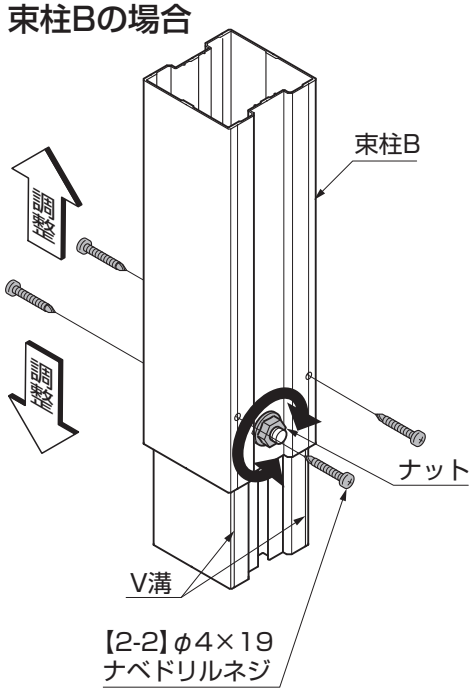
●施工プランによっては、大引の切断が必要になる場合があります。各取付説明書をご確認ください。



2-3 大引の取付け



束柱Bの場合



ポイント

●束柱Bはナットを緩め、高さを調節し、水平・直角を確認してからナットを締め、V溝に【2-2】で固定してください。

①大引と束柱Aまたは束柱BをV溝に合わせて【1-2】または【2-2】で固定してください。

2-4 大引の連結

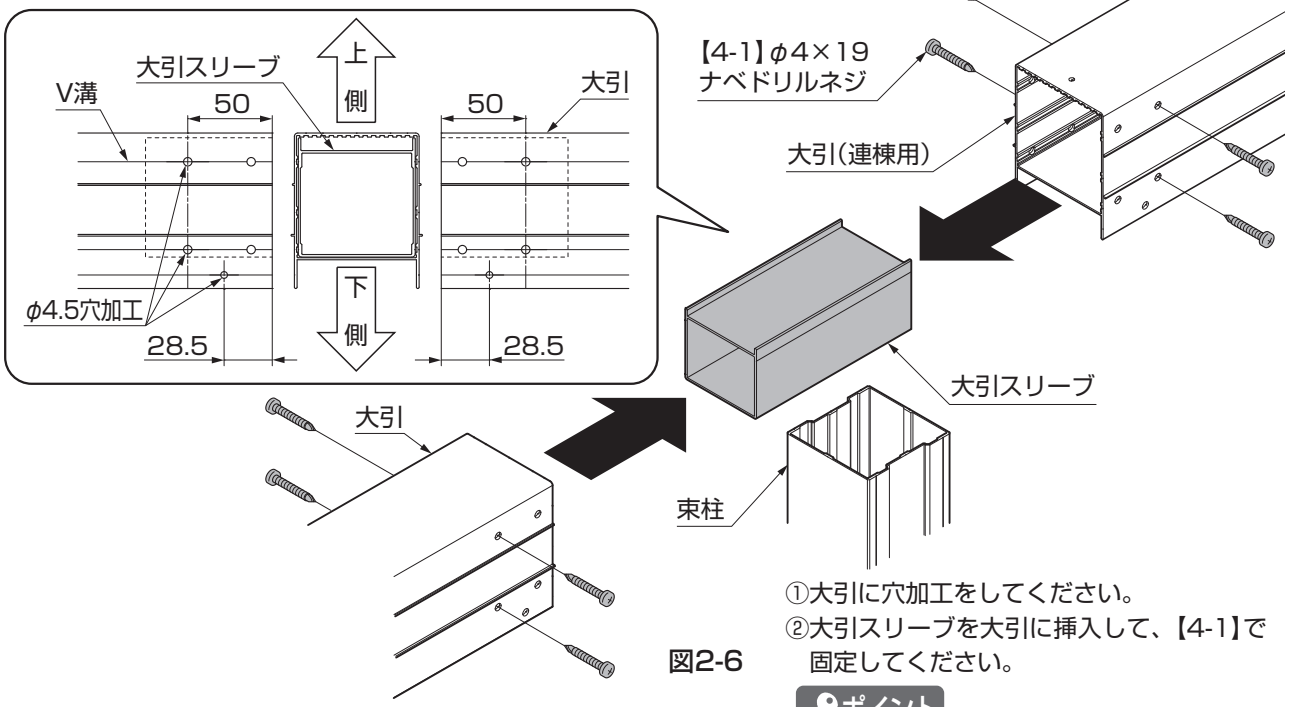


図2-6

①大引に穴加工をしてください。
②大引スリーブを大引に挿入して、【4-1】で固定してください。

ポイント

- ●大引の連結部は、束柱の中央上部で突き合わせて固定してください。(図2-7参照)
- ●大引スリーブ材の上下を確認してから、組付けてください。

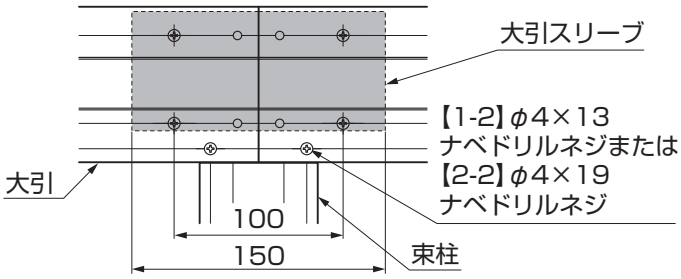
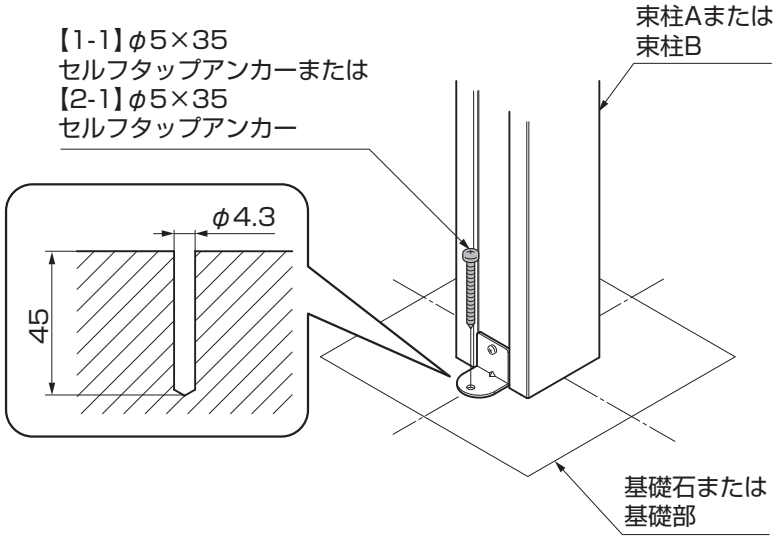


図2-7

③大引と束柱を【1-2】または【2-2】で固定してください。

2-5 束柱の固定



補足

- ●根がらみ(オプション)を使用する場合は、P.28「根がらみの取付け」を参照してください。

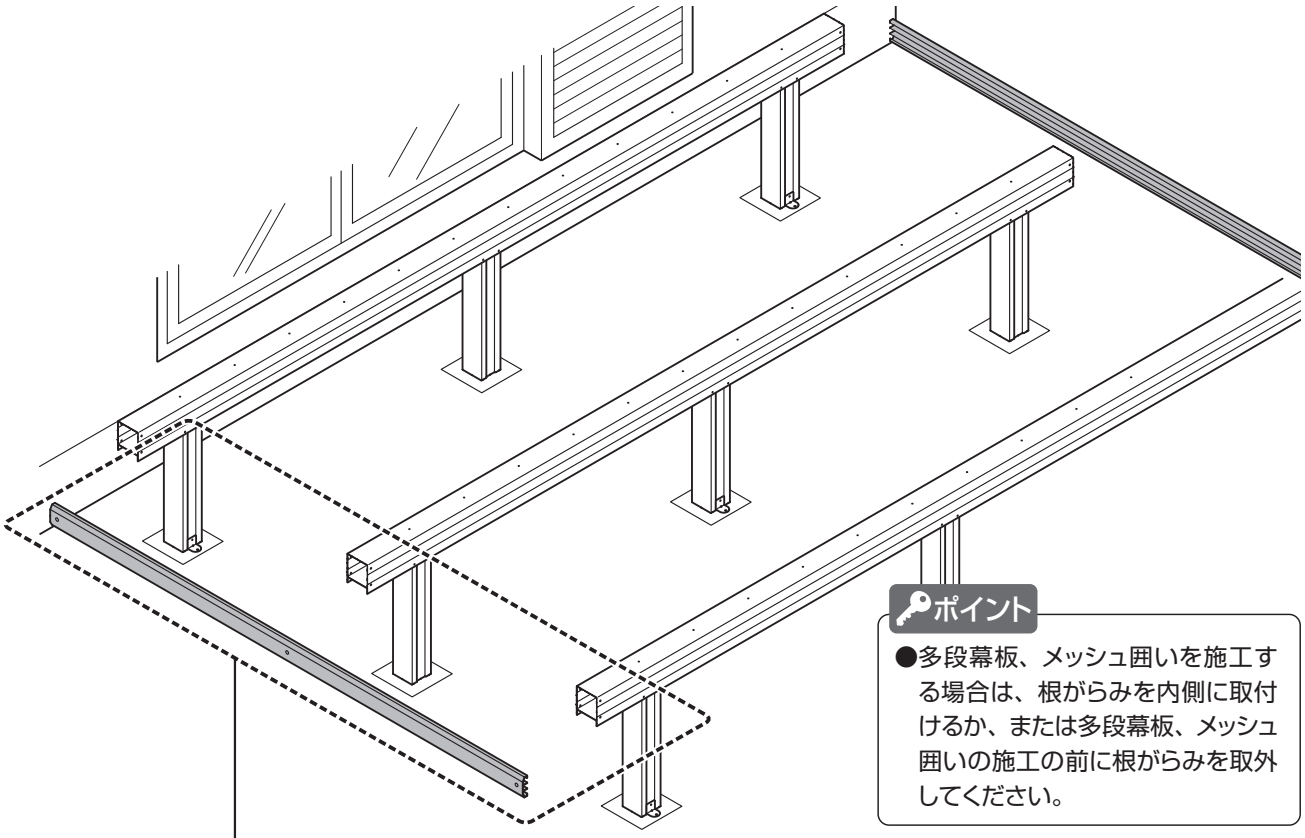
①基礎石または基礎部に、φ4.3で深45mmの下穴をあけてください。

②束柱固定金具を基礎石または基礎部に【1-1】または【2-1】で固定してください。

ポイント

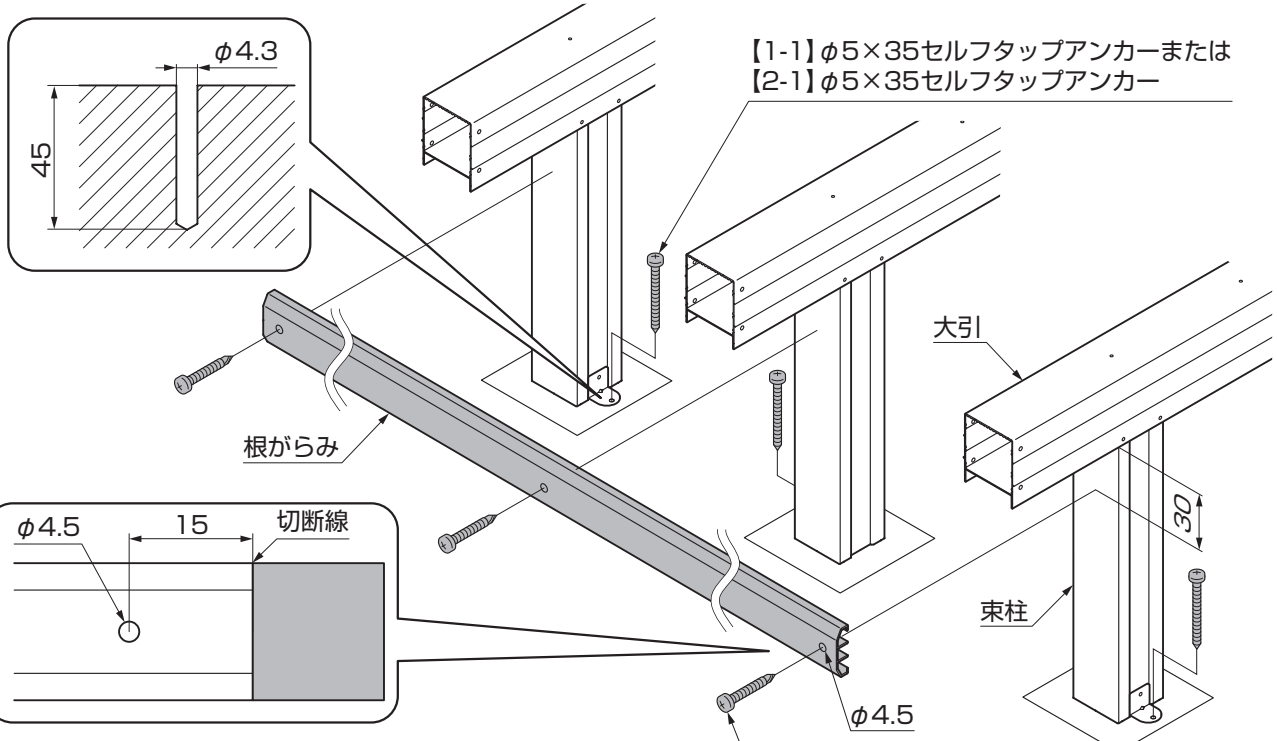
- ●下穴φ4.3は正確にあけてください。
- ●束柱と基礎石の固定は、基礎部材の水平・直角等を確認後に行ってください。

3. 根がらみの取付け オプション



ポイント

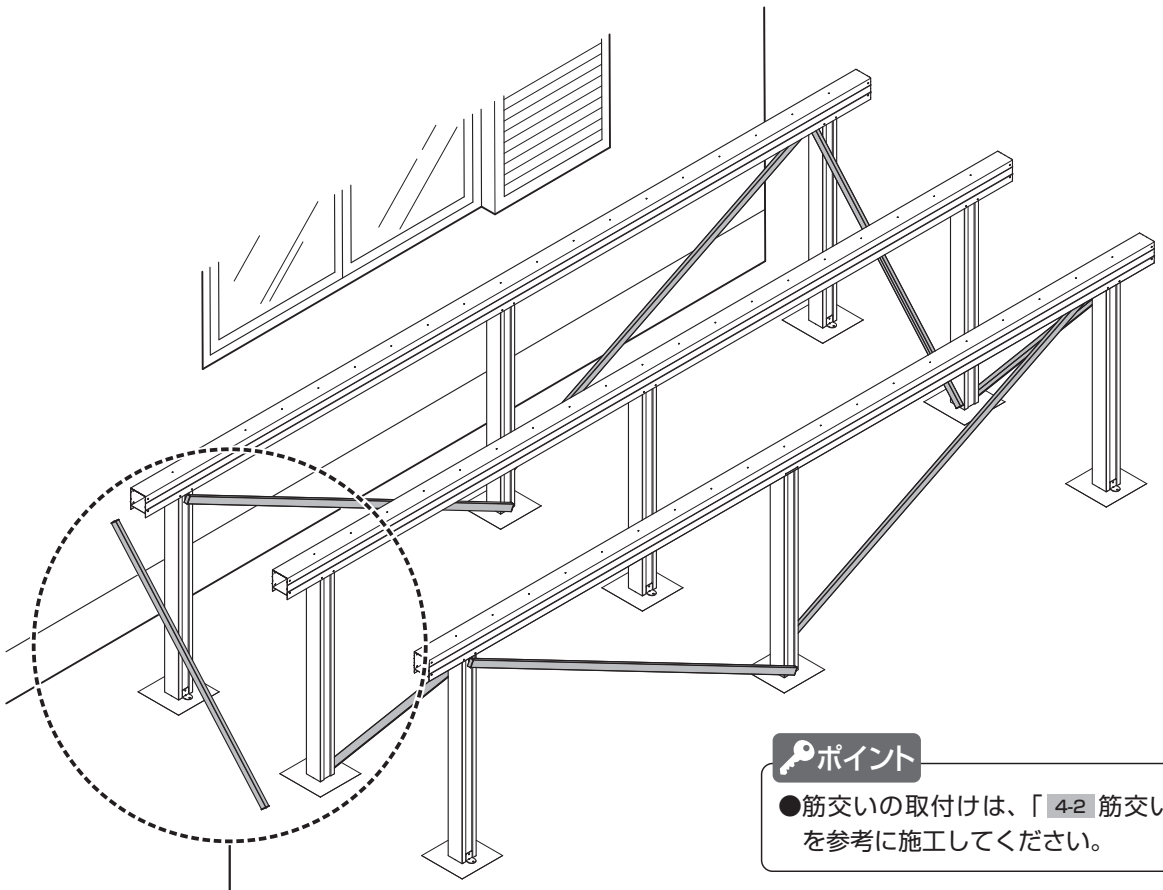
●多段幕板、メッシュ囲いを施工する場合は、根がらみを内側に取付けるか、または多段幕板、メッシュ囲いの施工の前に根がらみを取外してください。



①大引のピッチにあわせて根がらみにφ4.5の穴をあけてください。
②根がらみを端部の穴から15mmの位置で切断してください。
③束柱のV溝にあわせて根がらみを束柱の上端から30mmの位置に、【6-1】または【7-1】で取付けてください。
④基礎石に下穴をあけ、【1-1】または【2-1】で束柱を固定してください。

E343_201305A

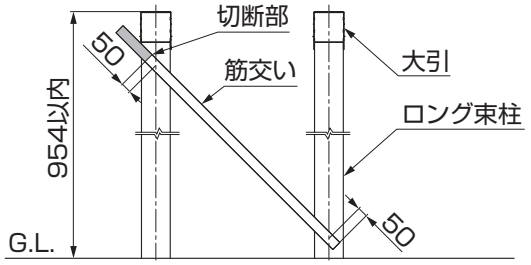
4. 筋交いの取付け　※ロング束柱の場合の作業です。



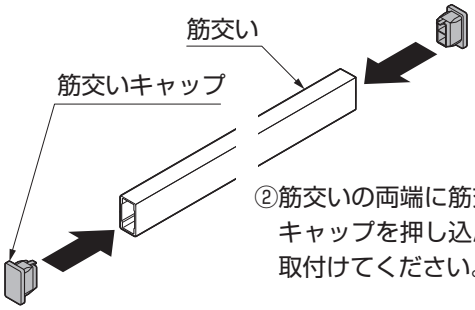
ポイント

●筋交いの取付けは、「4-2 筋交いの施工例」を参考に施工してください。

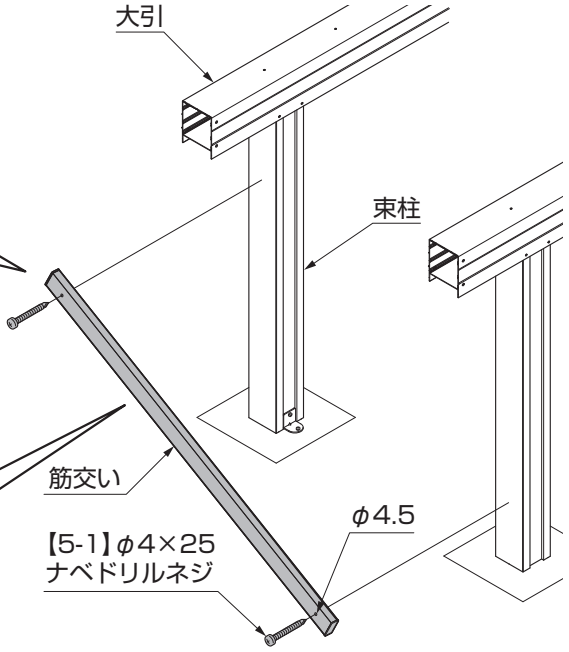
4-1 筋交いの取付け



①取付位置を確認し、束柱の中心から50mm程度で切断してください。



②筋交いの両端に筋交いキャップを押し込んで取付けてください。



③筋交いにφ4.5の穴をあけてください。
④束柱に筋交いを、【5-1】で固定してください。

E343_201305A

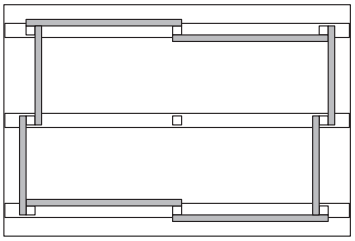
4. 筋交いの取付け（つづき）

4-2 筋交いの施工例

ポイント

●筋交いは、束柱の内側・外側交互に取付けてください。
●横張りの場合は、図を横にして読み替えてください。

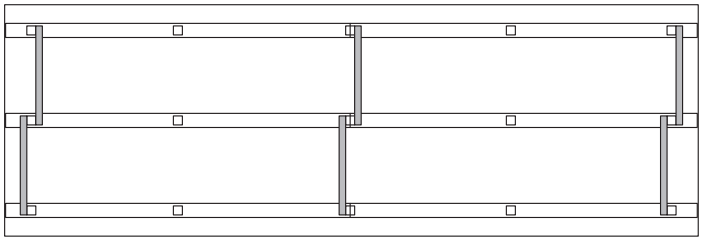
（1）出幅4000mm未満、間口4000mm未満の場合



ポイント

●床板方向は、両側面側に配置してください。
●大引方向は、前面側と躯体側に配置してください。

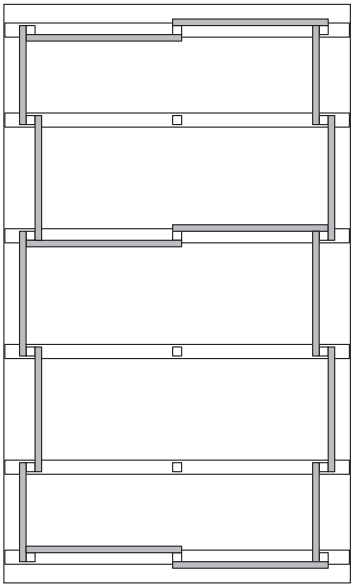
（2）出幅4000mm未満、間口4000mm以上の場合



ポイント

●床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

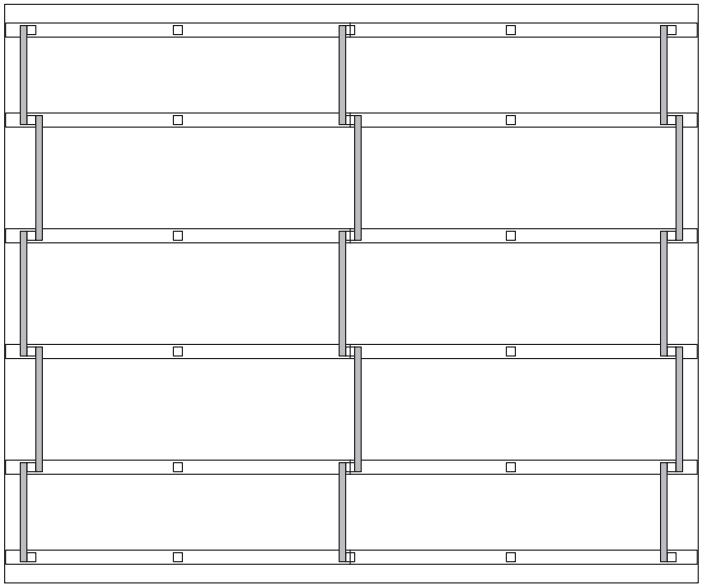
（3）出幅4000mm以上、間口4000mm未満の場合



ポイント

●大引方向は、前面側、躯体側ならびに出幅4000mmにつき1筋配置してください。
●床板方向は、両側面側に配置してください。

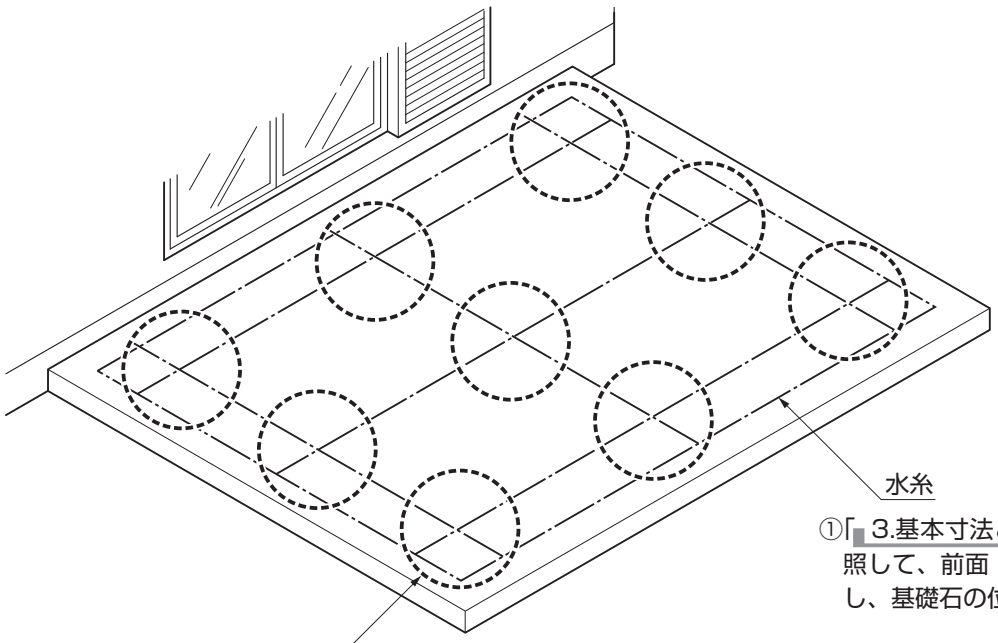
（4）出幅4000mm以上、間口4000mm以上の場合



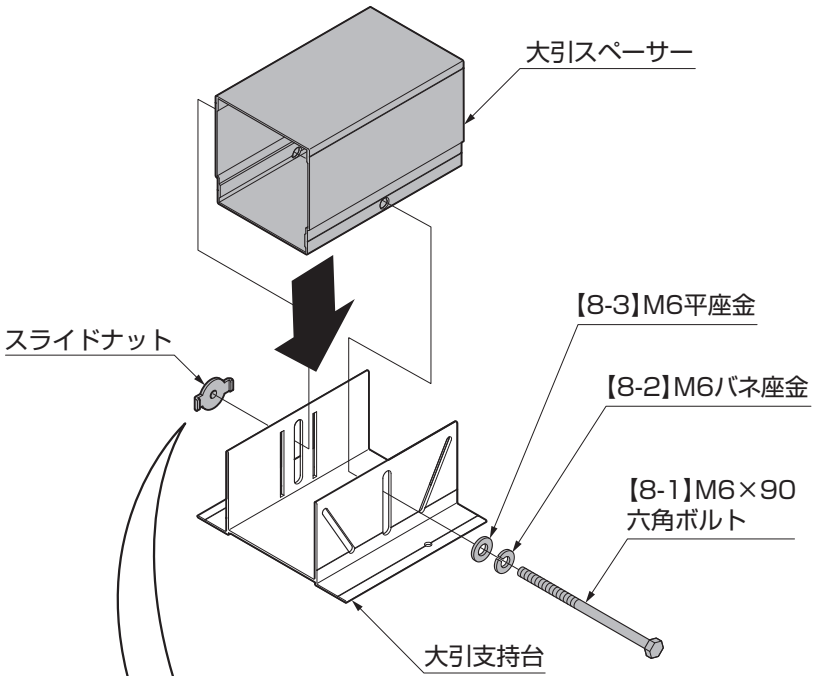
ポイント

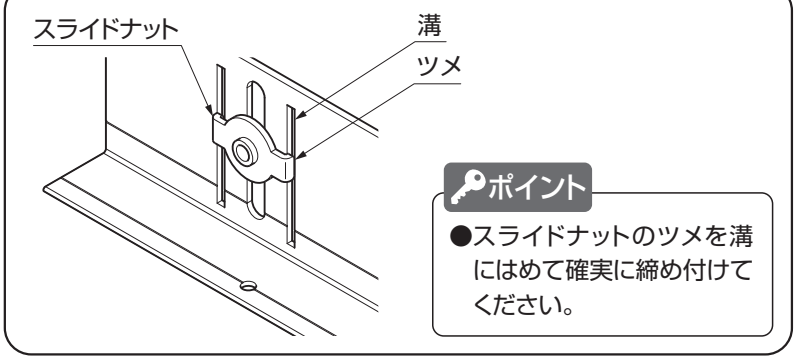
●床板方向は、両側面側と間口4000mmにつき1筋配置してください。

5. 土間施工



①「3.基本寸法と各部名称 3.基本寸法」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。





ポイント

●スライドナットのツメを溝にはめて確実に締め付けてください。

②大引支持台に大引スペーサーを【8-1】【8-2】【8-3】とスライドナットで仮固定してください。

	デッキ高さ
補助スペーサーなし	200～240
1個	247～287

補足

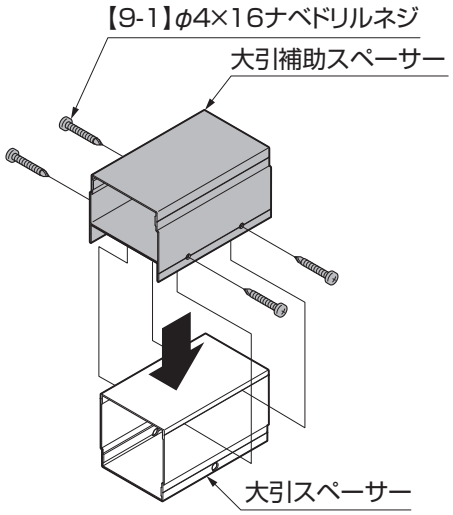
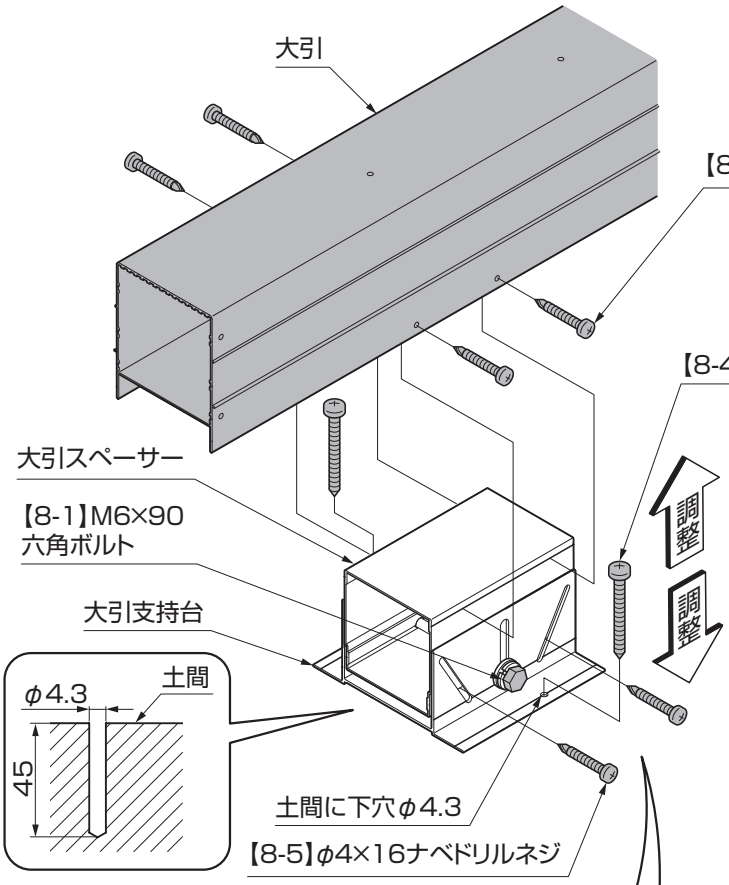


図5-1　大引補助スペーサーを使う場合

●大引補助スペーサーを使用する場合は、大引スペーサーに【9-1】で取付けてください。

5. 土間施工（つづき）

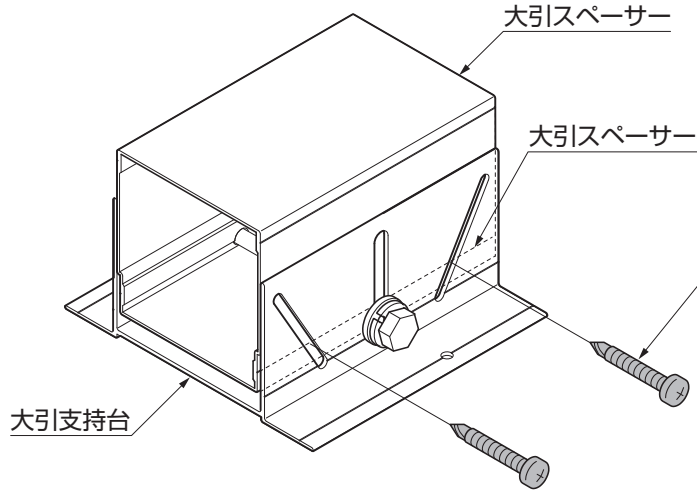


③大引スペーサーまたは大引補助スペーサーに大引を乗せ、【8-5】で取付けてください。

④大引の高さを調整し、【8-1】で締め付けてください。

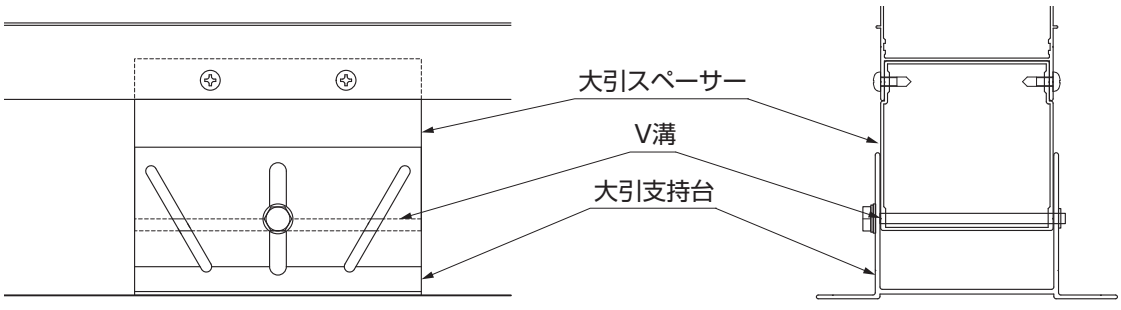
⑤大引支持台と大引スペーサーを【8-5】で固定してください。

⑥土間に、φ4.3で深さ45mmの下穴をあけ、大引支持台を土間に【8-4】で固定してください。



ポイント

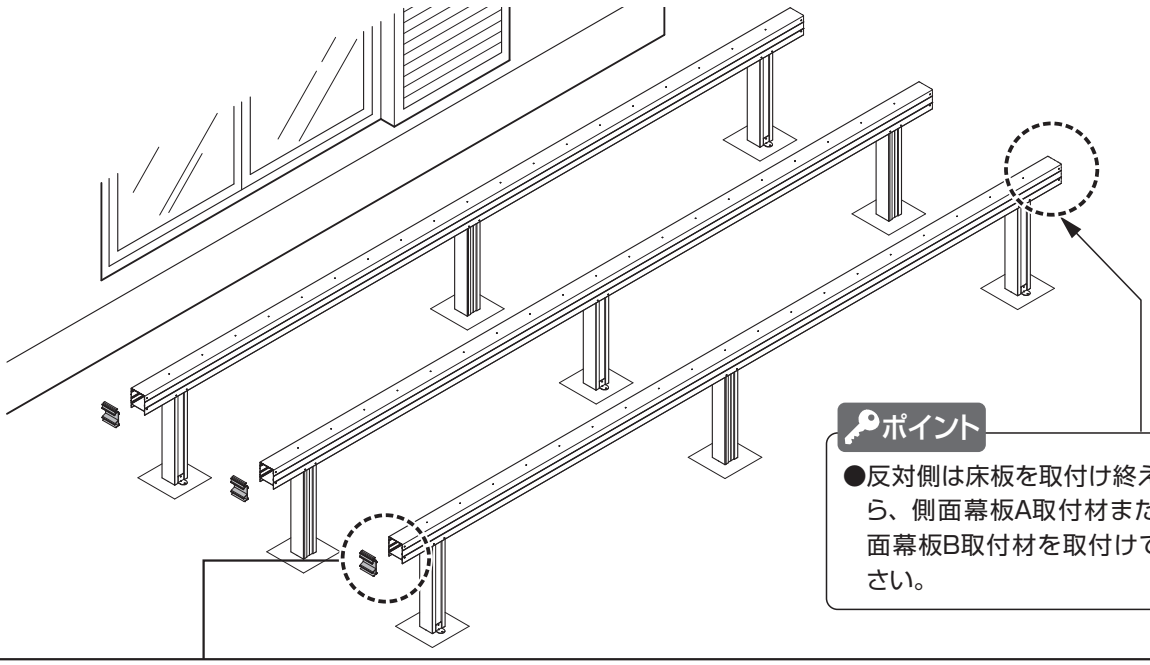
●【8-5】は大引スペーサーのV溝に固定してください。



E343_201305A

5　床板の施工

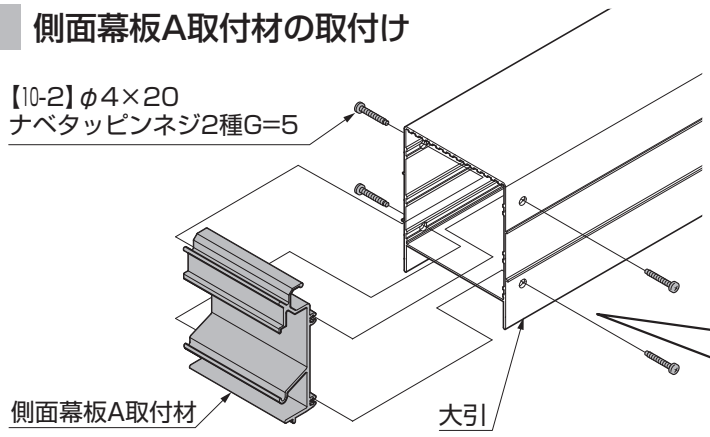
1. 側面幕板取付材の取付け



ポイント

●反対側は床板を取付け終えてから、側面幕板A取付材または側面幕板B取付材を取付けてください。

1-1　側面幕板A取付材の取付け



①床板を取付け始める側に、側面幕板A取付材を大引に【10-2】で固定してください。

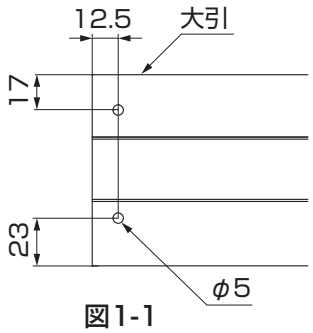
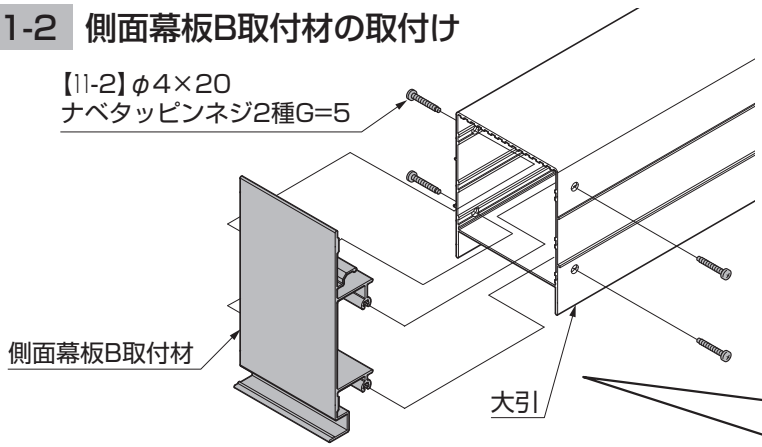


図1-1

ポイント

●大引を切断した場合は、図1-1を参照して穴を加工してください。

1-2　側面幕板B取付材の取付け



①床板を取付け始める側に、側面幕板B取付材を大引に【11-2】で固定してください。

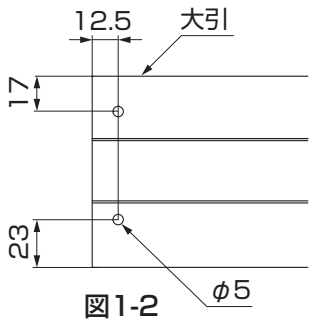
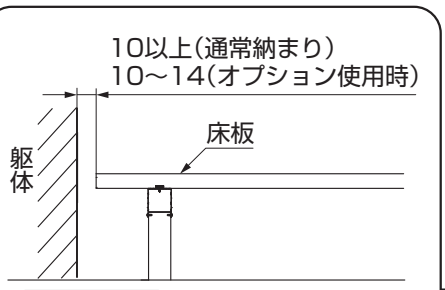


図1-2

ポイント

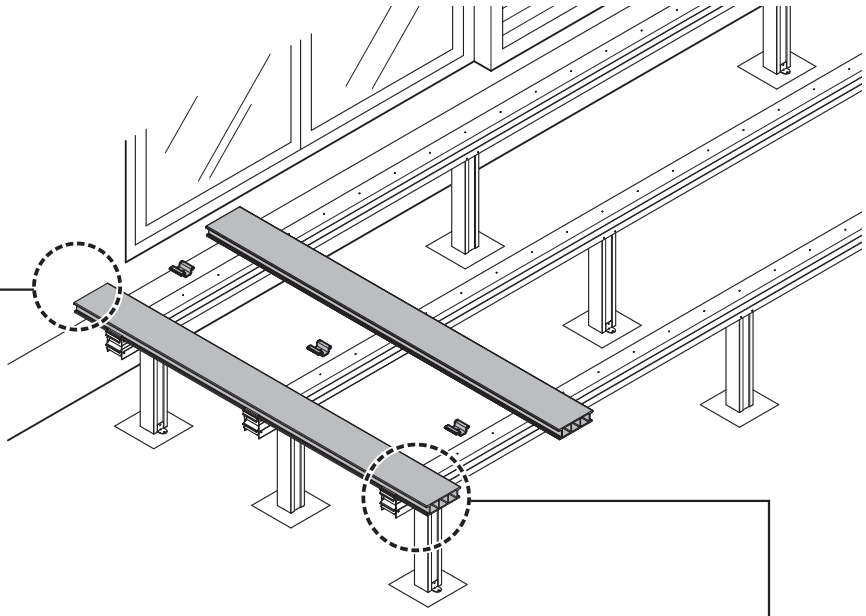
●大引を切断した場合は、図1-2を参照して穴を加工してください。

2. 床板の取付け ※図は側面幕板A取付材を示します。



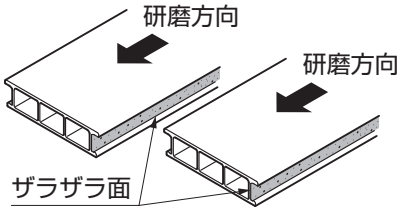
ポイント

- ●通常納まり：10mm以上
- ●躯体側隙間塞ぎ材(オプション)使用時：10～14mm



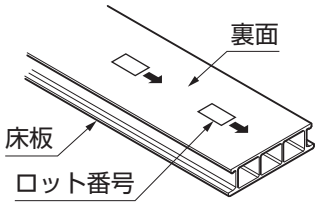
ポイント

〔研磨加工の方向〕 ●床板表面は研磨加工がされており、研磨方向によっては色が異なって見える場合があります。床板の加工方向を一定にしてから固定してください。



側面に加工がある場合

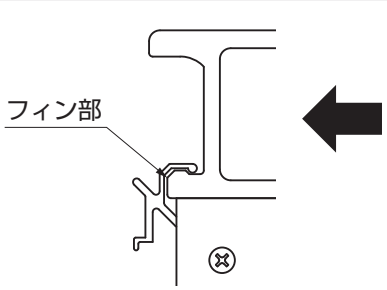
表面がザラザラしている加工面の向きを合わせ、研磨方向を揃えてください。



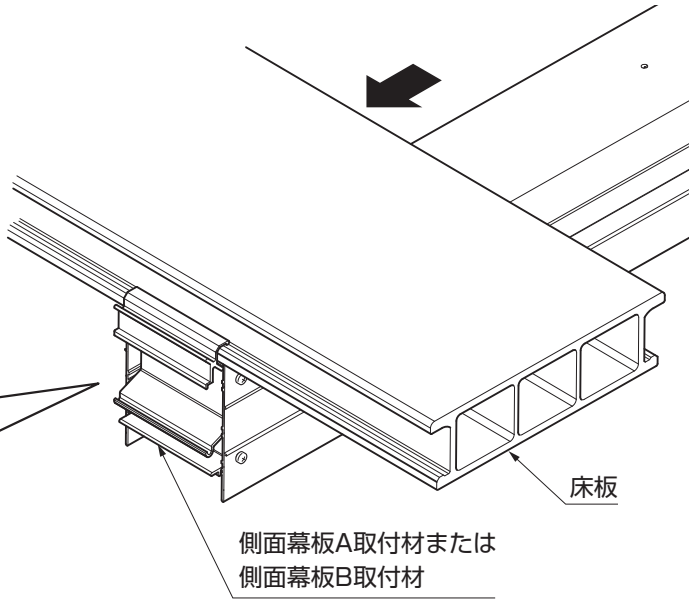
裏面にロット番号と矢印がある場合

矢印の方向を揃えてから施工してください。

2-1 床板1枚目の固定

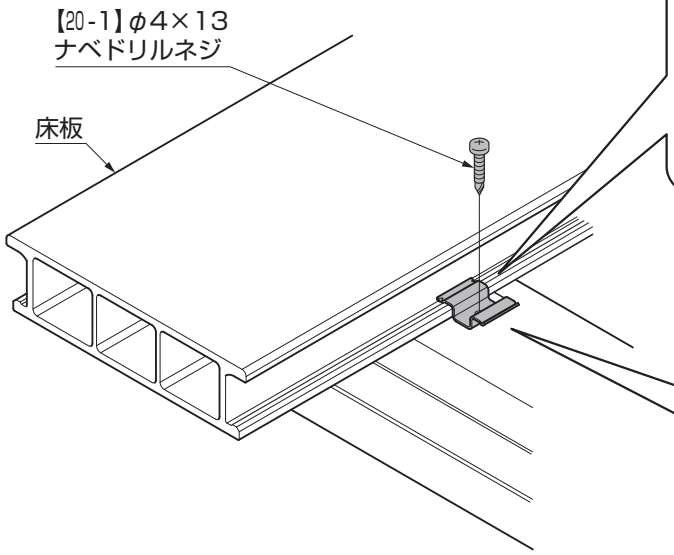


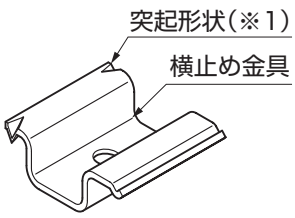
①床板を大引の側面幕板A取付材、または側面幕板B取付材に差し込んでください。



E343_201305A

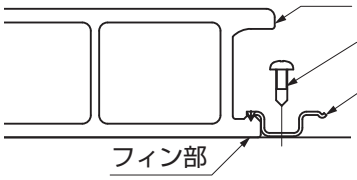
2-2 横止め金具の取付け





ポイント

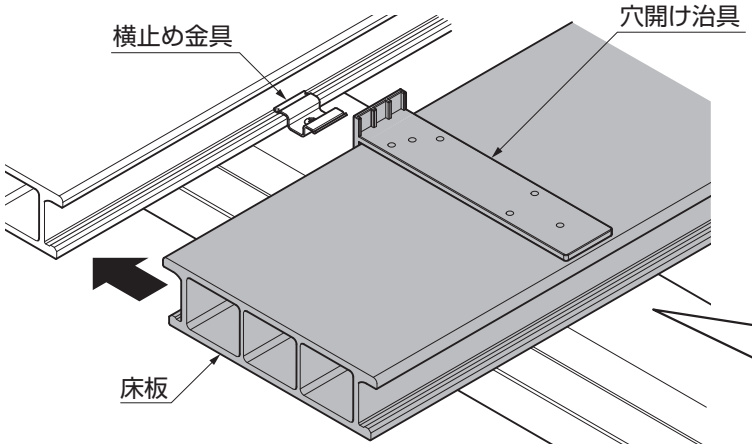
●突起形状(※1)のある側を、床板のフィン部に取付けてください。



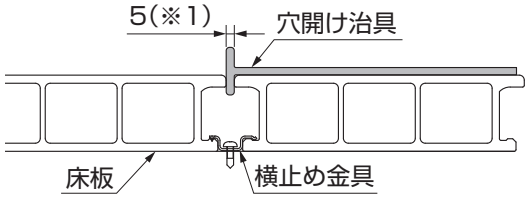
①横止め金具を床板のフィン部に乗せて、【20-1】で下穴の位置に取付けてください。

②「2-3 床板2枚目以降の固定」以降も同様に取付けてください。

2-3 床板2枚目以降の固定



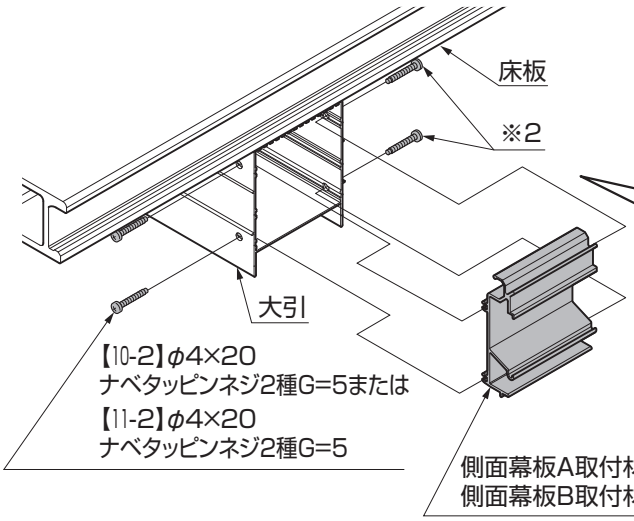
①床板同士のすき間が5mm(※1)になるように、床板を横止め金具に差し込んでください。



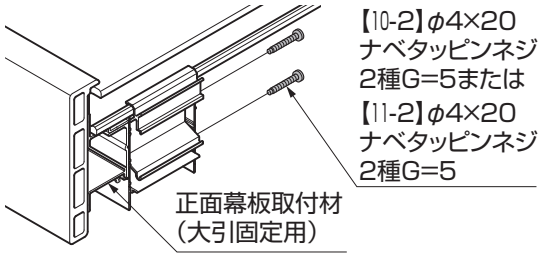
ポイント

●床板のすき間は穴開け治具で確認できます。
●入りにくい時はゴムハンマーで軽くたたいて入れてください。

2-4 側面幕板取付材の固定



①側面幕板A取付材または側面幕板B取付材を大引に【10-2】、または【11-2】で取付けてください。

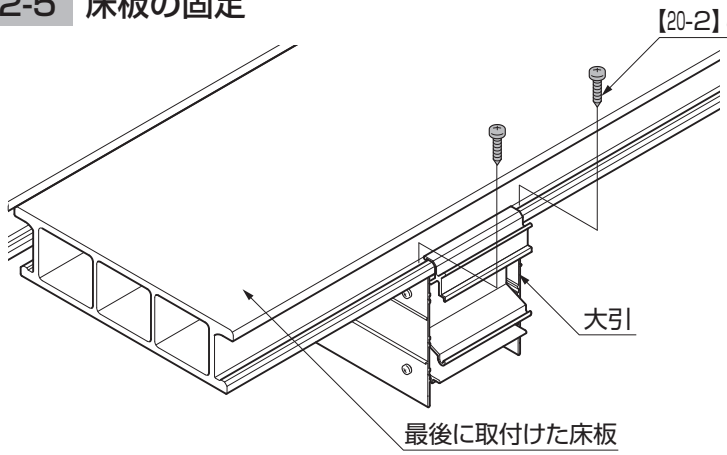


ポイント

●正面幕板取付材(大引固定用)を使用する場合、【10-2】または【11-2】は2本止め(※2)してください。

2. 床板の取付け（つづき） ※図は側面幕板A取付材の場合を示します。

2-5 床板の固定

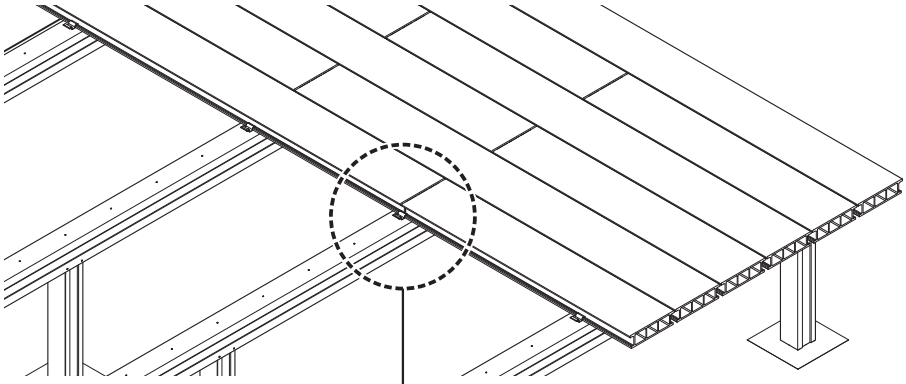


①側面幕板取付材の両側に【20-2】を取付けてください。

ポイント

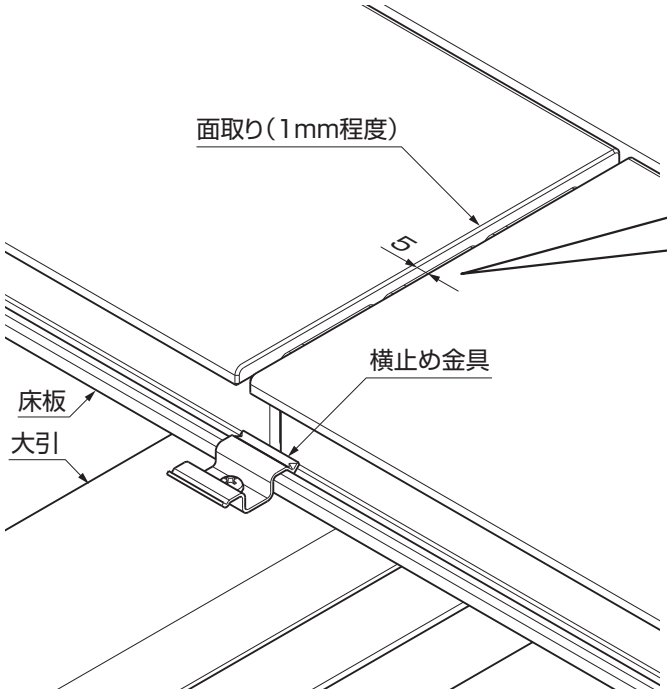
●【20-2】は、最後に取付けた床板の側面側に取付けてください。ネジを取付けないと床板が動くおそれがあります。

2-6 床板を縦連結する場合

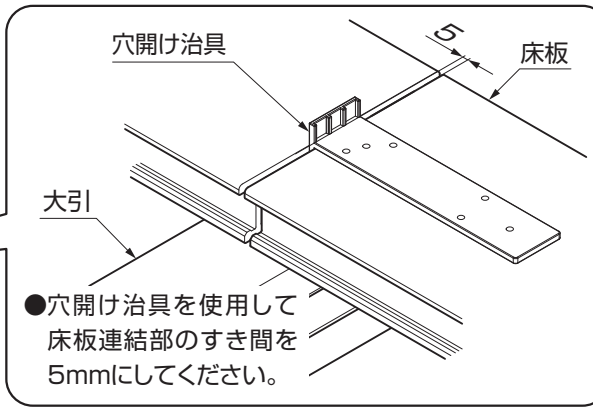


ポイント

●床板を連結する場合は、必ず千鳥張りにしてください。千鳥張りにしないと、床板が変形するおそれがあります。

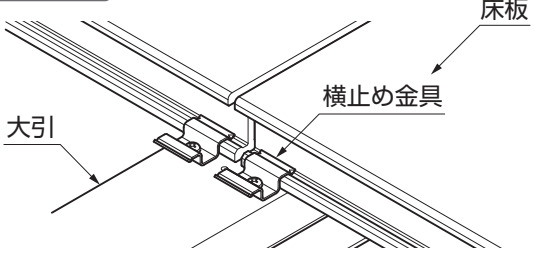


①床板の連結は必ず大引の上で行ってください。
②床板連結部のすき間は5mmにしてください。
③連結部の床板小口は軽く（1mm程度）面取りをしてください。



●穴開け治具を使用して床板連結部のすき間を5mmにしてください。

補足



●横止め金具は、並べて2個まで大引に取付けることができます。

3. 床板の上止め

3-1 床板の上止め

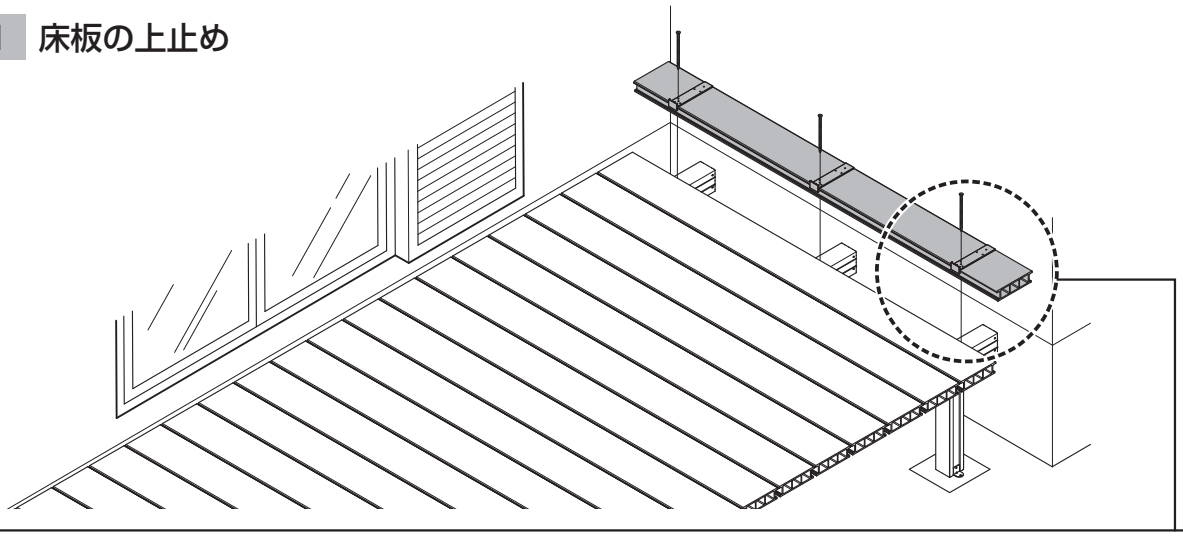


図3-1

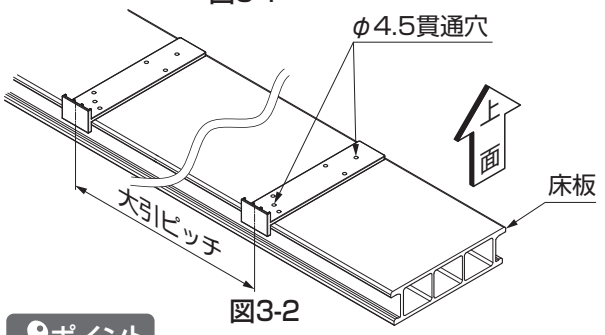
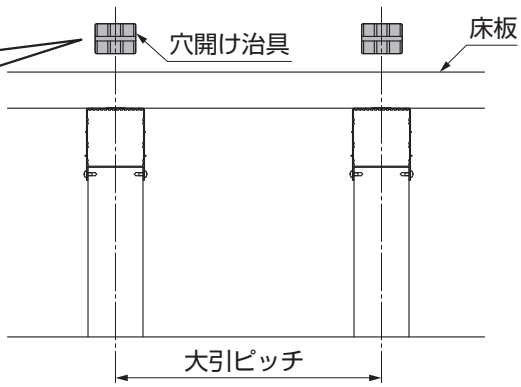


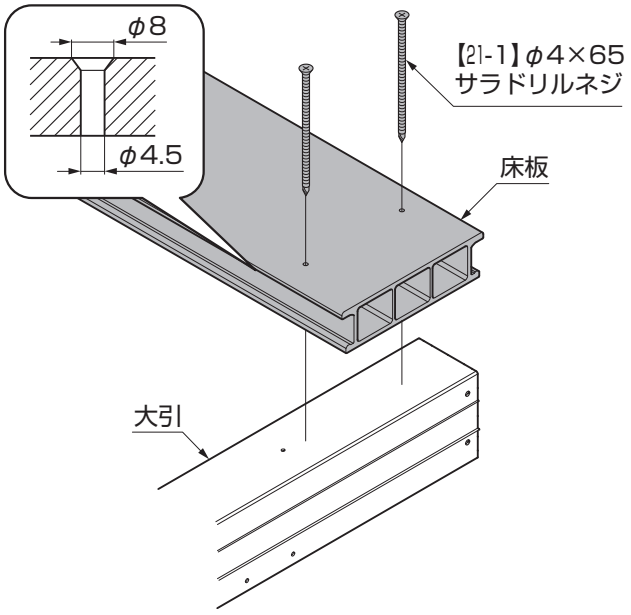
図3-2

ポイント

●穴開け治具の○印の穴を使ってください。(図3-1参照)



①床板に、φ4.5の貫通穴をあけてください。(図3-1、図3-2参照)



②床板上面のφ4.5の穴にφ8サラ取り加工をしてください。

③床板を大引に、【21-1】で固定してください。

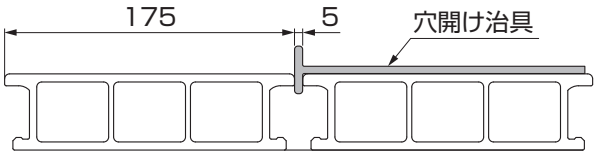


図3-3

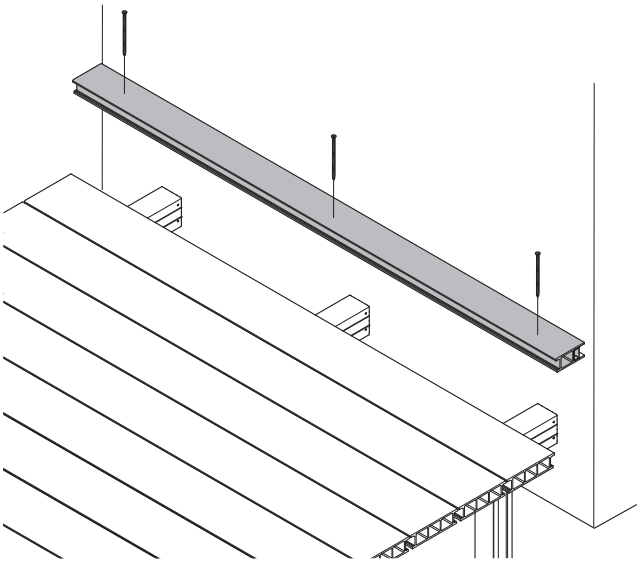
ポイント

●電動ドライバー等での締め付け過ぎに注意してください。締込み過ぎると床板が割れるおそれがあります。

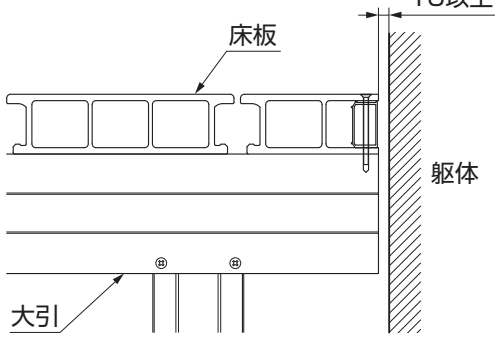
●穴開け治具を使って、床板と床板のすき間を5mmにしてください。(図3-3参照)

3. 床板の上止め（つづき）

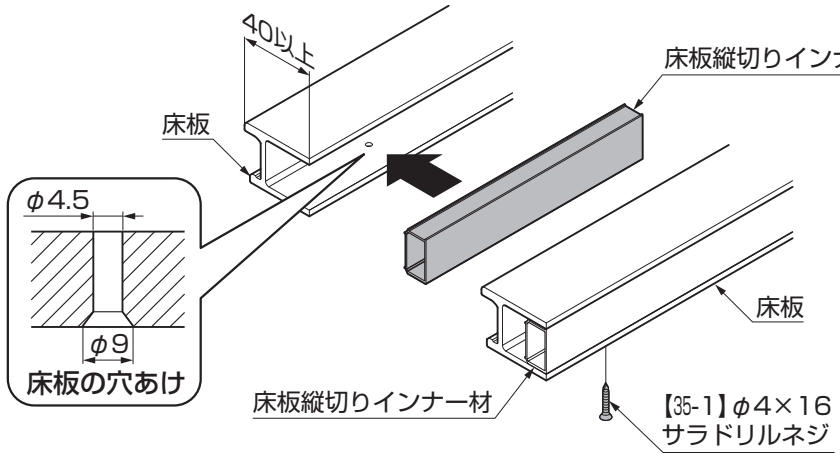
3-2 床板を縦切りする場合



ポイント



●躯体と床板のすき間は10mm以上あけてください。



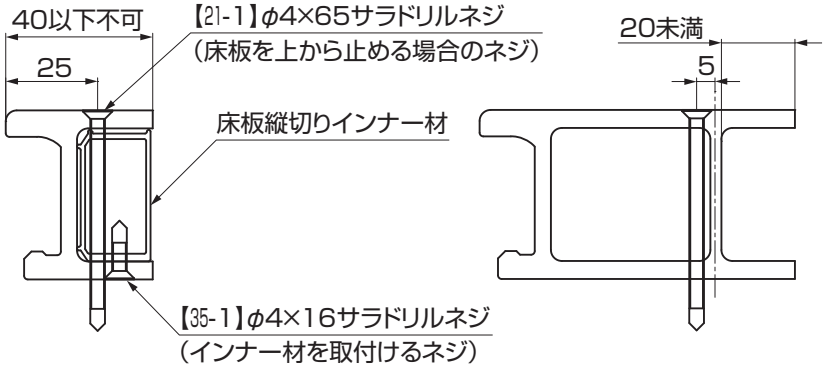
ポイント

●床板の縦切りをする場合には、必ずこの作業を行ってください。

①床板縦切りインナー材を必要な長さに切断してください。

②床板の床板縦切りインナー材を固定する位置にφ4.5下穴とφ9サラ取りをしてください。

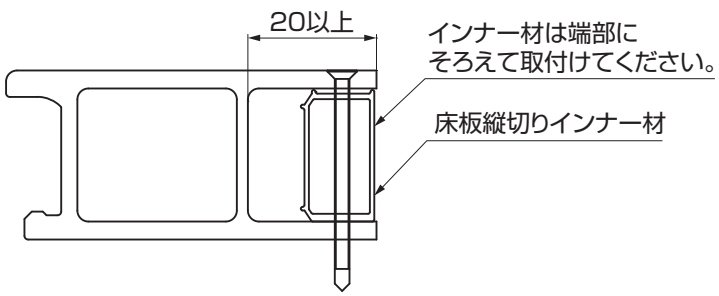
③床板縦切りインナー材を【35-1】で固定してください。



ポイント

●床板端部を残した切断の場合は、リブからの持ち出しが20mm以上の場合にインナー材を使用してください。

●床板端部以外の切断の場合は、リブからの持ち出しが20mm以上の場合にインナー材を使用してください。



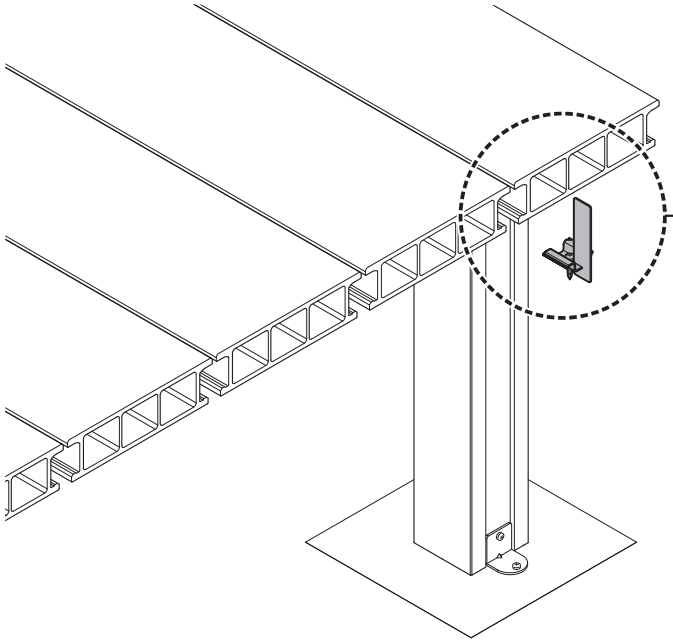
補足

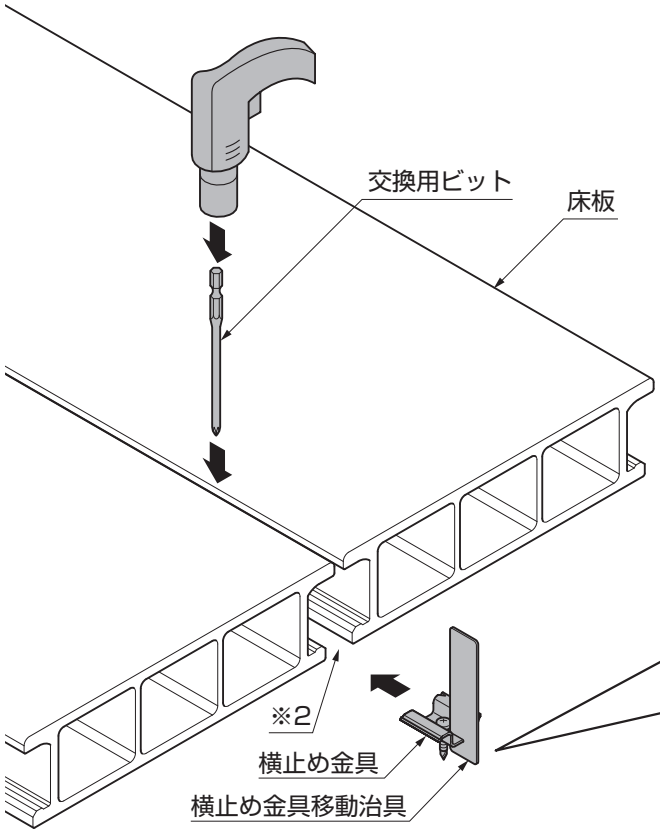
●【35-1】の取付けピッチは600mm以内にしてください。

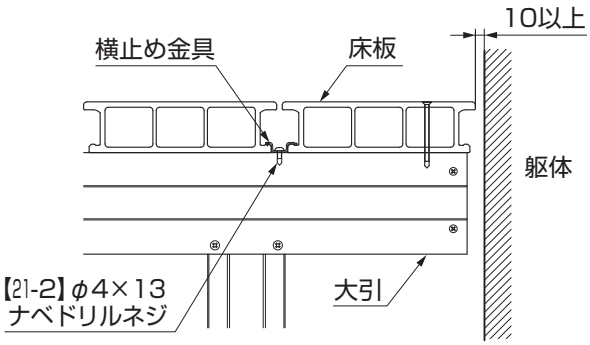
④床板を【21-1】で大引に取付けてください。

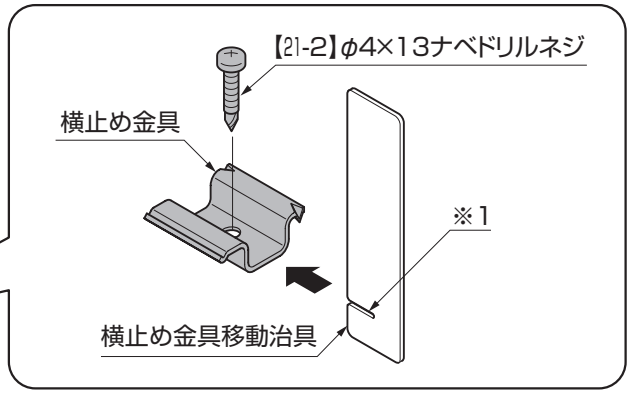
3-3 横止め金具の付け替え オプション

※床板を全面施工後に横止め金具を大引に改めて固定する場合の作業です。







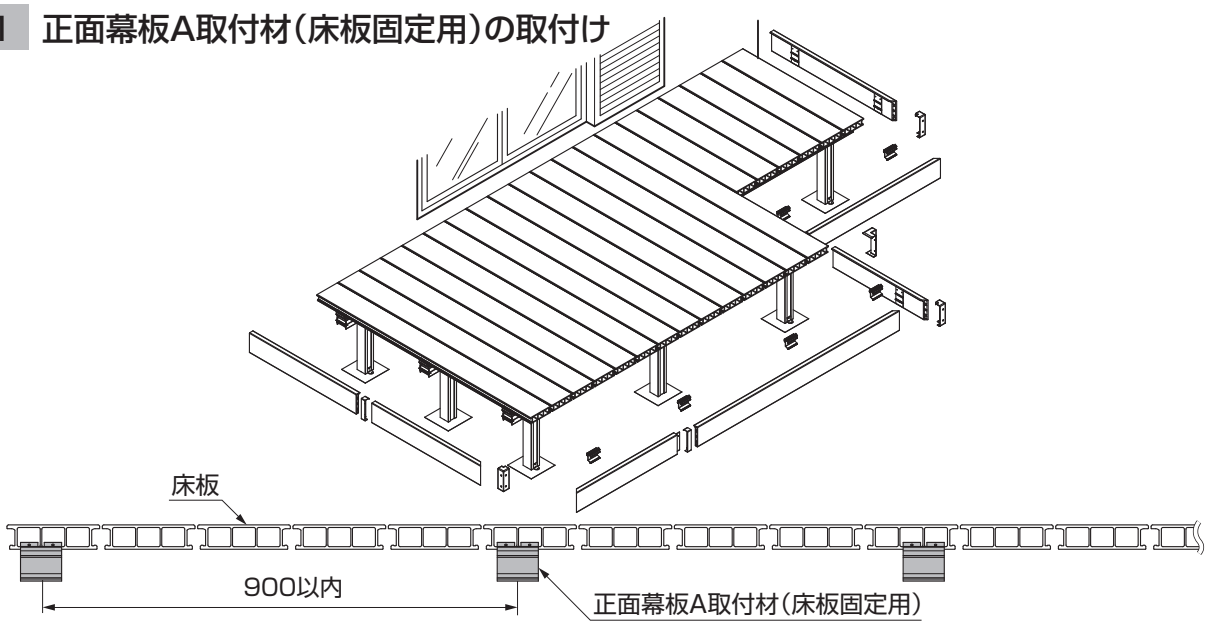


①横止め金具の穴に【21-2】を入れてから、横止め金具移動治具の溝（※1）に横止め金具を差込んでください。
②デッキ前面の目地の隙間（※2）から横止め金具を入れてください。
③交換用ビットを目地上部から差込み、横止め金具を固定してください。

6　幕板の施工

1. 幕板Aの施工

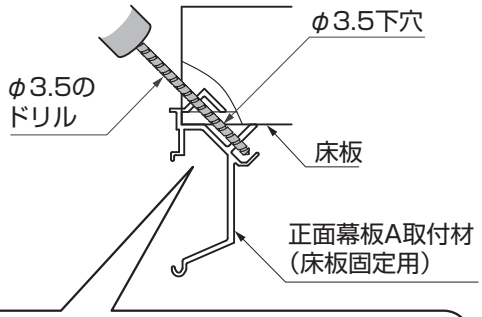
1-1　正面幕板A取付材(床板固定用)の取付け

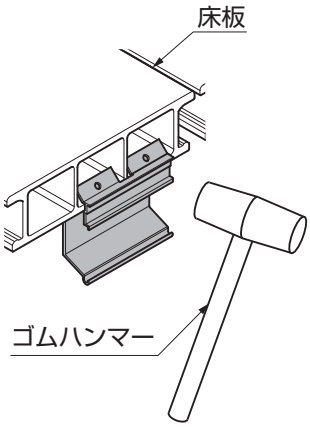


①正面幕板A取付材(床板固定用)を取付ける位置を確認してください。

ポイント

●取付けピッチは、900mm以内(床板4枚おきまで)にしてください。
●正面幕板A取付材(床板固定用)は、幕板の始まりと終わり、および幕板連結部に取付けてください。

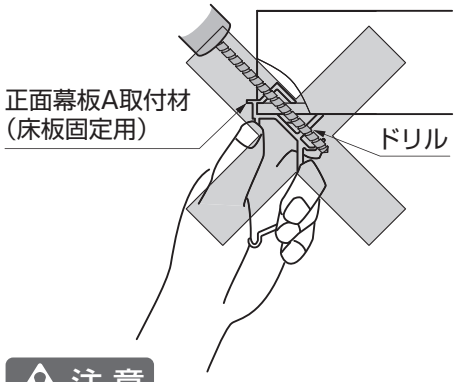




②正面幕板A取付材(床板固定用)を床板中空部にはめこんでください。

ポイント

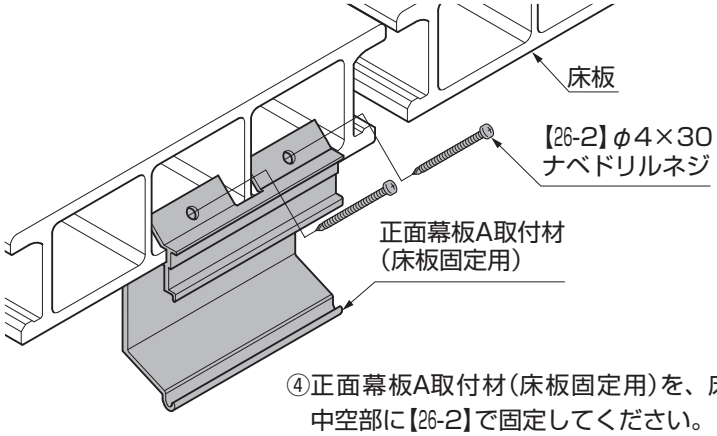
●正面幕板A取付材(床板固定用)が入りにくい場合はゴムハンマーなどで叩いて確実にはめ込んでください。
●正面幕板A取付材(床板固定用)がずれないように押さえながら穴をあけてください。



注意

●下穴は正面幕板A取付材(床板固定用)に貫通させないでください。貫通したドリルで手を傷つけるおそれがあります。

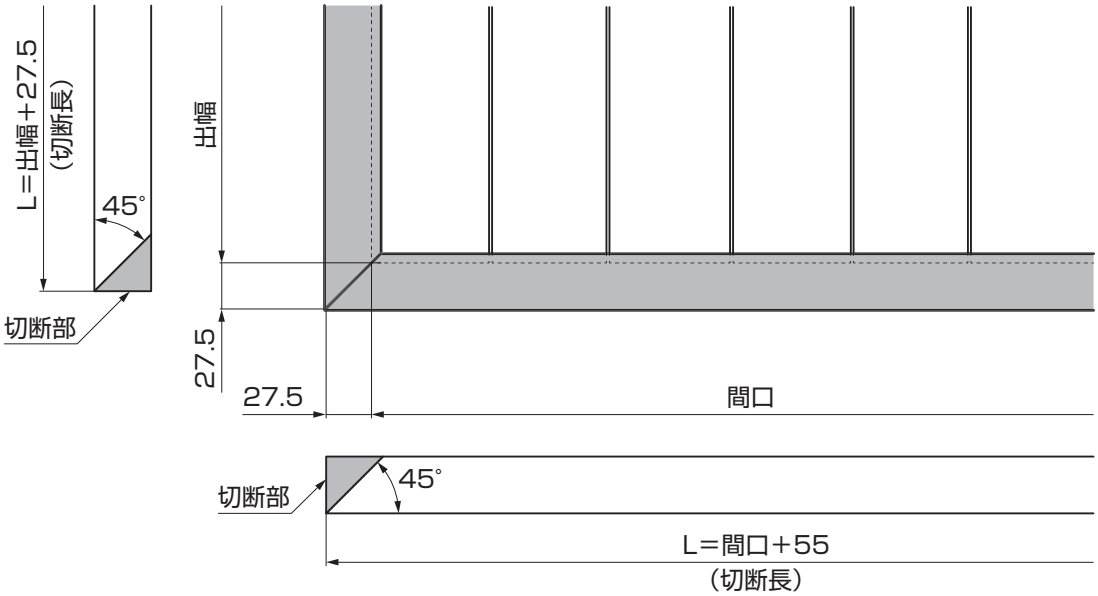
③正面幕板A取付材(床板固定用)の穴に従って床板下面にφ3.5の下穴をあけてください。



④正面幕板A取付材(床板固定用)を、床板中空部に【26-2】で固定してください。

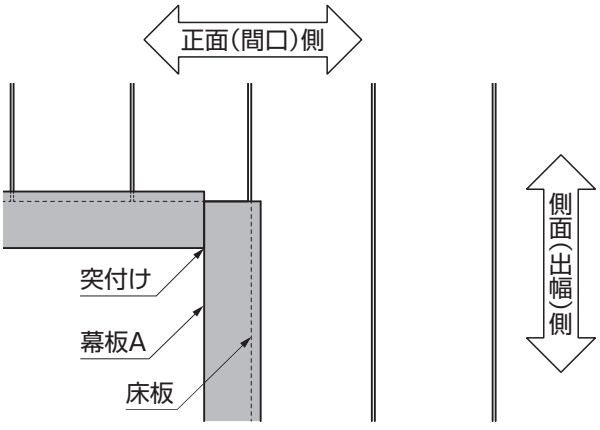
E343_201305A

1-2 幕板Aの加工



①出隅の端部は、45°に切断加工してください。

1-3 90度コーナー（入隅仕様）の場合



①入隅は、側面側の幕板を床板端部に合わせて切断してください。
②側面側の幕板へ正面側の幕板を突き当てて切断してください。

1-4 連結部の場合

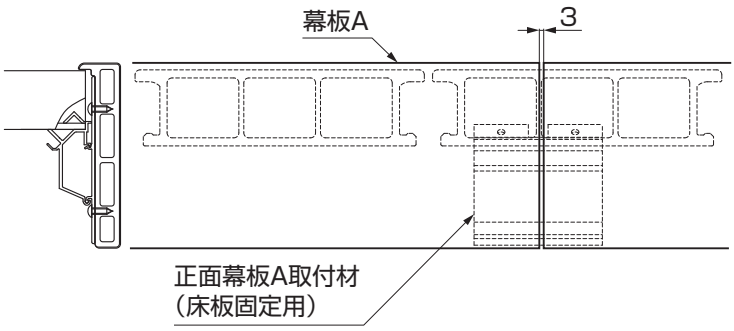


図1-1

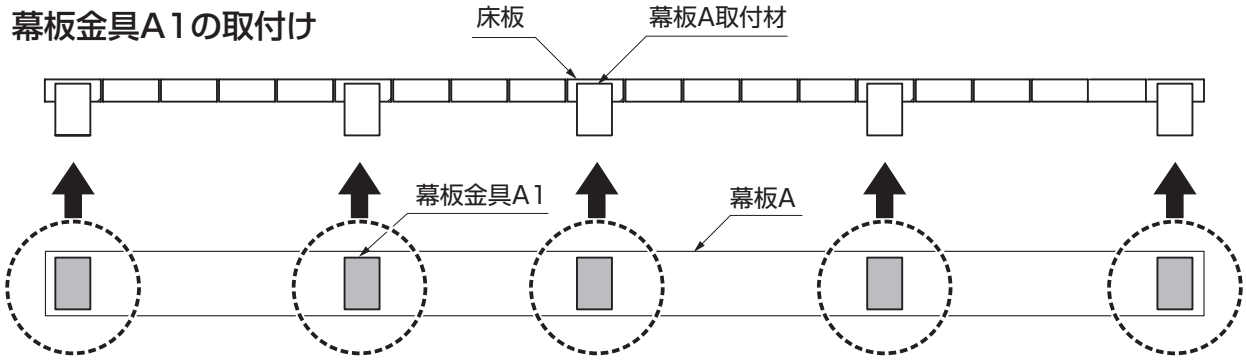
①幕板Aの連結部は3mmあけて切断してください。

ポイント

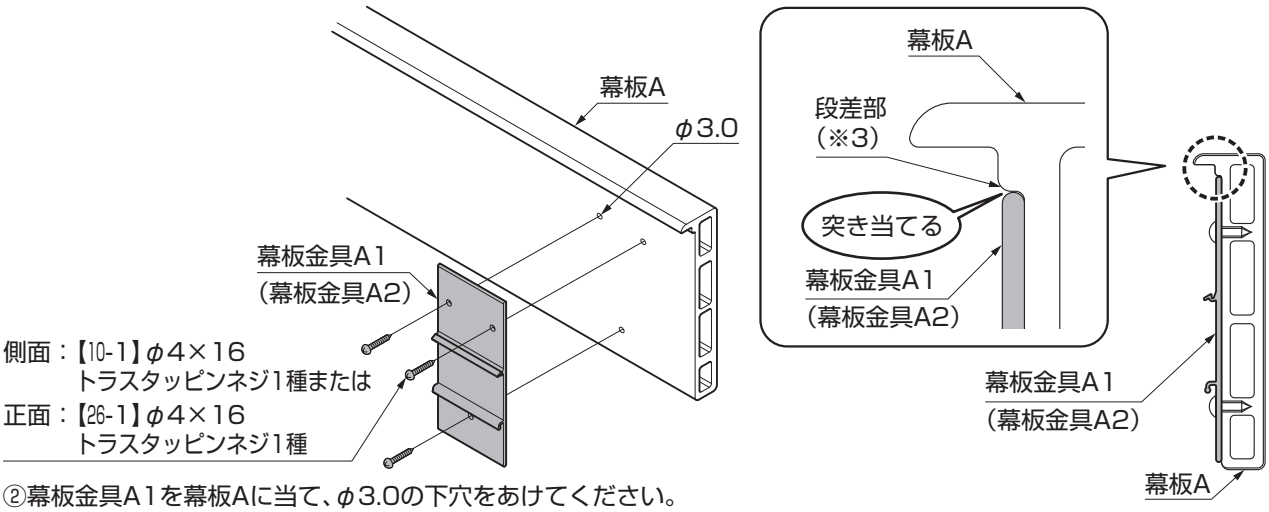
●幕板Aの連結は、幕板A取付材のある箇所で行ってください。（図1-1参照）

1. 幕板Aの施工（つづき）

1-5 幕板金具A1の取付け



①幕板A取付材の位置を確認して、幕板金具A1を取付ける位置を確認してください。



②幕板金具A1を幕板Aに当て、φ3.0の下穴をあけてください。

ポイント

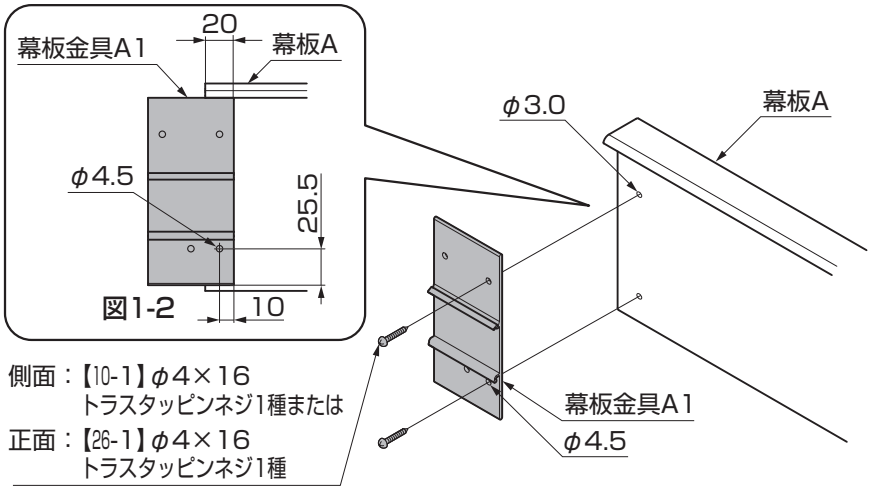
●幕板には必ず下穴をあけてください。下穴をあけないと幕板が割れるおそれがあります。
●幕板金具A1は、幕板Aの段差部（※3）に突き当ててください。

③幕板Aに幕板金具A1を、【10-1】または【26-1】で固定してください。

補足

●隅切り部の場合は、幕板金具A2を取付けてください。

1-6 連結部の場合



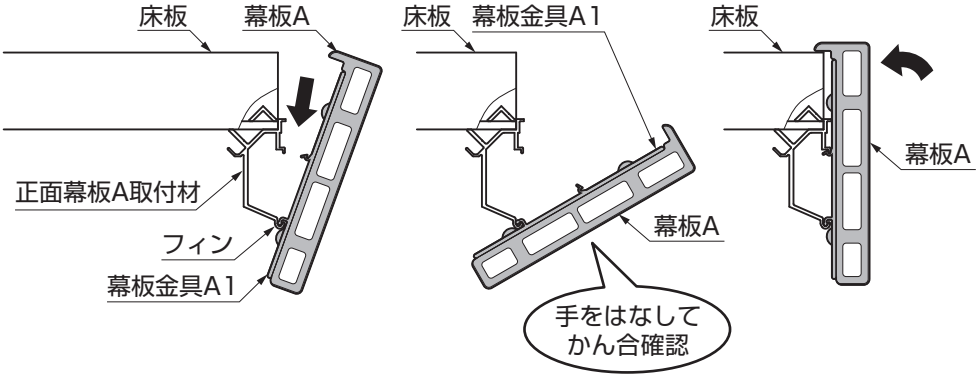
①幕板金具A1に、φ4.5の穴を1ヶ所あけてください。
②幕板金具A1を幕板Aの端部に20mm重なるようにあてて、φ3.0の下穴をあけてください。（図1-2参照）
③幕板Aに幕板金具A1を、【10-1】または【26-1】で固定してください。

ポイント

●必ず図1-2のように取付けてください。

1-7 幕板Aの取付け

(1)正面幕板A取付材の場合



①幕板金具A1を、幕板A取付材のフィンにひっかけてください。

ポイント

●幕板Aは立て気味にして入れてください。寝かせすぎるとネジにあたって入りにくくなります。

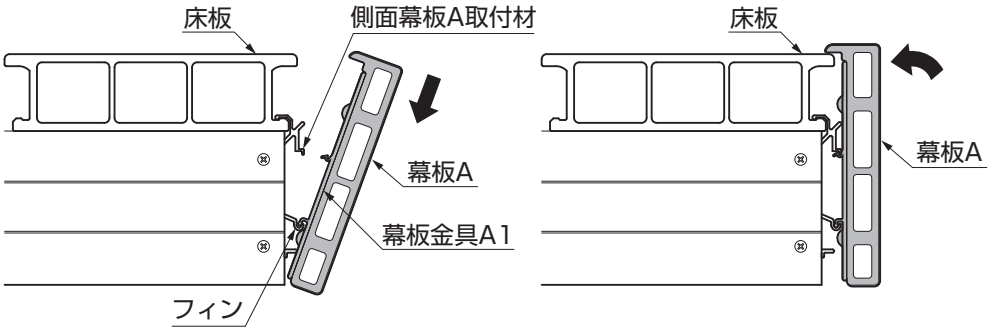
②幕板金具A1がフィンにひっかかっていることを確認してください。

③幕板Aを正面幕板A取付材にはめこんでください。

補足

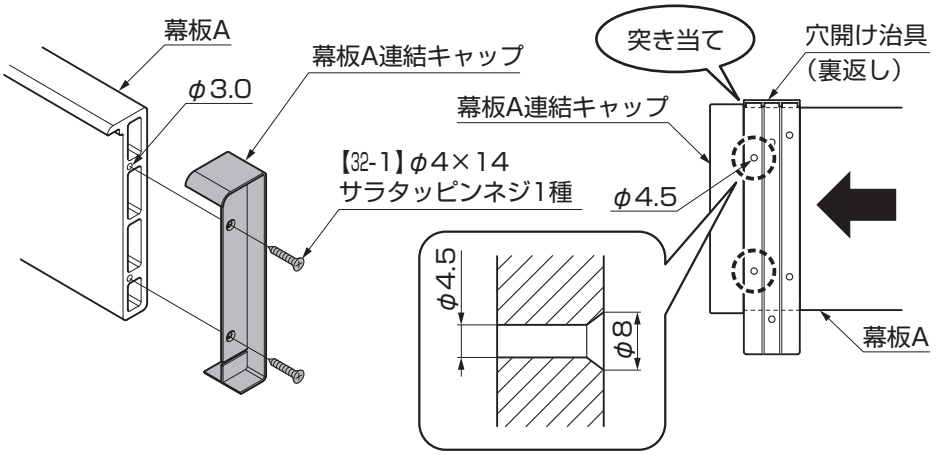
●幕板Aが入りにくい場合はゴムハンマーで軽くたたいてください。

(2)側面幕板A取付材の場合



④側面側も同様に取付けてください。

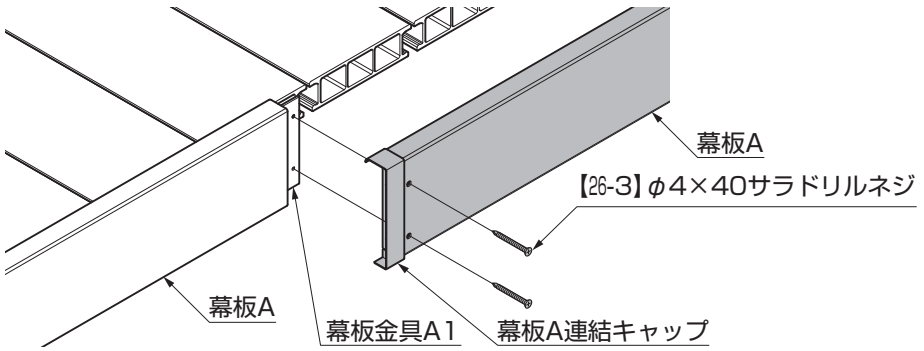
1-8 連結部の取付け



①幕板Aに連結キャップをあて、φ3.0の下穴をあけてください。

ポイント

●幕板Aには下穴を必ずあけてください。下穴をあけないと幕板が割れるおそれがあります。



②幕板Aに連結キャップを【32-1】で取付けてください。

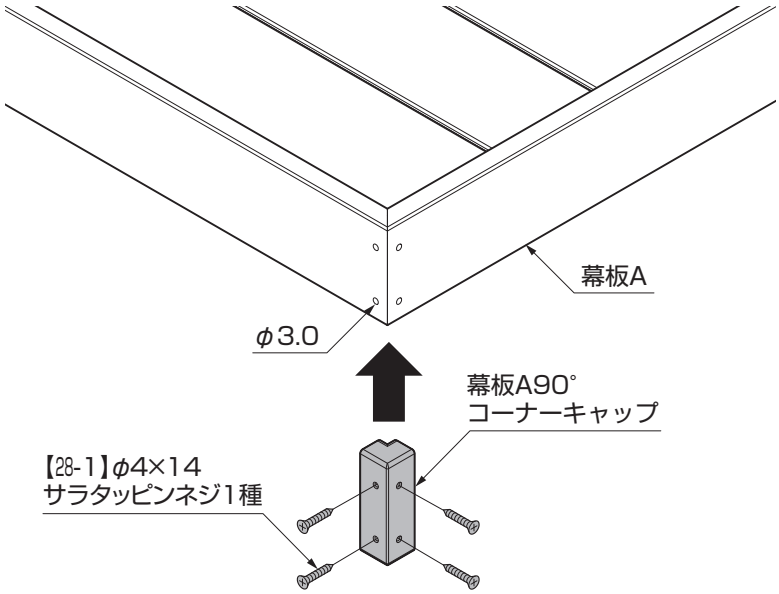
③連結キャップに穴開け治具を裏返して突き当て、左側の穴でφ4.5の貫通穴とφ8のサラ取り加工をしてください。

④幕板Aを幕板A取付材に取付けてください。

⑤幕板Aの連結部を【26-3】で固定してください。

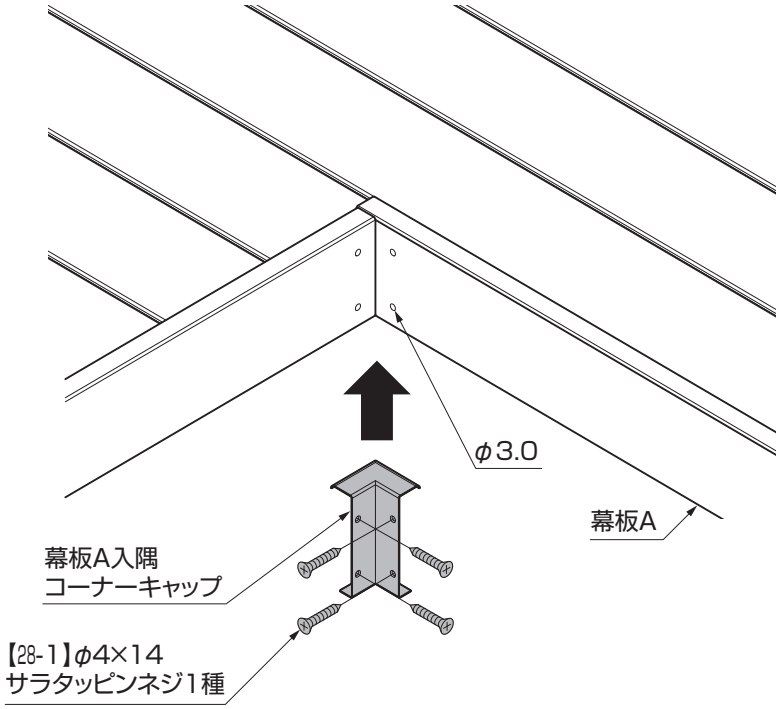
1. 幕板Aの施工（つづき）

1-9 90度コーナー（出隅仕様）の場合



①幕板A90°コーナーキャップを幕板Aコーナー部に当てて、幕板Aにφ3.0の下穴をあけてください。
②幕板Aコーナーキャップを、【28-1】で取付けてください。

1-10 90度コーナー（入隅仕様）の場合



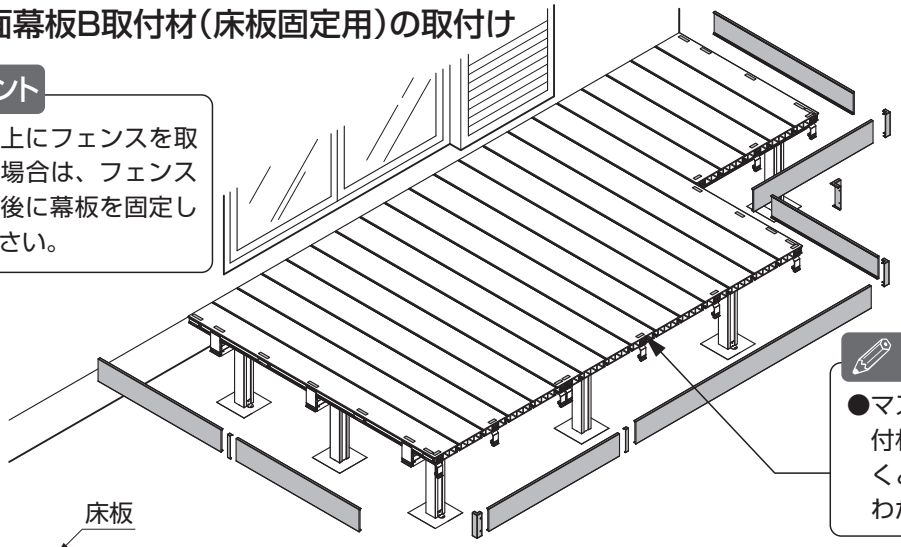
①幕板A入隅キャップをコーナー部に当てて位置を確認し、幕板Aにφ3.0の下穴をあけてください。
②コーナーキャップを、【28-1】で取付けてください。

2. 幕板Bの施工

2-1 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け

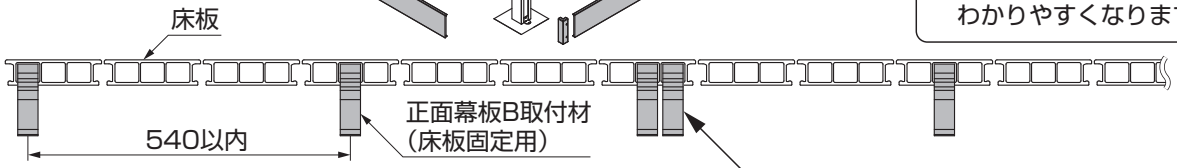
ポイント

●デッキ上にフェンスを取付ける場合は、フェンス取付け後に幕板を固定してください。

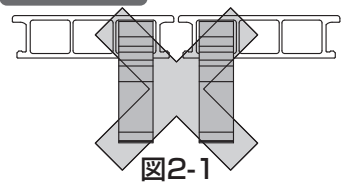


補足

●マスキングテープなどで取付材の位置に印をつけておくと、幕板の穴加工位置がわかりやすくなります。



ポイント



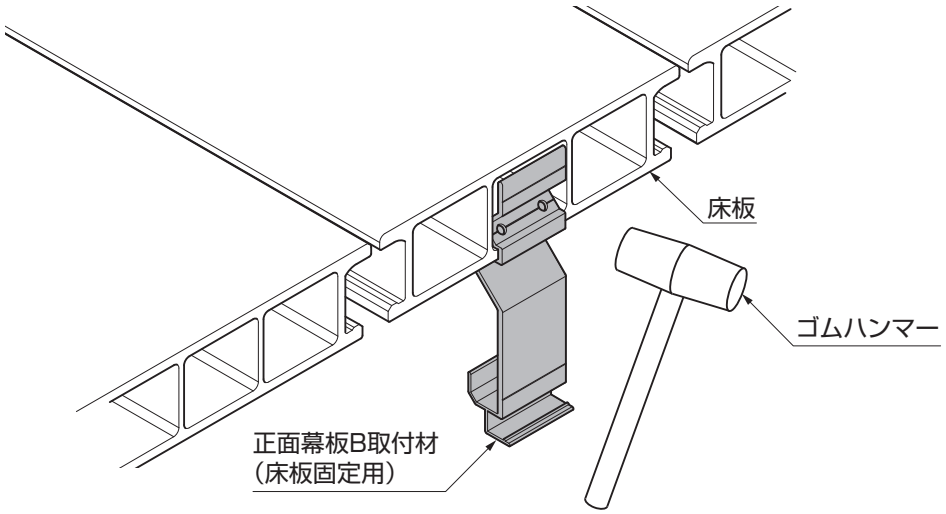
●連結部の正面幕板B取付材(床板固定用)は1枚の床板に2個取付けてください。2枚にまたがないでください。(図2-1参照)

図2-1

①正面幕板B取付材(床板固定用)を取付ける位置を確認してください。

ポイント

●正面幕板B取付材(床板固定用)の取付けピッチは、540mm以内(床板2枚おきまで)にしてください。
●正面幕板B取付材(床板固定用)は、幕板の始まりと終わり、および連結部に必ず取付けてください。

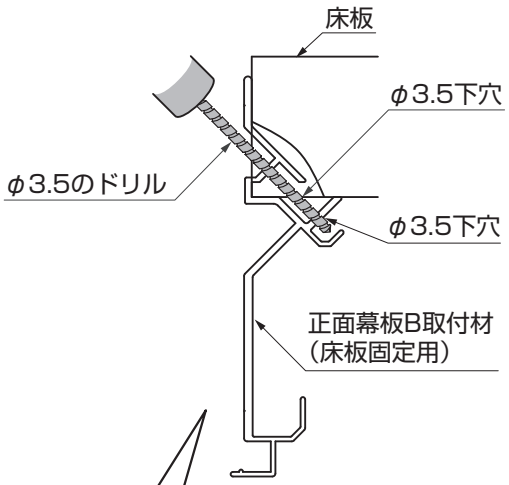


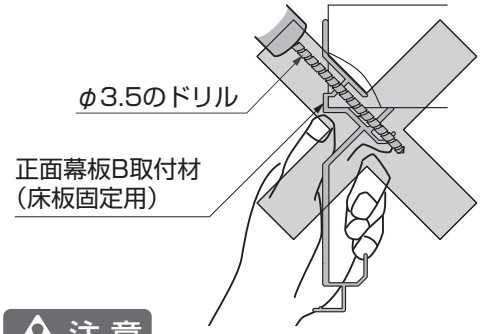
②正面幕板B取付材(床板固定用)を床板中空部にはめこんでください。

ポイント

●正面幕板B取付材(床板固定用)を床板にあて、ゴムハンマーなどで叩いて確実にはめ込んでください。

2. 幕板Bの施工（つづき）





注 意

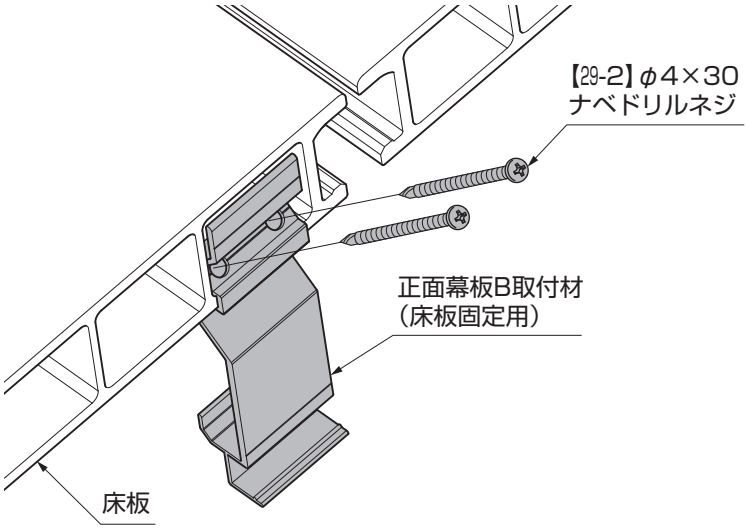
●下穴は、正面幕板B取付材（床板固定用）に貫通させないでください。貫通したドリルで手を傷つけるおそれがあります。

ポイント

●正面幕板B取付材（床板固定用）がずれないように押さえながら穴をあけてください。

③正面幕板B取付材（床板固定用）を床板中空部にはめこみ、正面幕板B取付材（床板固定用）の穴に従って床板下面にφ3.5の下穴をあけてください。

④正面幕板B取付材（床板固定用）を、床板中空部に【29-2】で固定してください。

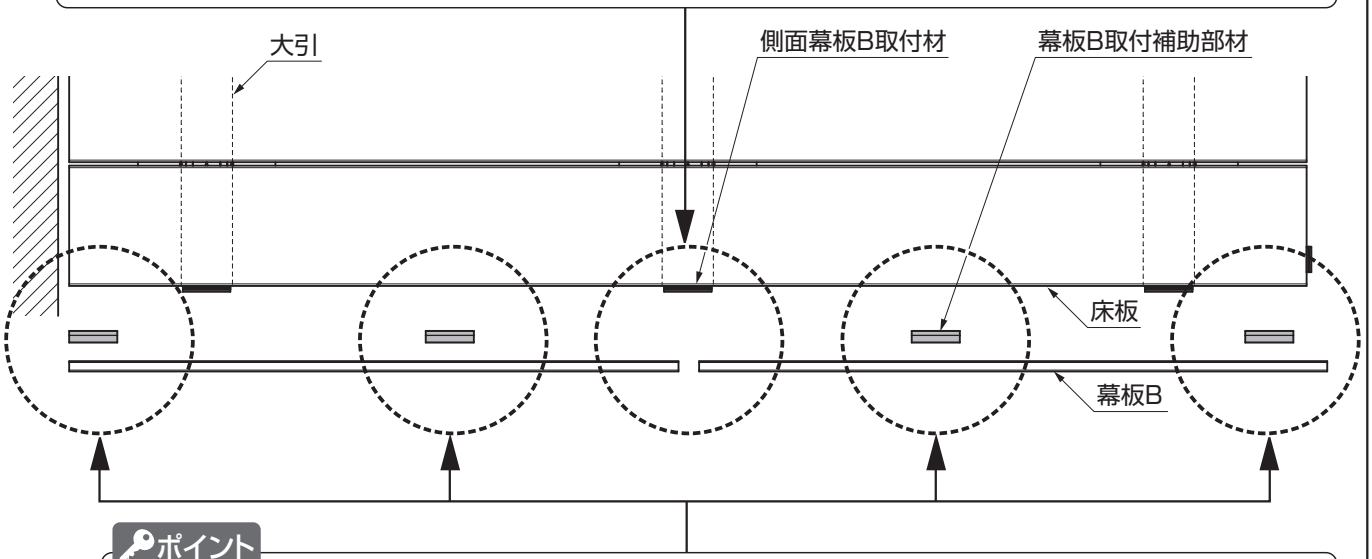


E343_201305A

2-2 幕板B取付補助部材の取付け

ポイント

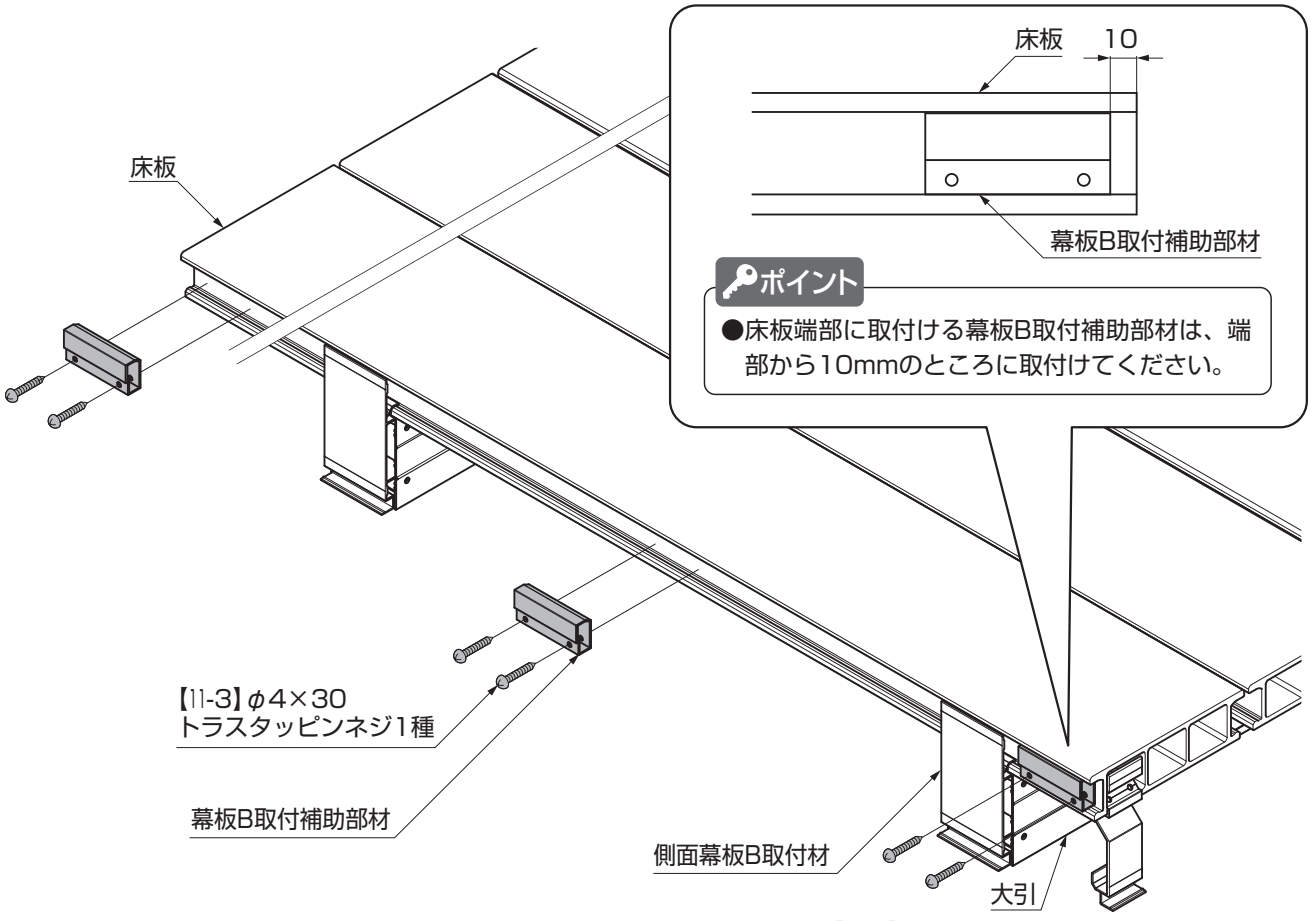
●幕板Bの連結は、必ず側面幕板B取付材のある箇所で行ってください。



ポイント

●幕板B取付補助部材は、床板の両端部と、側面幕板B取付材の間に取付けてください。

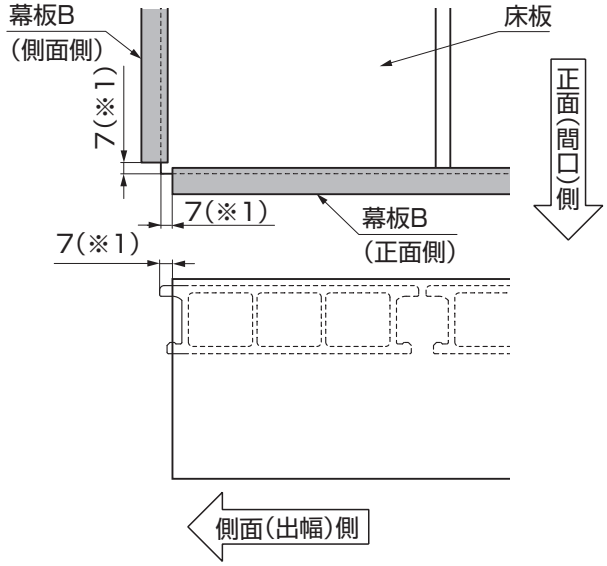
①幕板B取付補助部材を取付ける位置を確認してください。



②床板側面の大引間中間部と、床板両端部に、幕板B取付補助部材を【11-3】で固定してください。

2. 幕板Bの施工（つづき）

2-3 90度コーナー（出隅仕様）の場合

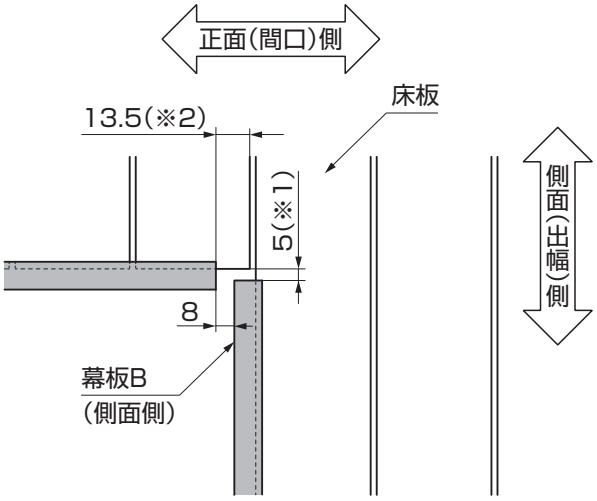


①図のように幕板Bを切断してください。

ポイント

●幕板Bは床板から7mm（※1）デッキ内側にしてください。

2-4 90度コーナー（入隅仕様）の場合



①図のように幕板Bを切断してください。

ポイント

●側面側の幕板Bは床板から5mm（※1）あけてください。
●正面側の幕板Bは床板から13.5mm（※2）あけてください。

2-5 連結部の場合

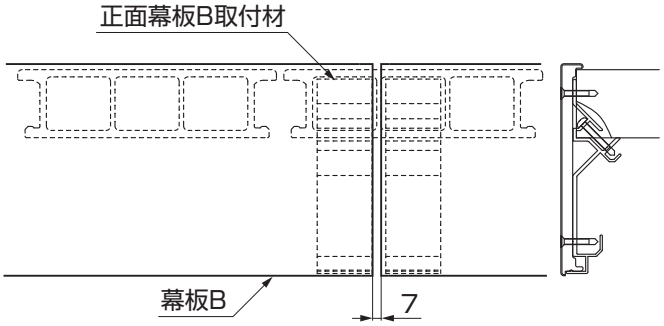


図2-2　正面

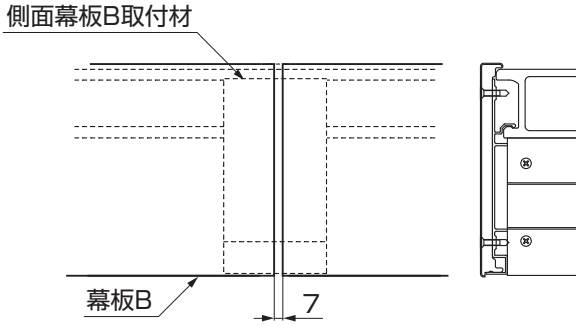
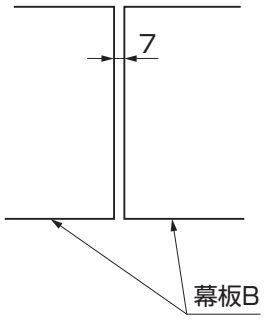


図2-3　側面



ポイント

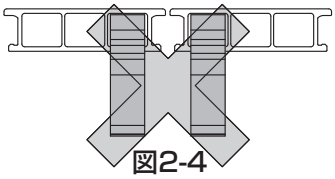


図2-4

●連結部の正面幕板B取付材（床板固定用）は、1枚の床板に2個取付けてください。2枚にまたがないでください。（図2-4参照）

ポイント

●幕板Bの連結は、幕板B取付材のある箇所で行ってください。

①幕板Bの連結部は7mmあけて切断してください。

2-6 幕板Bの穴加工

ポイント

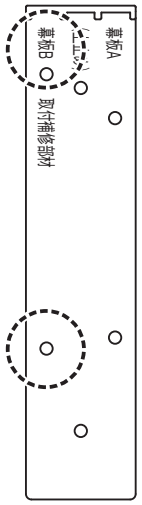


図2-5
穴開け治具

●穴開け治具の○印の穴を使ってください。（図2-5参照）

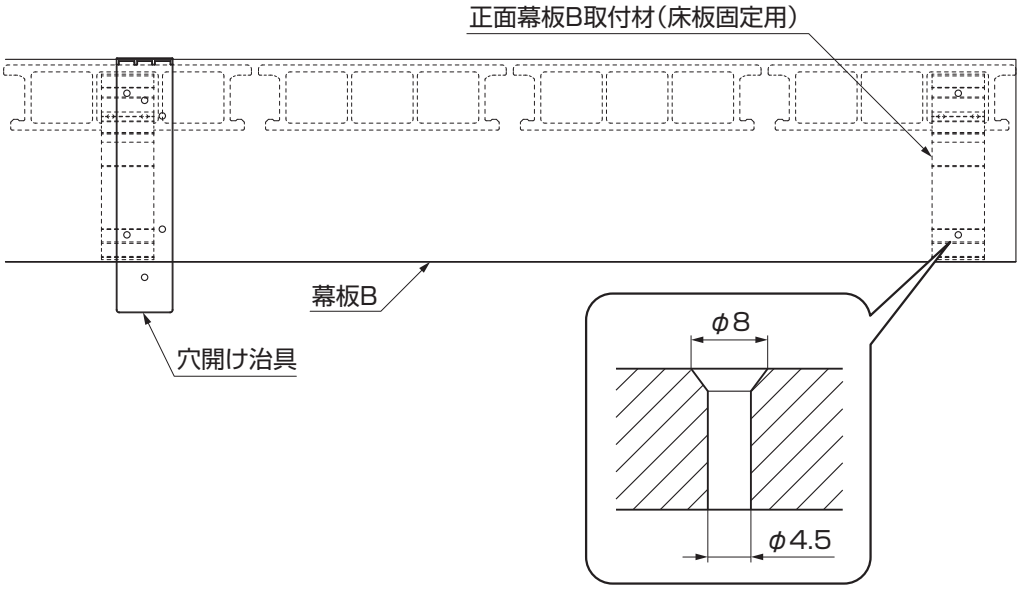


図2-6　正面幕板の穴あけ

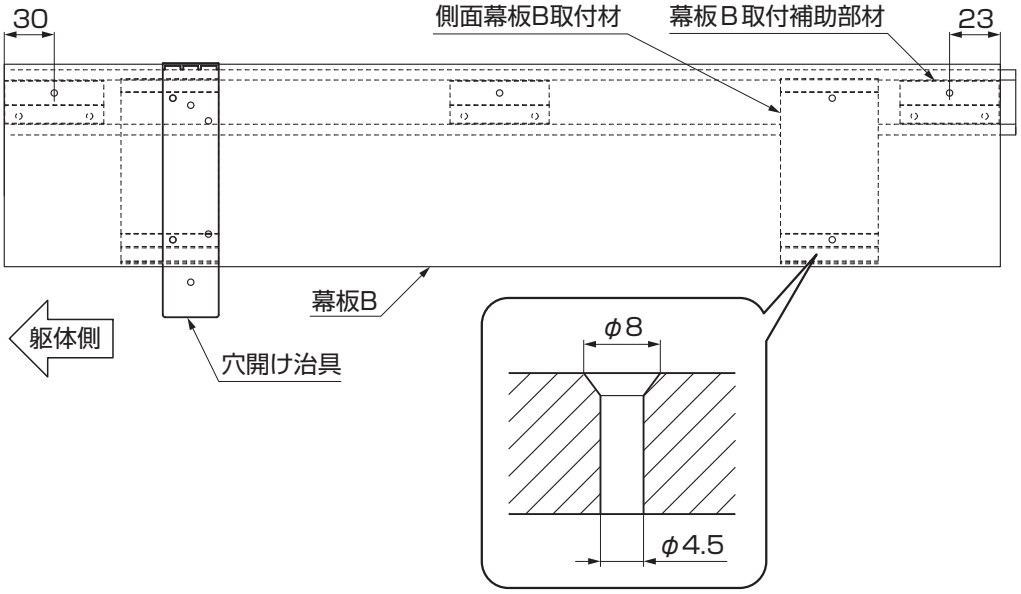


図2-7　側面幕板の穴あけ

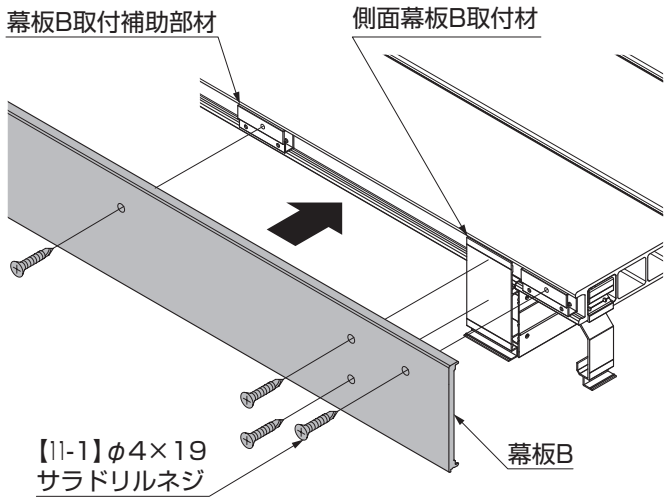
①幕板Bに穴開け治具を使用して、φ4.5の穴とφ8サラ取り加工をしてください。（図2-6、図2-7参照）

ポイント

●側面の幕板B取付補助部材には、上1箇所のみ穴をあけてください。

2. 幕板Bの施工（つづき）

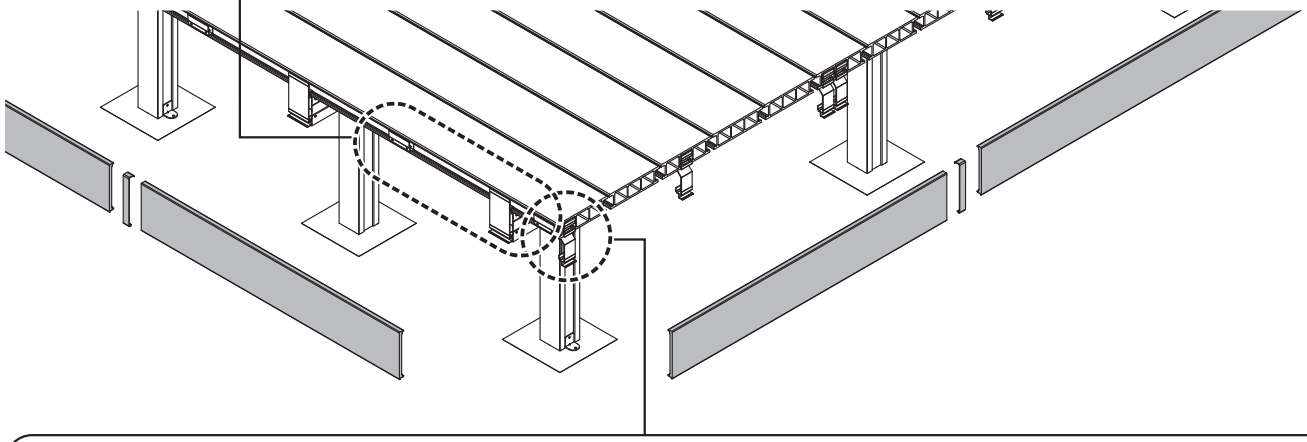
2-7 側面部の場合



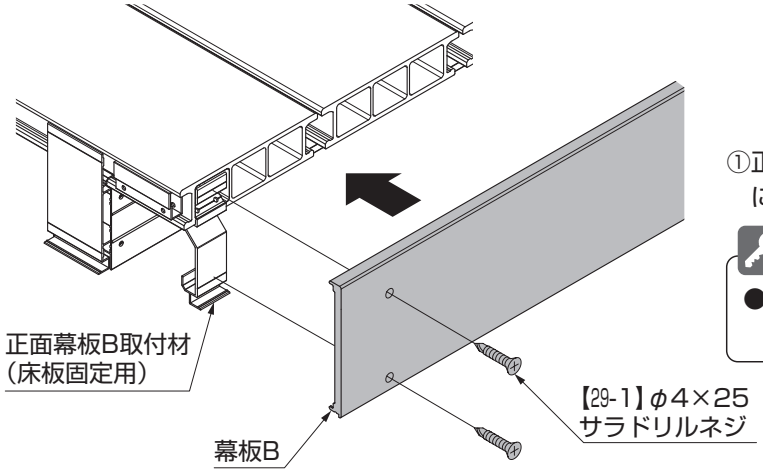
①側面の幕板Bを側面幕板B取付材と幕板B取付補助部材に、【11-1】で固定してください。

ポイント

●側面の幕板Bは側面幕板B取付材へは上下2ヶ所、幕板B取付補助部材へは上1ヶ所の取付けとなります。



2-8 正面部の場合

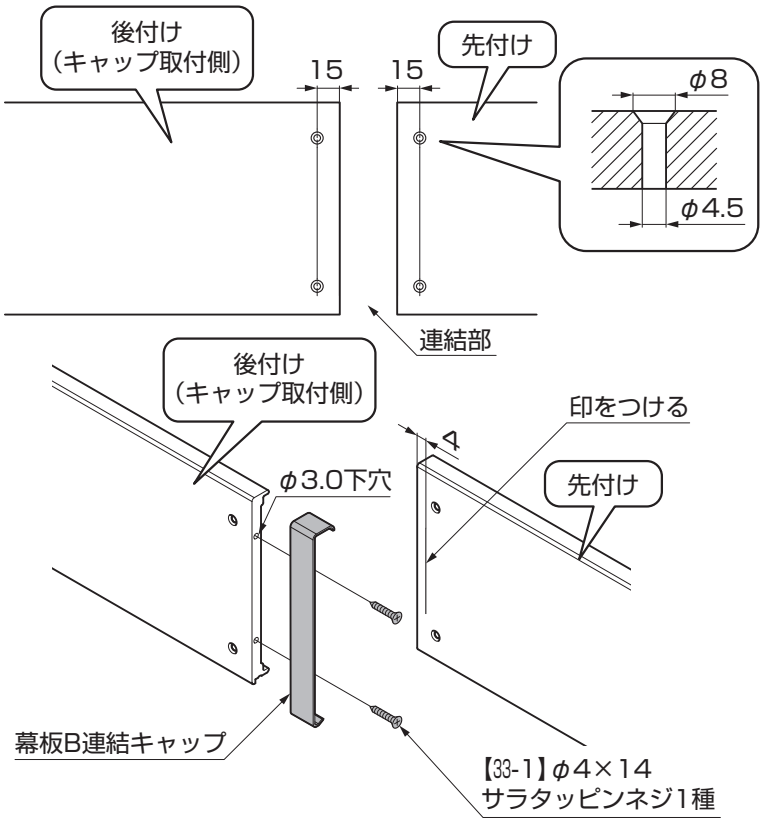


①正面の幕板Bを、正面幕板B取付材（床板固定用）に【29-1】で固定してください。

ポイント

●正面の幕板Bは、上下2ヶ所の取付けになります。

2-9 連結部の取付け



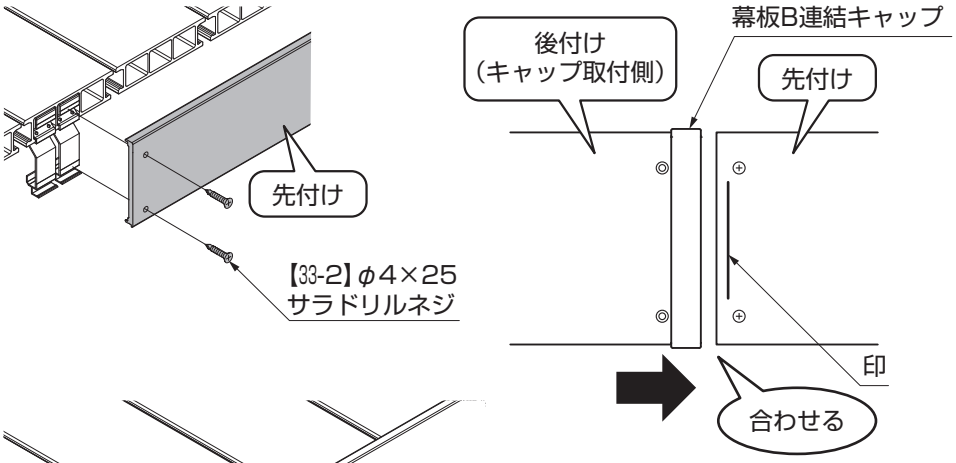
①端部から15mmの位置に穴開け治具を使用して穴加工してください。

②先付けの幕板にキャップのみ込みの印を鉛筆などでつけてください。

③後付けの幕板に連結キャップを【33-1】で取付けてください。

ポイント

●下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れるおそれがあります。



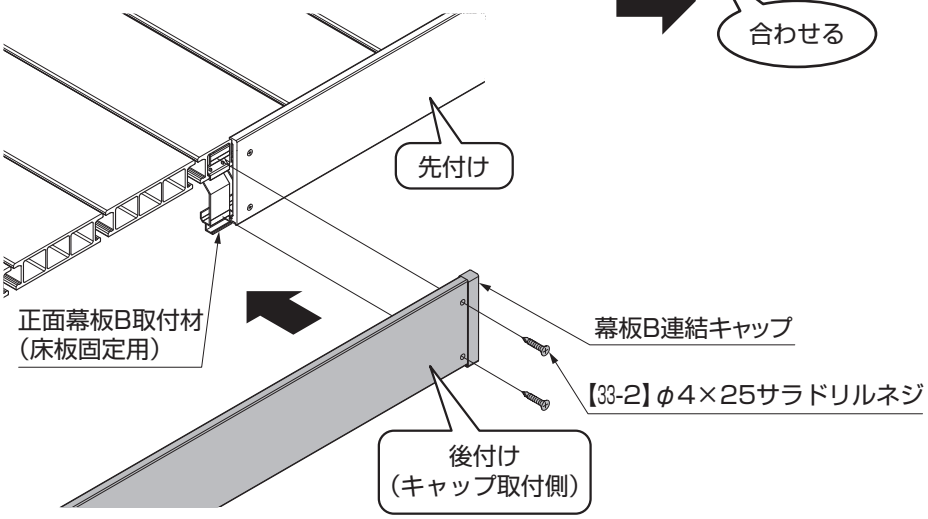
④先付けの幕板Bを、正面幕板B取付材（床板固定用）に【33-2】で固定してください。

ポイント

●幕板B連結キャップが取付いている幕板を後から取付けてください。

⑤後付けの幕板を取付材に仮置きしてください。

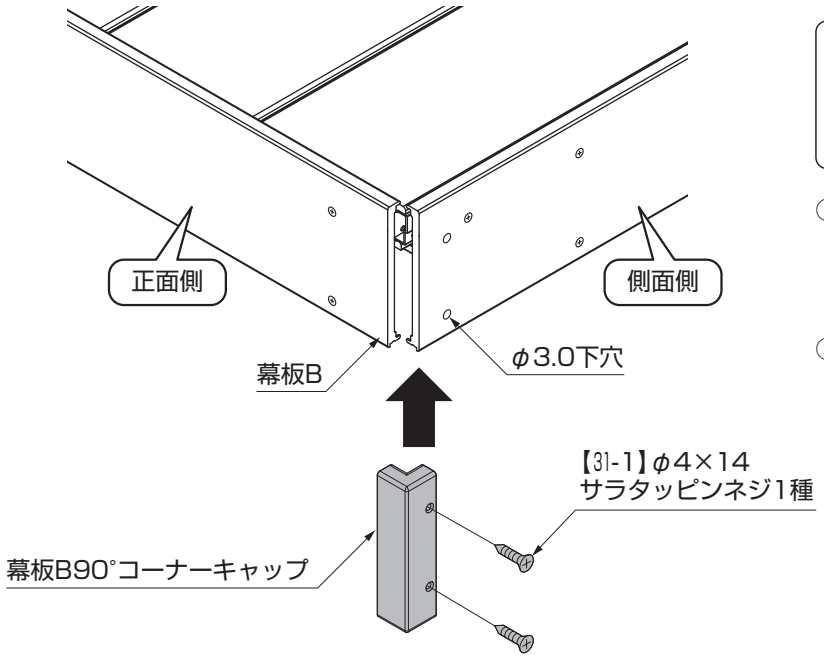
⑥キャップの端部を印に合わせてください。



⑦後付けの幕板を【33-2】で固定してください。

2. 幕板Bの施工（つづき）

2-10 90度コーナー（出隅仕様）の場合

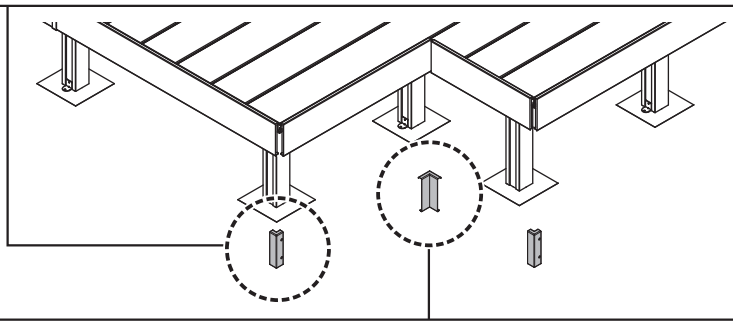


ポイント

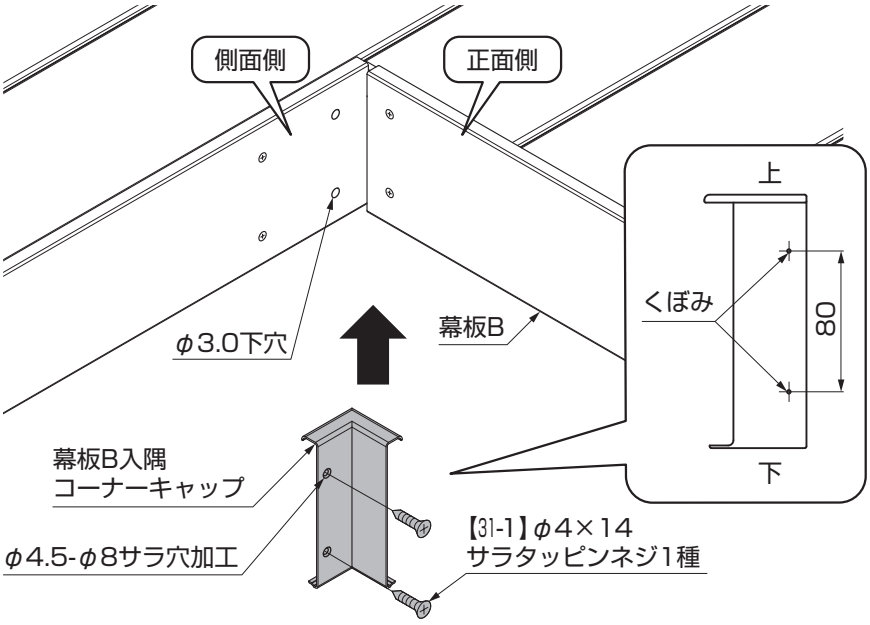
●下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れるおそれがあります。

①幕板B90°コーナーキャップを幕板Bコーナー部に当てて、幕板Bにφ3.0の下穴をあけてください。

②幕板B90°コーナーキャップを幕板Bに【31-1】で取付けてください。



2-11 90度コーナー（入隅仕様）の場合



①床板側面側になるキャップ内側のくぼみ位置にφ4.5の穴を2ヶ所あけ、その穴に表面からφ8のサラ取り加工をしてください。

②幕板B入隅コーナーキャップを、コーナー部に当て、幕板Bにφ3.0の下穴をあけてください。

③コーナーキャップを、【31-1】で取付けてください。

ポイント

●幕板B入隅コーナーキャップには上下があります。

7　幕板の大引固定

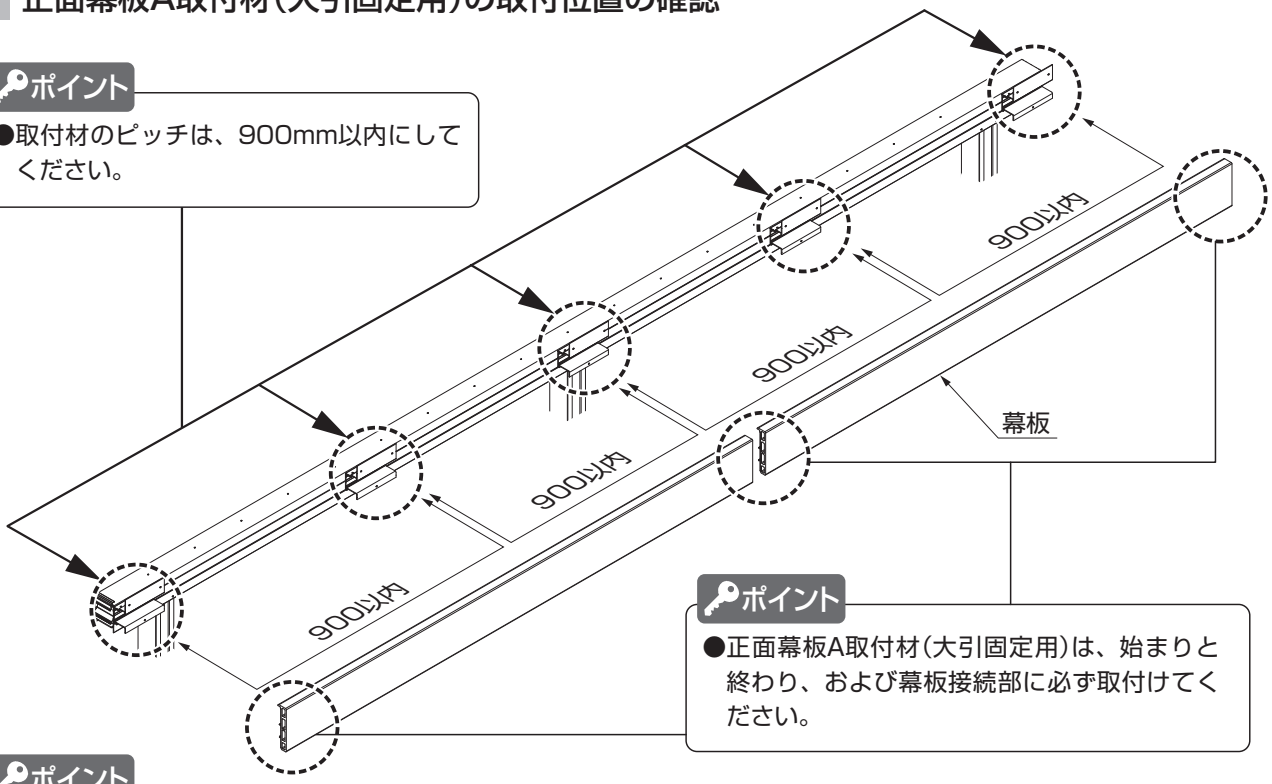
1. 幕板Aの大引固定

※正面幕板を大引固定する場合の作業です。幕板を床板固定する場合はP.40～を参照してください。

1-1　正面幕板A取付材（大引固定用）の取付位置の確認

ポイント

●取付材のピッチは、900mm以内にしてください。



ポイント

●正面幕板A取付材（大引固定用）は、始まりと終わり、および幕板接続部に必ず取付けてください。

ポイント

●フェンスベースプレートの固定に正面幕板A取付材（大引固定用）を使用する場合は、各フェンスの取付説明書を参照して位置を確認してください。

①図を参照して、正面幕板A取付材（大引固定用）を取付ける位置を確認してください。

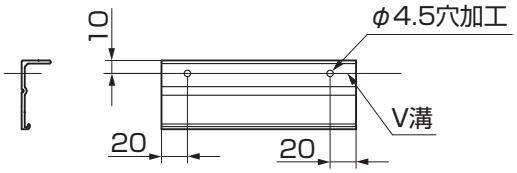
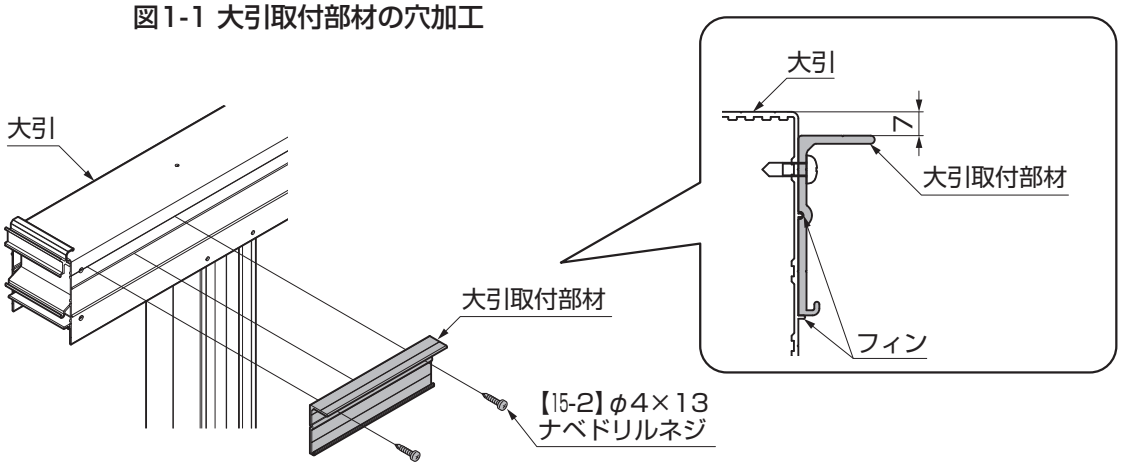


図1-1 大引取付部材の穴加工

②大引取付部材にφ4.5の穴を加工してください。

③大引取付部材を大引に【15-2】で取付けてください。



E343_201305A

1. 幕板Aの大引固定（つづき）

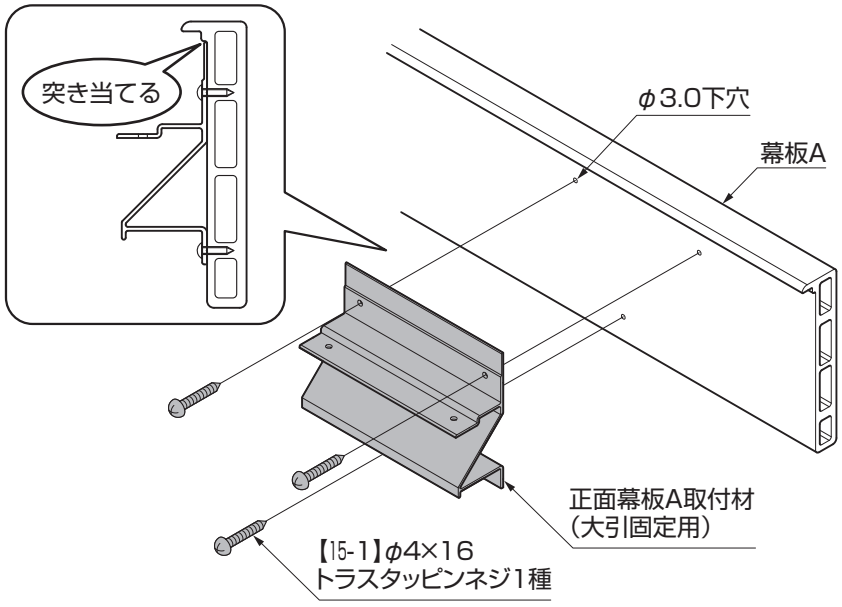


図1-2

④幕板Aに正面幕板A取付材（大引固定用）を当て、φ3.0の下穴を幕板Aにあけてください。（図1-2参照）

⑤正面幕板A取付材（大引固定用）を幕板Aに、【15-1】で取付けてください。

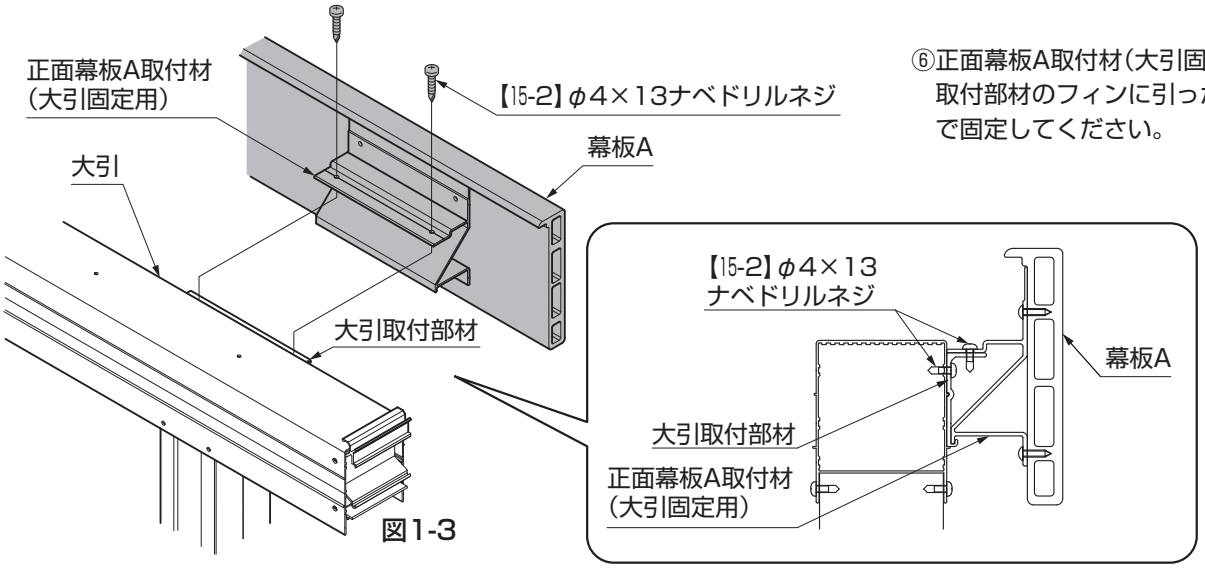


図1-3

⑥正面幕板A取付材（大引固定用）を大引取付部材のフィンに引っかけて【15-2】で固定してください。

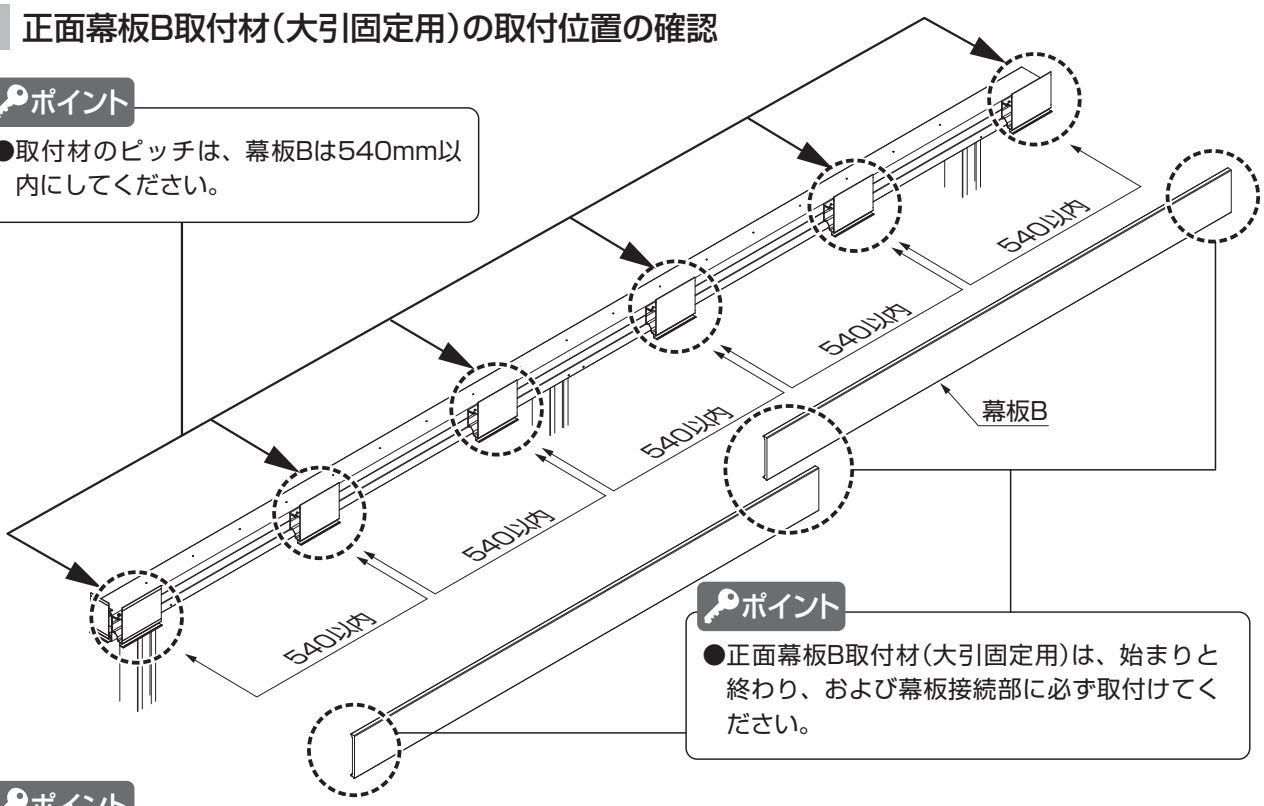
2. 幕板Bの大引固定

※正面幕板を大引固定する場合の作業です。幕板を床板固定する場合はP.45～を参照してください。

2-1 正面幕板B取付材(大引固定用)の取付位置の確認

ポイント

●取付材のピッチは、幕板Bは540mm以内にしてください。



ポイント

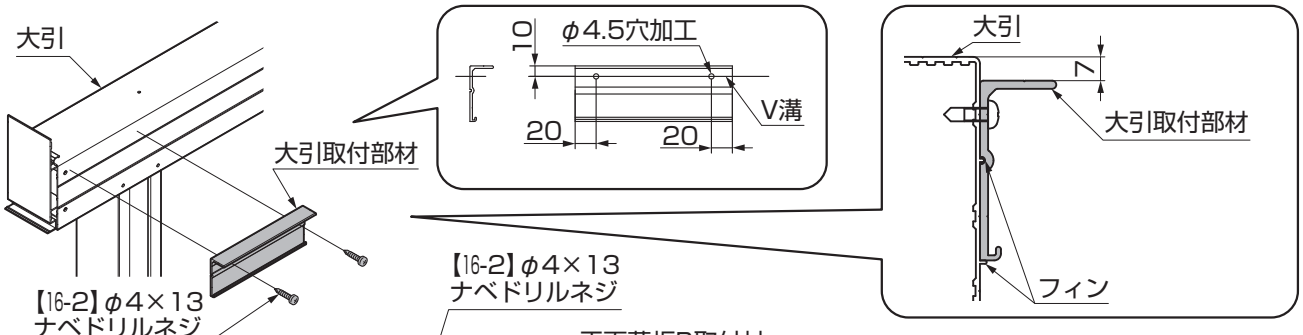
●正面幕板B取付材(大引固定用)は、始まりと終わり、および幕板接続部に必ず取付けてください。

ポイント

●フェンスベースプレートの固定に正面幕板B取付材(大引固定用)を用いる場合は、各フェンスの取付説明書を参考に位置を確認してください。

●多段幕板を施工する場合は、幕板Bを大引固定してください。

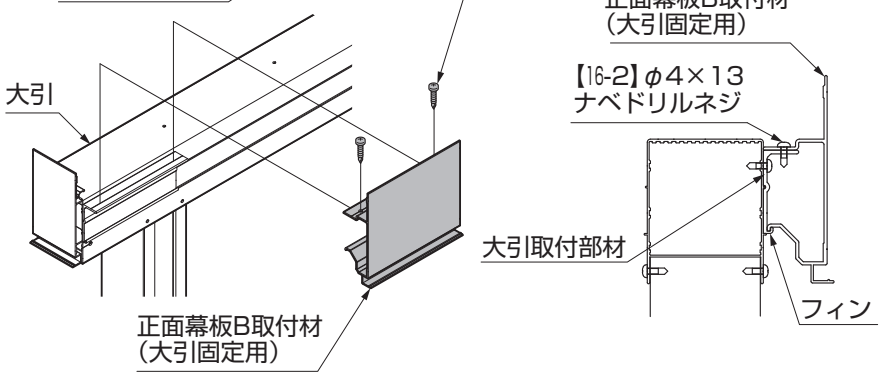
①図を参照して、正面幕板B取付材(大引固定用)を取付ける位置を確認してください。



②大引取付部材にφ4.5の穴を加工してください。

③大引取付部材を大引に【16-2】で取付けてください。

④正面幕板B取付材(大引固定用)を大引取付部材のフィンに引っかけ、【16-2】で固定してください。



補足

●幕板Bは床板施工後に取付けてください。

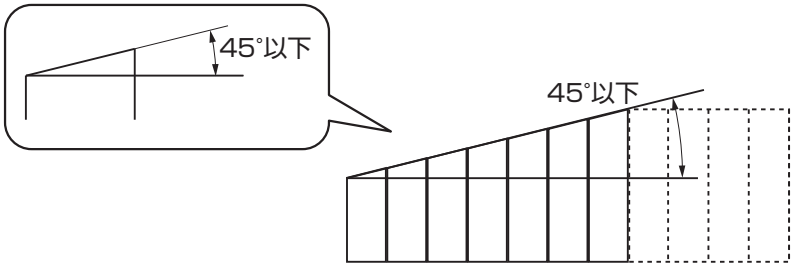
E343_201305A

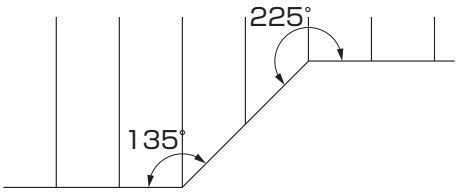
8　隅切り・R施工

1. 床板取付上の注意

1-1　隅切り、R施工上の注意

(1)隅切りの場合





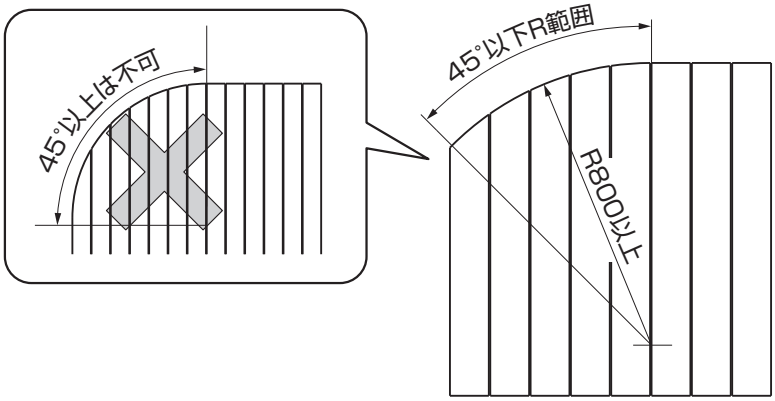
ポイント

●隅切りは45°以下にしてください。

補足

●フリーコーナーキャップの取付可能角度は、135°～225°までです。

(2)R施工の場合

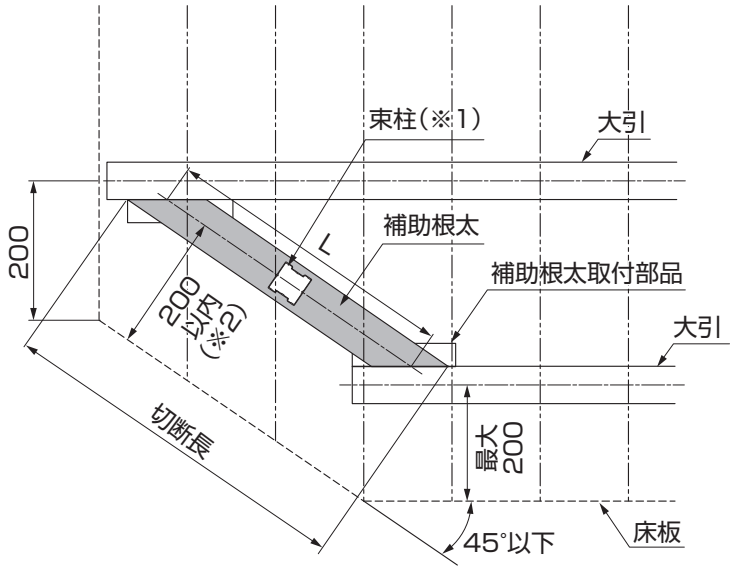


ポイント

●Rコーナーは800R以上にしてください。
●床板のRコーナー納まりは正面側から45°の範囲までです。

2. 補助根太の取付け ※特殊納まりの加工です。

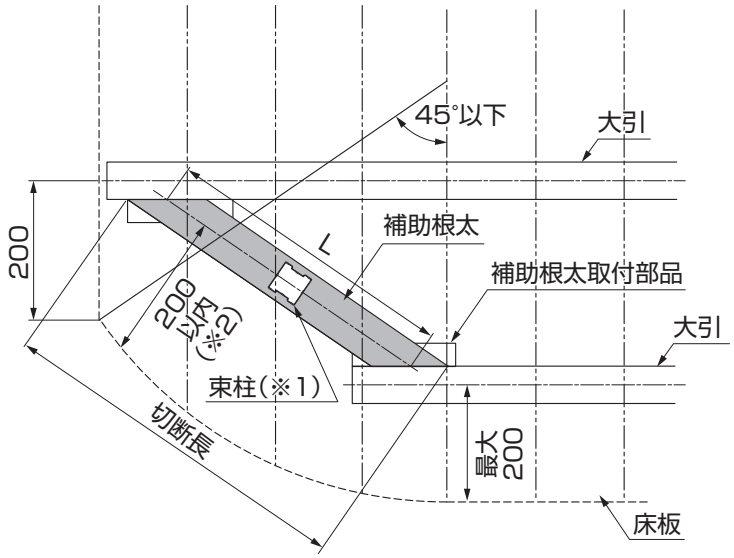
2-1 隅切り納まり



ポイント

- ●角度切りは45°以下にしてください。
- ●L寸法が800mm以上の場合は補助根太の中間部に束柱(※1)を設置してください。
- ●床板の張り出しは、補助根太の芯から200mm以内にしてください。(※2)

2-2 R 納まり

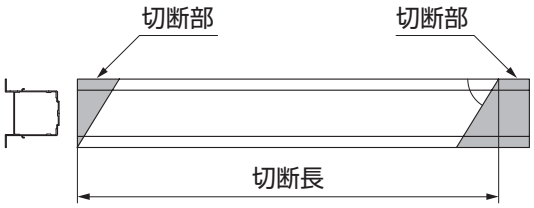


ポイント

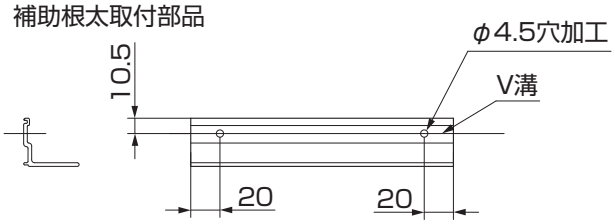
- ●R範囲は45°以下にしてください。
- ●L寸法が800mm以上の場合は補助根太の中間部に束柱(※1)を設置してください。
- ●床板の張り出しは、補助根太の芯から200mm以内にしてください。(※2)

2. 補助根太の取付け（つづき）

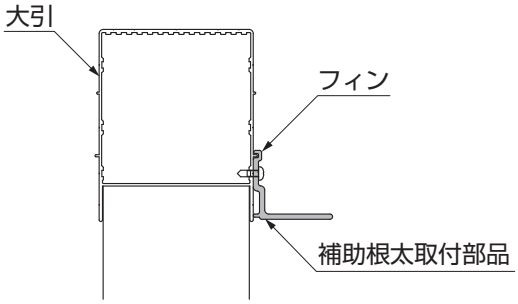
2-3 補助根付の取付け



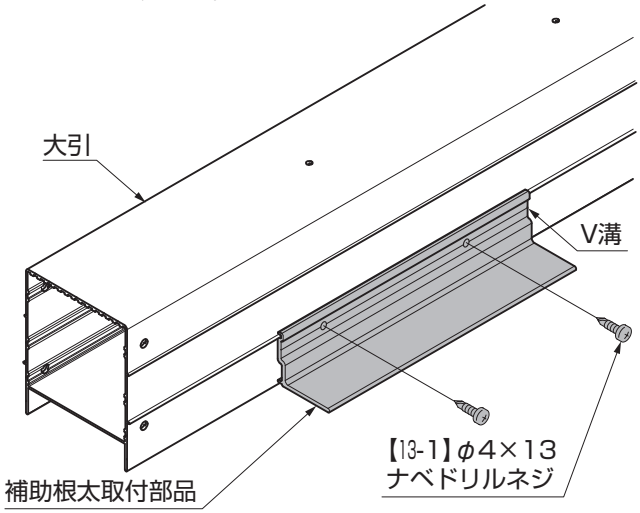
①L寸法を実測して、補助根太を切断してください。



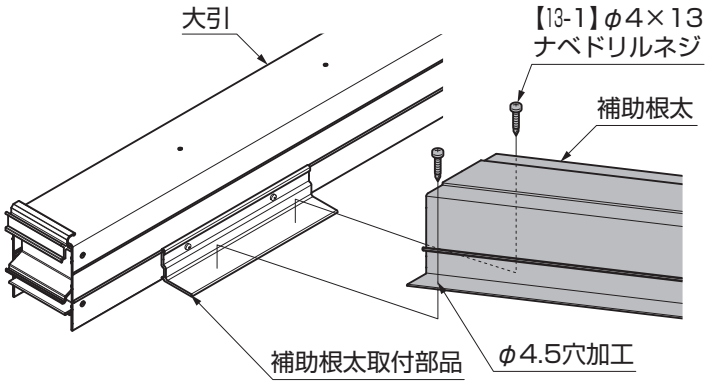
②補助根太取付部品に、φ4.5の穴を2ヶ所あけてください。



③補助根太取付部品の上部を、大引のフィンにひっかけて取付けてください。



④大引に補助根太取付部品を、【13-1】で固定してください。



ポイント

●L寸法が2000mm以上の場合は、補助根太の代わりに大引を使用し、束柱を２本設置してください。

⑤補助根太に4 ヶ所、φ4.5の穴をあけてください。

⑥補助根太を補助根太取付部品に、【13-1】で固定してください。

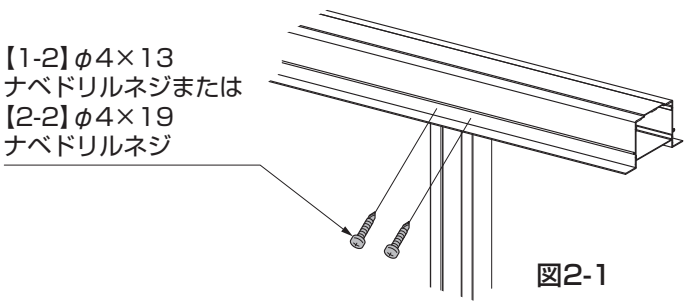


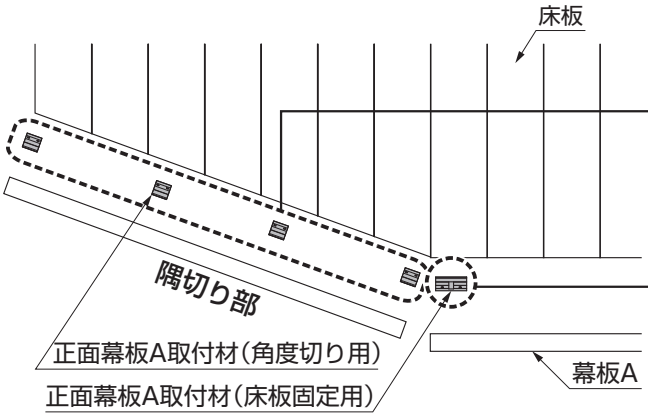
図2-1

補足

●補助根太がL=800mm以上の場合は補助根太に束柱を固定してください。（図2-1参照）

3. フリーコーナーの幕板Aの取付け

3-1 正面幕板A取付材(床板固定用)の取付け



ポイント

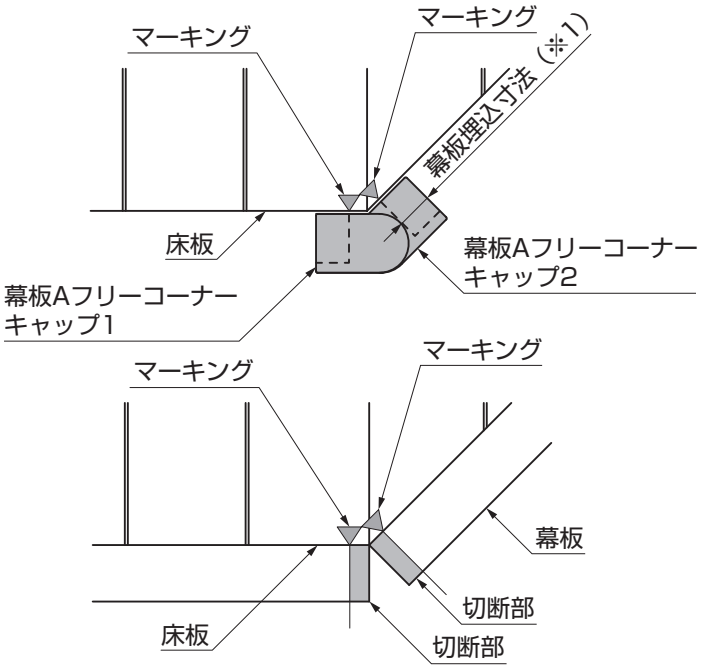
●隅切り部の正面幕板A取付材(角度切り用)は両端部と床板1枚おきに取付けてください。

ポイント

●正面幕板A取付材(床板固定用)は、隅切り部の始まりと終わり、および幕板接続部には必ず取付けてください。

①P.40を参照して正面幕板A取付材(角度切り用)を取付けてください。
②P.42を参照して、幕板金具A2を取付けてください。

3-2 幕板Aの加工



ポイント

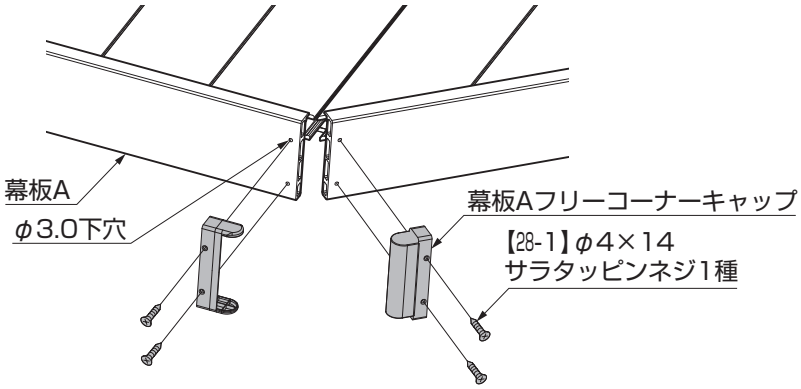
●幕板Aフリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、135°～225°です。その他の角度は、幕板を角度切りして取付けてください。

補足

●幕板Aフリーコーナーキャップは分離していますが、幕板に固定した段階で一体になります。

①幕板Aフリーコーナーキャップ1と、幕板Aフリーコーナーキャップ2を組んで、床板のコーナー部に当ててください。
②幕板埋込寸法(※1)を測って、床板にマーキングしてください。
③幕板をマーキングした部分で切断してください。
④幕板Aを取付けてください。(P.43参照)

3-3 フリーコーナーキャップの取付け



ポイント

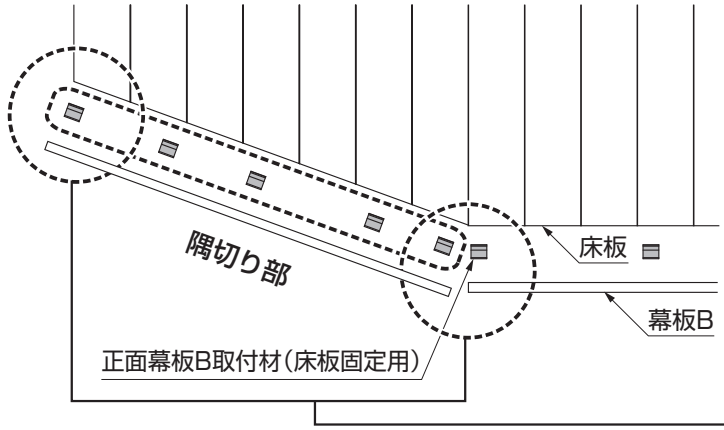
●下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れるおそれがあります。

①幕板Aフリーコーナーキャップを、幕板フリーコーナー部に当てて、幕板Aにφ3.0の下穴をあけてください。
②幕板Aフリーコーナーキャップを幕板Aに、【28-1】で取付けてください。

4. フリーコーナーの幕板Bの取付け

4-1 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け

(1)隅切りの場合



ポイント

- ●隅切り部は正面幕板B取付材(床板固定用)を床板1枚おきに取付けてください。
- ●直線部と隅切りの始まりと終わりに正面幕板B取付材(床板固定用)を取付けてください。

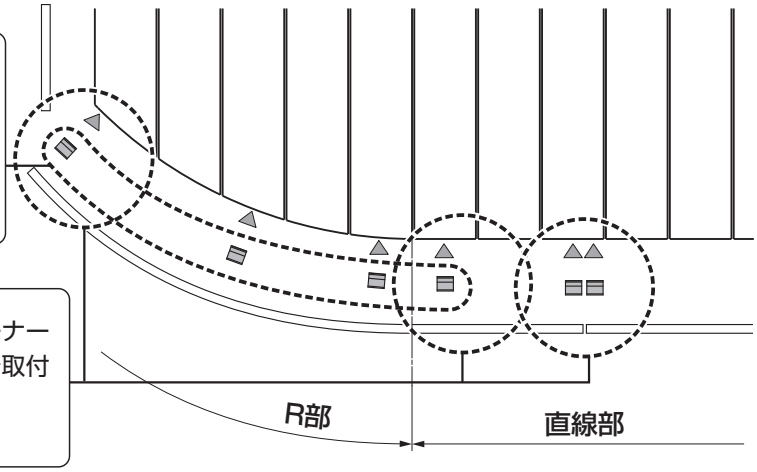
(2)R施工の場合

ポイント

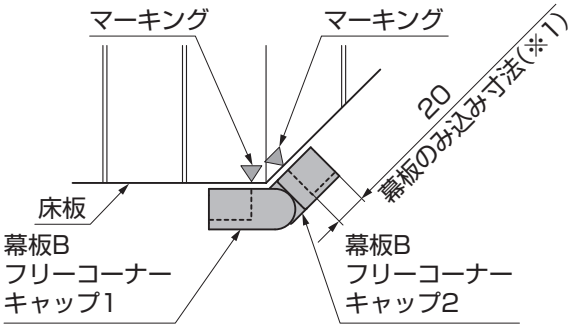
- ●Rコーナー部は正面幕板B取付材(床板固定用)を床板1枚おきに取付けてください。
- ●Rの大きさが途中で変わる場合はそれぞれのRの始まりと終りに正面幕板B取付材(床板固定用)を取付けてください。

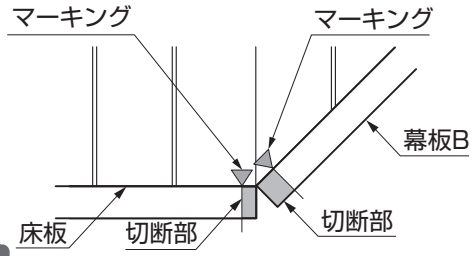
ポイント

- ●正面幕板B取付材(床板固定用)は、直線部・コーナー部の始まりと終り、および幕板接続部には必ず取付けてください。
- ●直線部分は床板3枚分以上確保してください。



4-2 幕板Bの加工





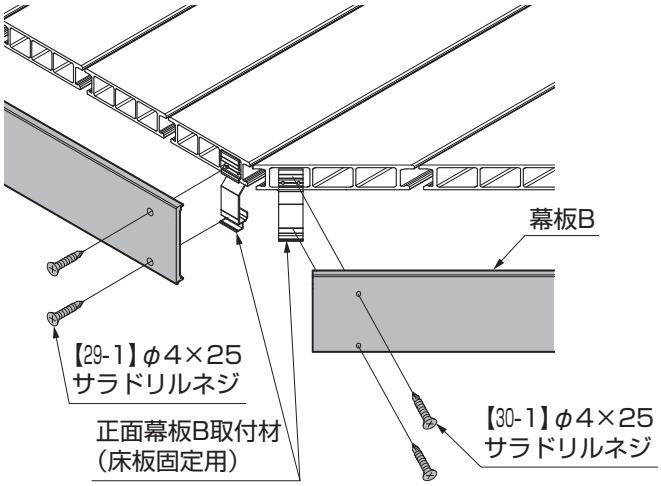
ポイント

- ●幕板Bフリーコーナーキャップの取付可能角度範囲は、135°～225°です。

①幕板Bフリーコーナーキャップ1と幕板Bフリーコーナーキャップ2を組んで、床板のコーナー部に当ててください。
②コーナーキャップ端部から20mmのみ込んだ位置(※1)の床板にマーキングしてください。
③幕板Bをマーキングした部分で切断してください。

4-3 幕板Bの取付け

(1)隅切り納まりの場合



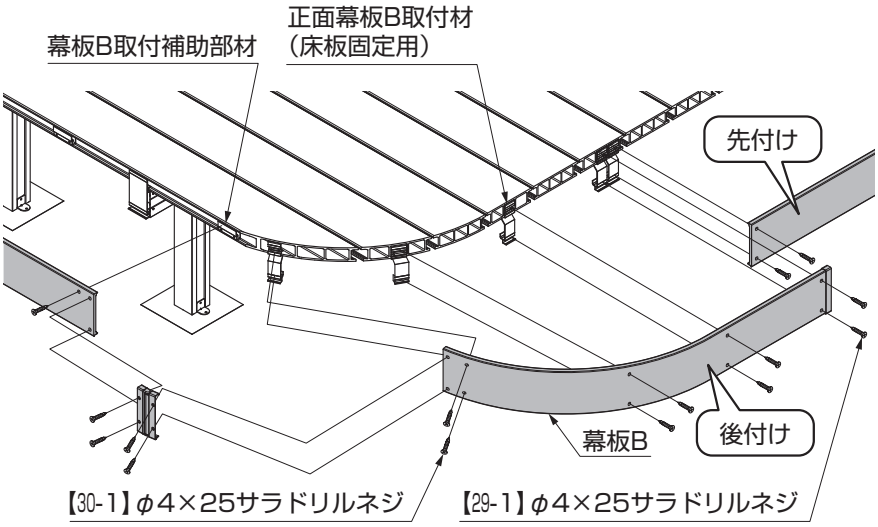
ポイント

●下穴を必ずあけてください。あけないと幕板が割れるおそれがあります。

①幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【29-1】で固定してください。

②幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【30-1】で固定してください。

(2)R納まりの場合



①幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【29-1】で固定してください。
②幕板Bを正面幕板B取付材(床板固定用)に、【30-1】で固定してください。

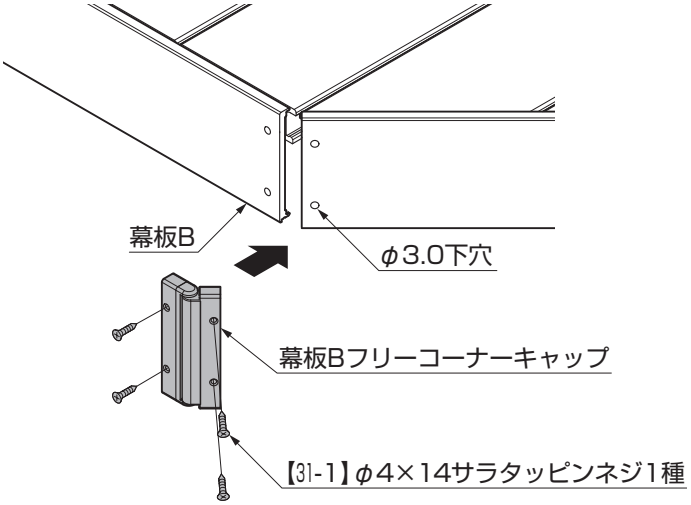
ポイント

●正面側の幕板Bは必ず直線部で連結してください。
●R部分の半径は、800mm以上にしてください。

補足

●連結部の取付けはP.51を参照してください。

4-4 フリーコーナーキャップの取付け



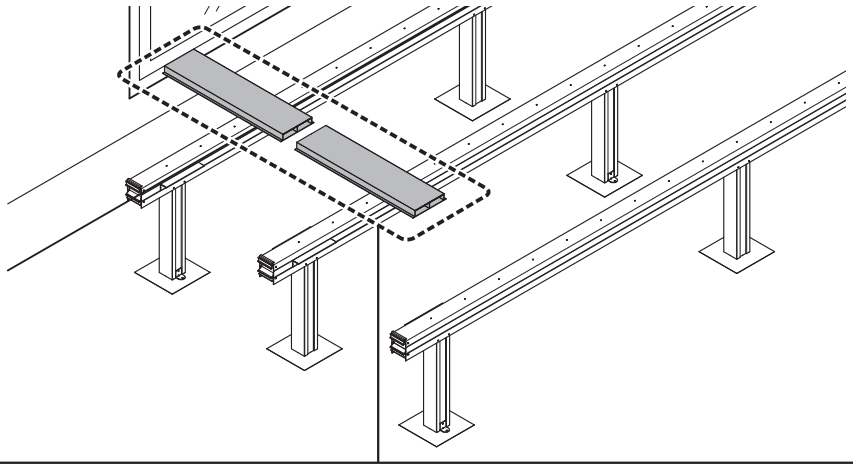
①幕板Bフリーコーナーキャップを幕板コーナー部に当てて、幕板Bにφ3.0の下穴をあけてください。

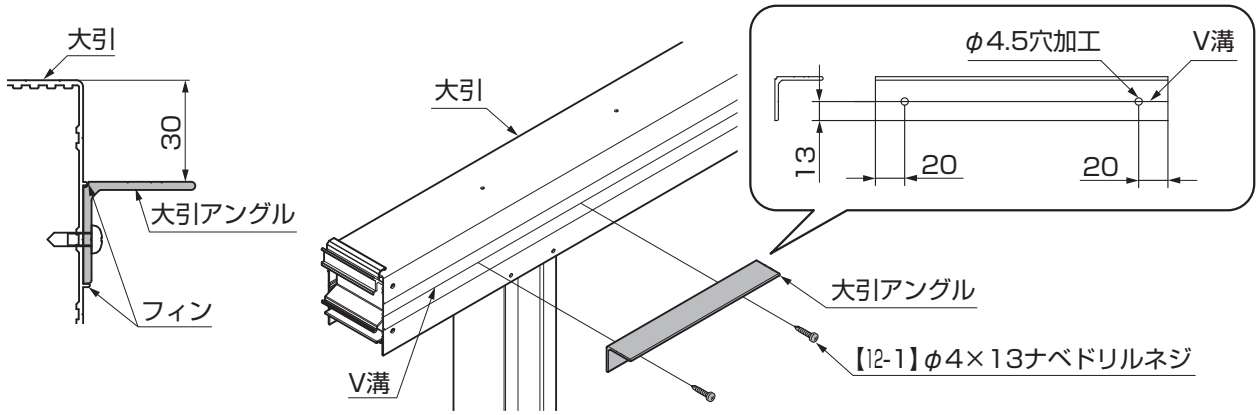
②幕板Bフリーコーナーキャップを幕板Bに、【31-1】で取付けてください。

9　床板補強材の取付け

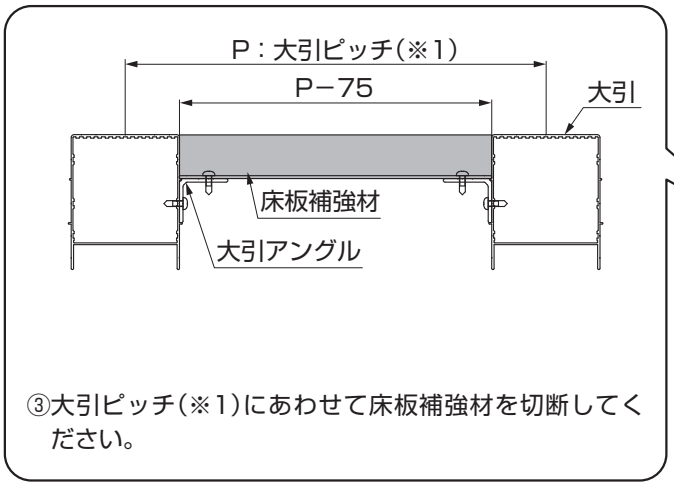
1. 床板補強材の取付け　※床板補強材を取付ける場合の作業です。

※T-14以上のフェンス柱やガーデンルームの柱を取付ける場合は、床板補強材の取付けが必要となります。
床板等を固定した後での施工は非常に困難なため、各取説を参照して、確実に施工してください。

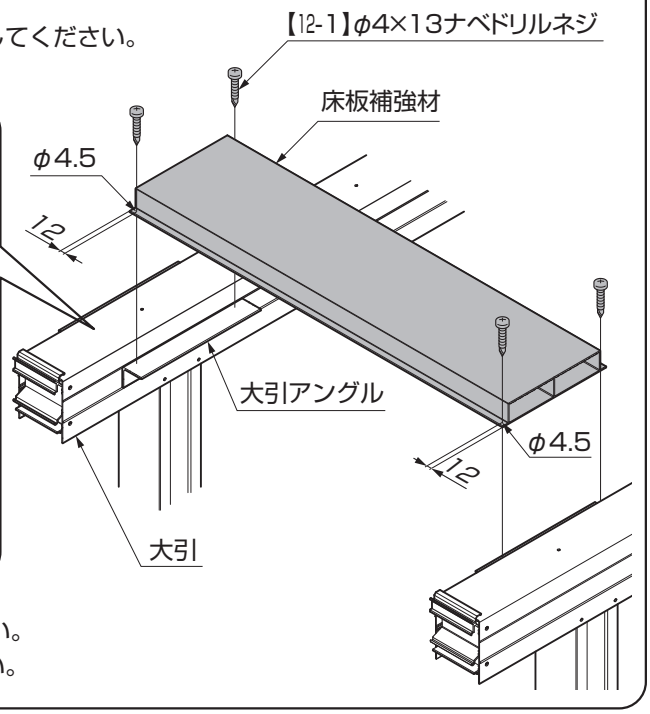




①大引アングルにφ4.5の穴を加工してください。
②大引アングルを大引のフィンに引っかけて【12-1】で固定してください。



③大引ピッチ（※1）にあわせて床板補強材を切断してください。



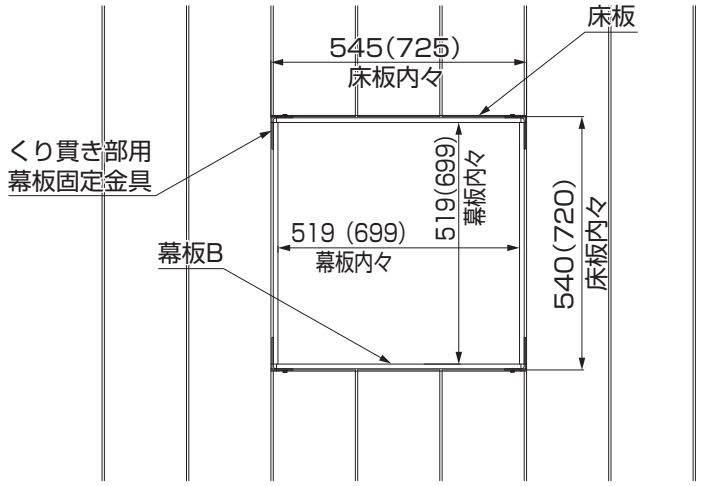
④床板補強材1本当りに4 ヶ所、φ4.5の穴をあけてください。
⑤大引アングルに床板補強材を、【12-1】で固定してください。

E343_201305A

10　オプション

1. くり貫き部幕板の取付け オプション

1-1 くり貫き納まり図 ※(　)は床板4枚分の場合の寸法です。



ポイント

- デッキくり貫きが可能な寸法は、床板3枚分、もしくは4枚分です。
- くり貫き部の床板張出し寸法は、大引の芯から200mm以内としてください。

1-2 正面幕板B取付材(床板固定用)の取付け

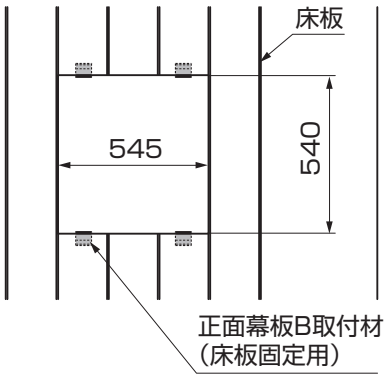


図1-1

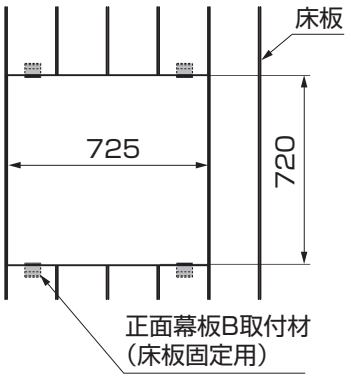
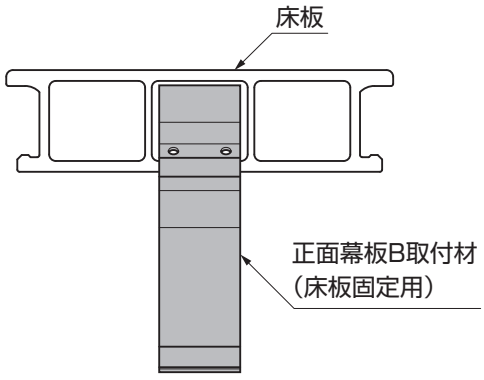


図1-2

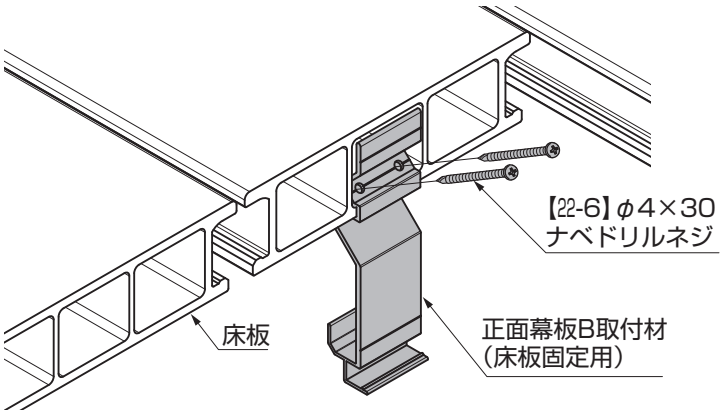
補足

- 床板に内々寸法545mm×540mm、または725mm×720mmあいているか確認してください。(図1-1、図1-2参照)

ポイント



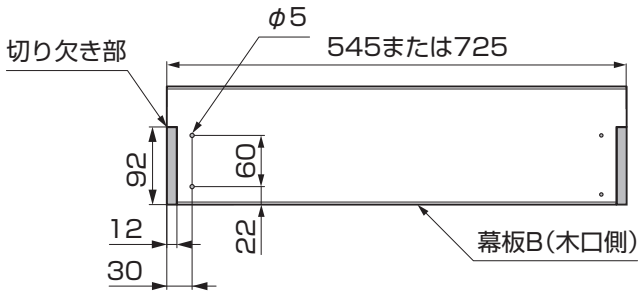
- 床板中央の中空部に取付けてください。



①正面幕板B取付材(床板固定用)を床板の4 ヶ所の中央中空部にはめこんでください。(図1-1、図1-2参照)
②床板に【22-6】で固定してください。

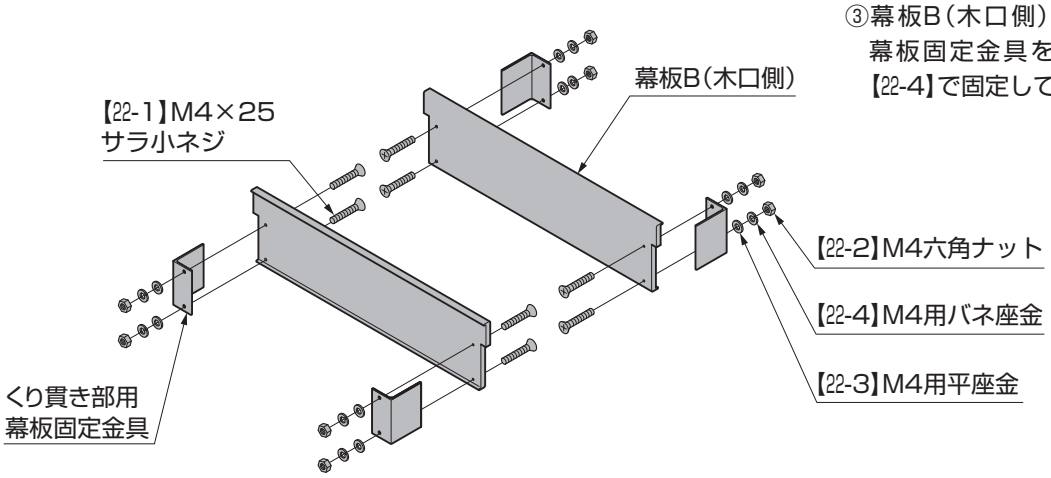
1. くり貫き部幕板の取付け（つづき） オプション ※図は3枚抜きの場合です。

1-3 幕板の取付け

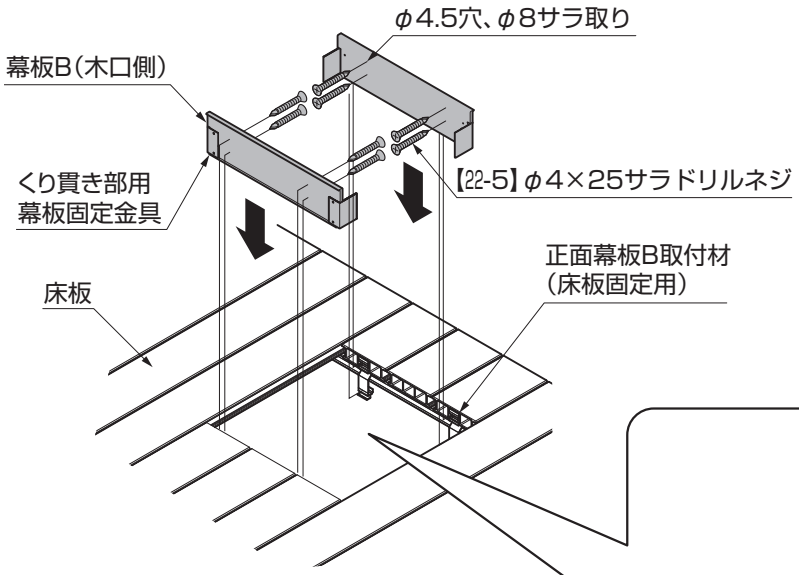


①幕板Bを545mm、または725mm幅で切断してください。

②幕板B（木口側）の両端に切り欠き加工をして、4ヶ所、φ5の下穴をあけてください。

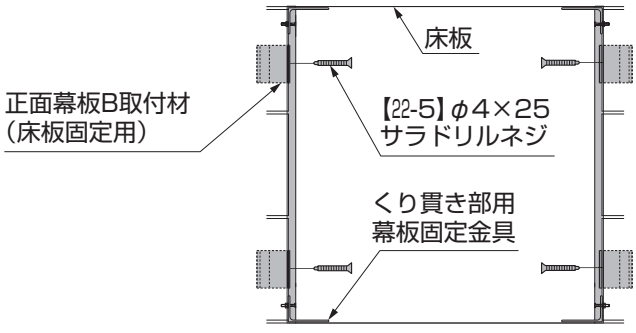


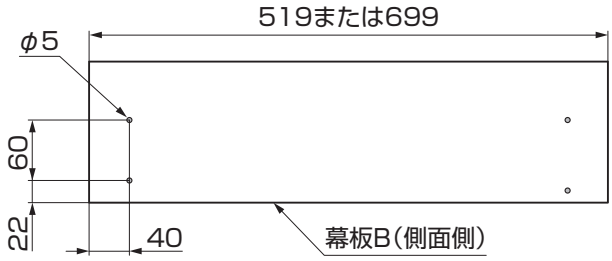
③幕板B（木口側）の両端にくり貫き部用幕板固定金具を【22-1】、【22-2】、【22-3】、【22-4】で固定してください。



④穴開け治具を使用して、幕板B（木口側）にφ4.5の穴とφ8のサラ取り加工をしてください。

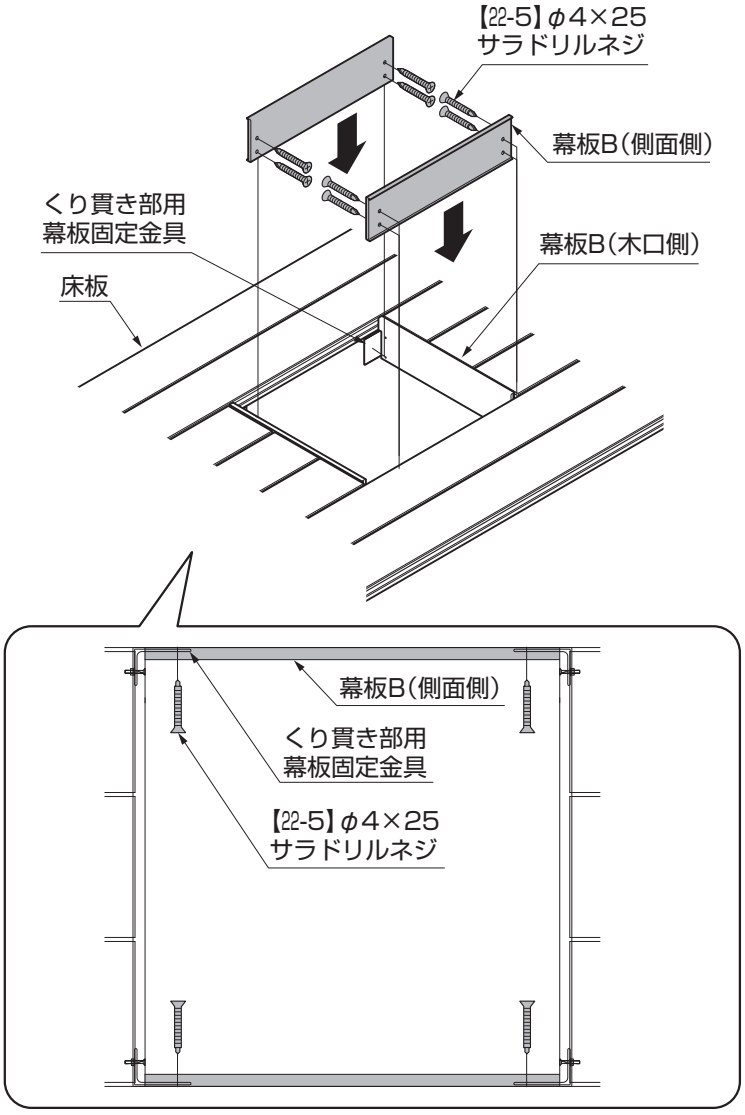
⑤幕板B（木口側）を正面幕板B取付材（床板固定用）に、【22-5】で取付けてください。





⑥幕板Bを519mm、または699mm幅に切断してください。

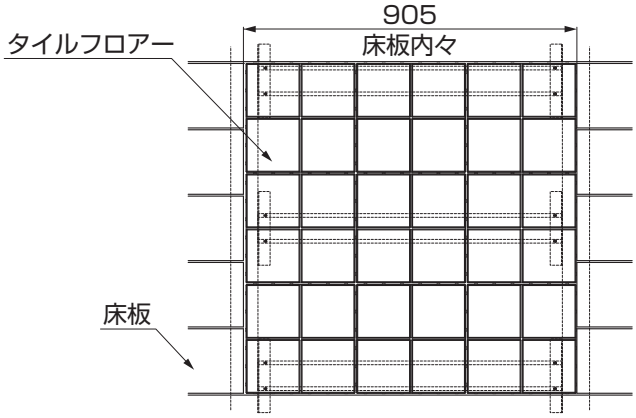
⑦幕板B(側面側)の両端に4ヶ所、φ5の下穴をあけてください。

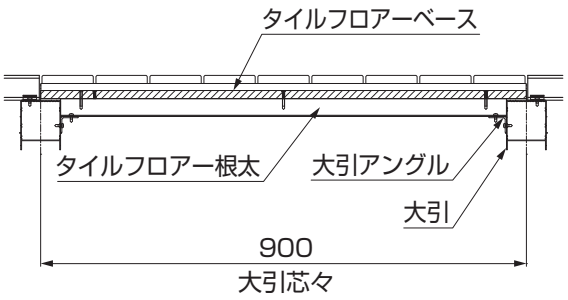


⑧幕板B(側面側)を、くり貫き部用幕板固定金具に【22-5】で取付けてください。

2. タイルフロアーの取付け オプション

2-1 タイルフロアー納まり図

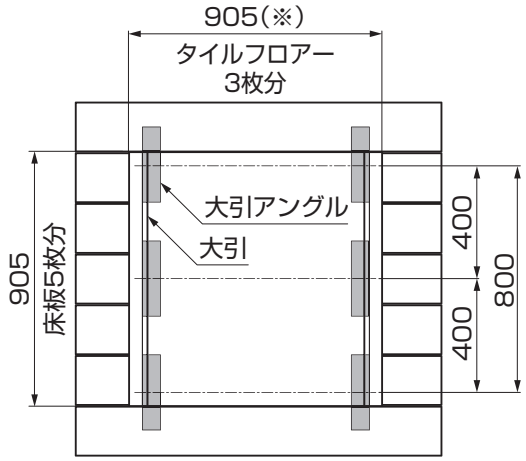




ポイント

- ●タイルフロアーを取付ける場合は、大引ピッチは900mmにしてください。
- ●タイルフロアーを切り詰めて取付ける場合は、大引ピッチを600mmまたは300mmにしてください。

2-2 大引アングルの取付け



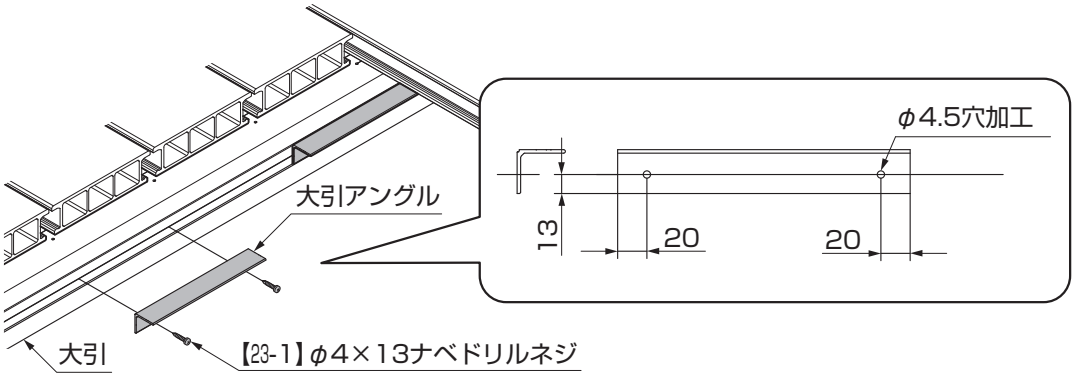
①床板5枚分をあけてください。

ポイント

- ●床板に内々寸法905×905mmあいているか確認してください。
- ●切り詰めて施工する場合は、300mmずつ切り詰めてください。(※)

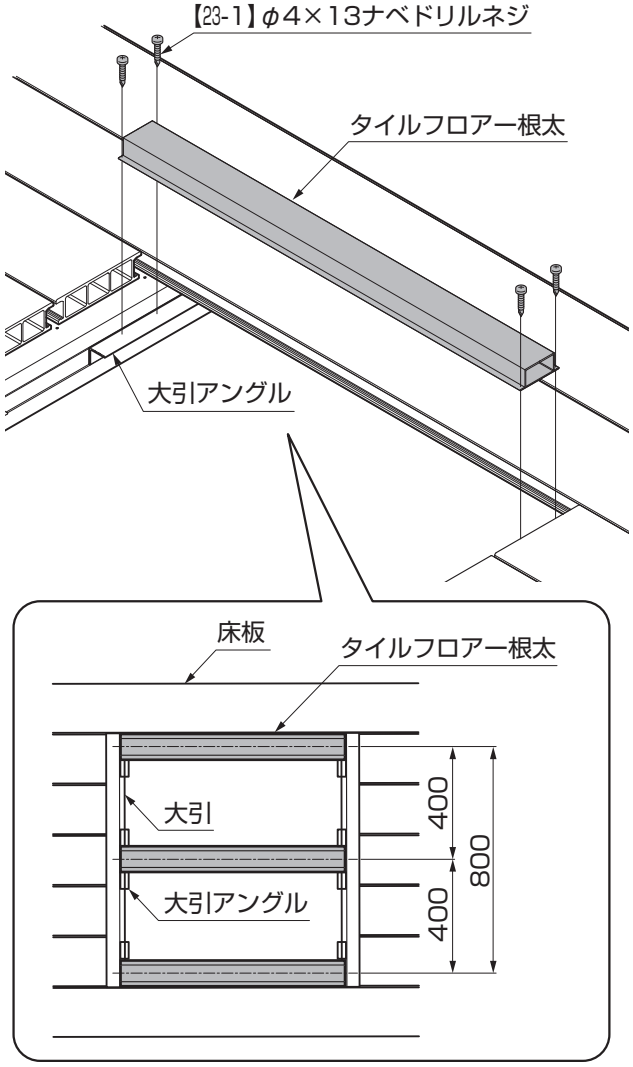
②大引アングルにφ4.5の穴を加工してください。

③大引アングルを大引に、400mmピッチで【23-1】で取付けてください。



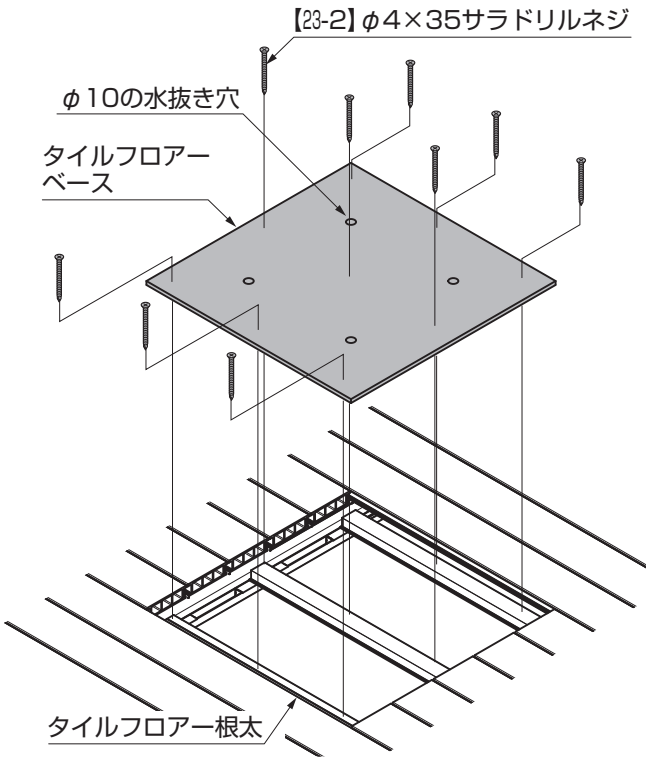
E343_201305A

2-3 タイルフロアー根太の取付け



①タイルフロアー根太を大引アングルに、400mmピッチで【23-1】で取付けてください。

2-4 タイルフロアーベースの取付け



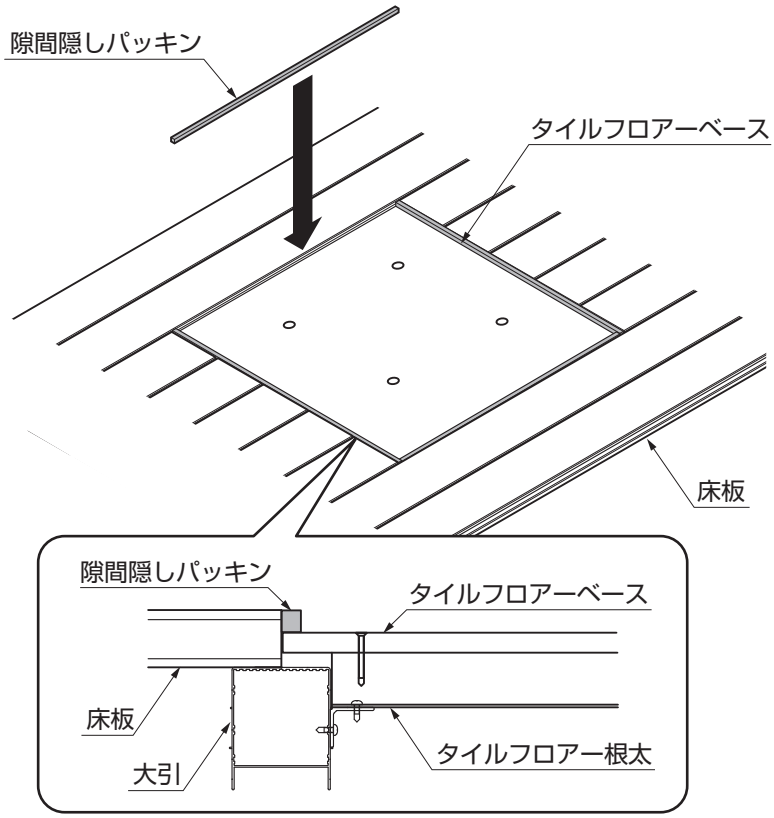
①タイルフロアーベースを、タイルフロアー根太に【23-2】で固定してください。
②タイルフロアーベースに4 ヶ所、φ10の水抜き穴をあけてください。

ポイント

●水抜き穴はタイルフロアー根太をさけてあけてください。

2. タイルフロアーの取付け（つづき） オプション

2-5 隙間隠しパッキンの取付け

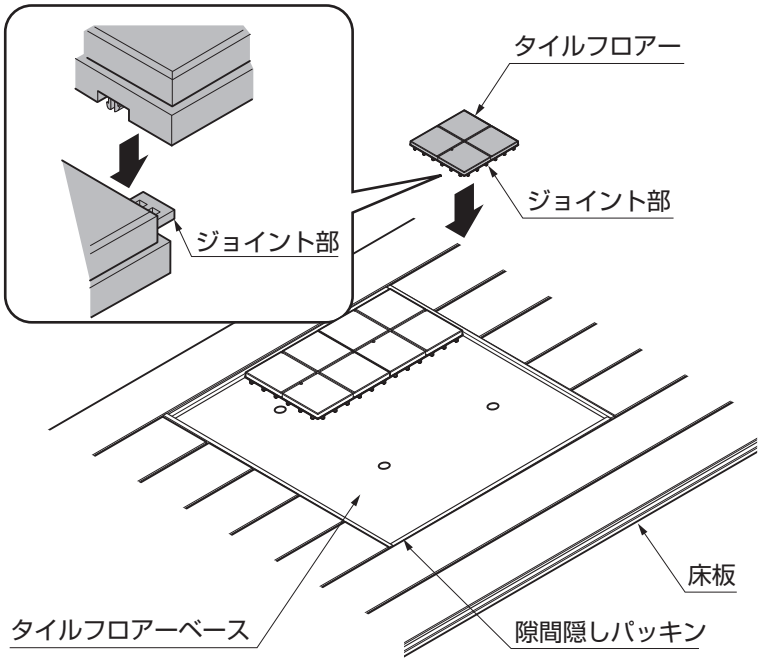


①隙間隠しパッキンの「りけい紙」をはがして床板の側面に、4ヶ所貼り付けてください。

ポイント

●タイルフロアーベースのサイズにあわせて、隙間隠しパッキンは切断してください。

2-6 タイルフロアーの取付け



①タイルフロアーを連結して敷き詰めてください。

ポイント

●必要のないジョイント部はカッターで切り落としてください。

2-7 タイルフロアーを連続して取付ける場合

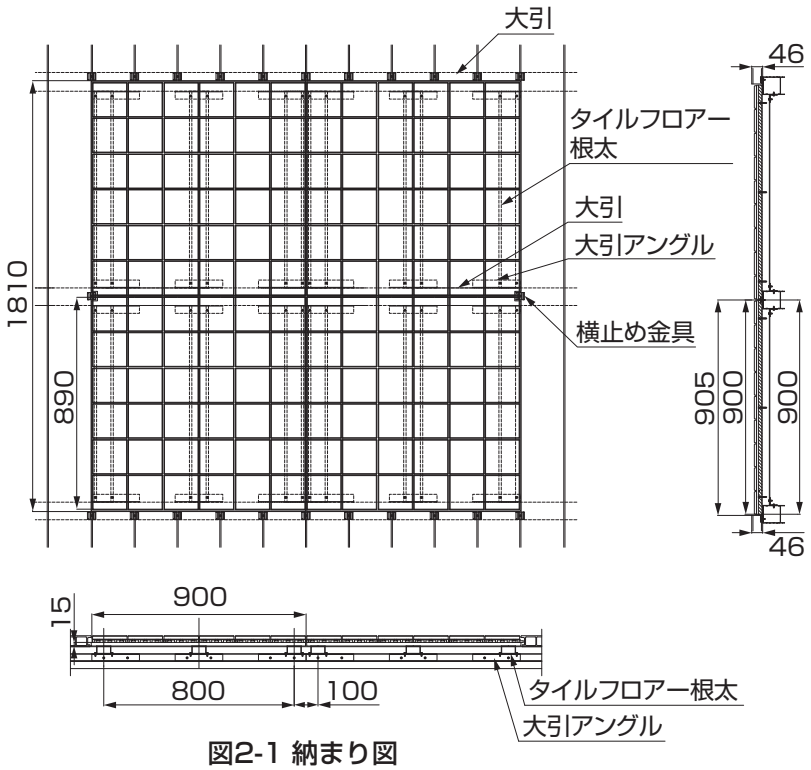


図2-1 納まり図

①大引アングルを取付けてください。（図2-1参照）

②タイルフロアー根太を400mmピッチで取付けてください。（図2-1参照）

③タイルフロアーベースと横止め金具が干渉する部分をすき間が5mmあくようにして、タイルフロアーベースを切り欠いてください。（図2-2参照）

④タイルフロアーベースにφ10の水抜き穴をあけてください。

⑤タイルフロアーベースにφ4の下穴をあけ、【23-2】でタイルフロアー根太に取付けてください。

ポイント

●タイルフロアーベースは5mmすき間をあけてください。（図2-3、図2-4参照）

⑥タイルフロアーを敷き詰めてください。

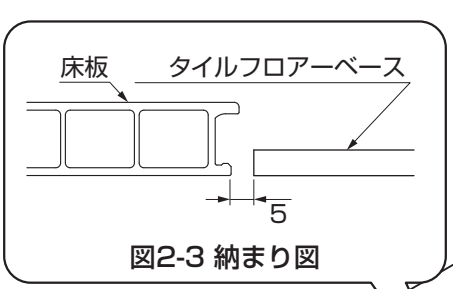


図2-3 納まり図

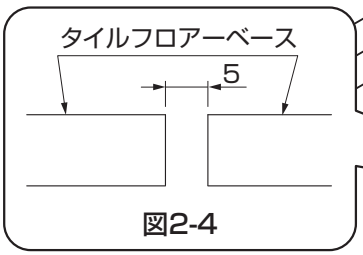


図2-4

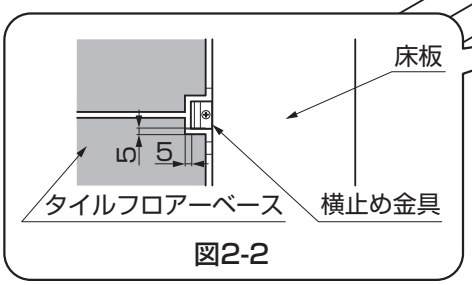
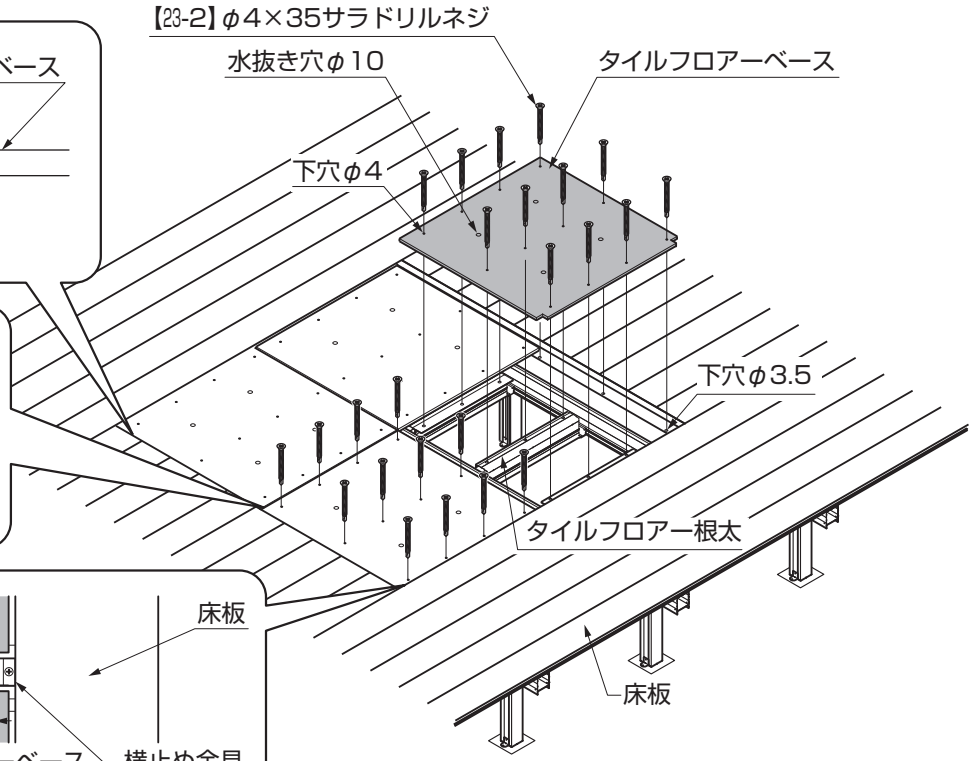
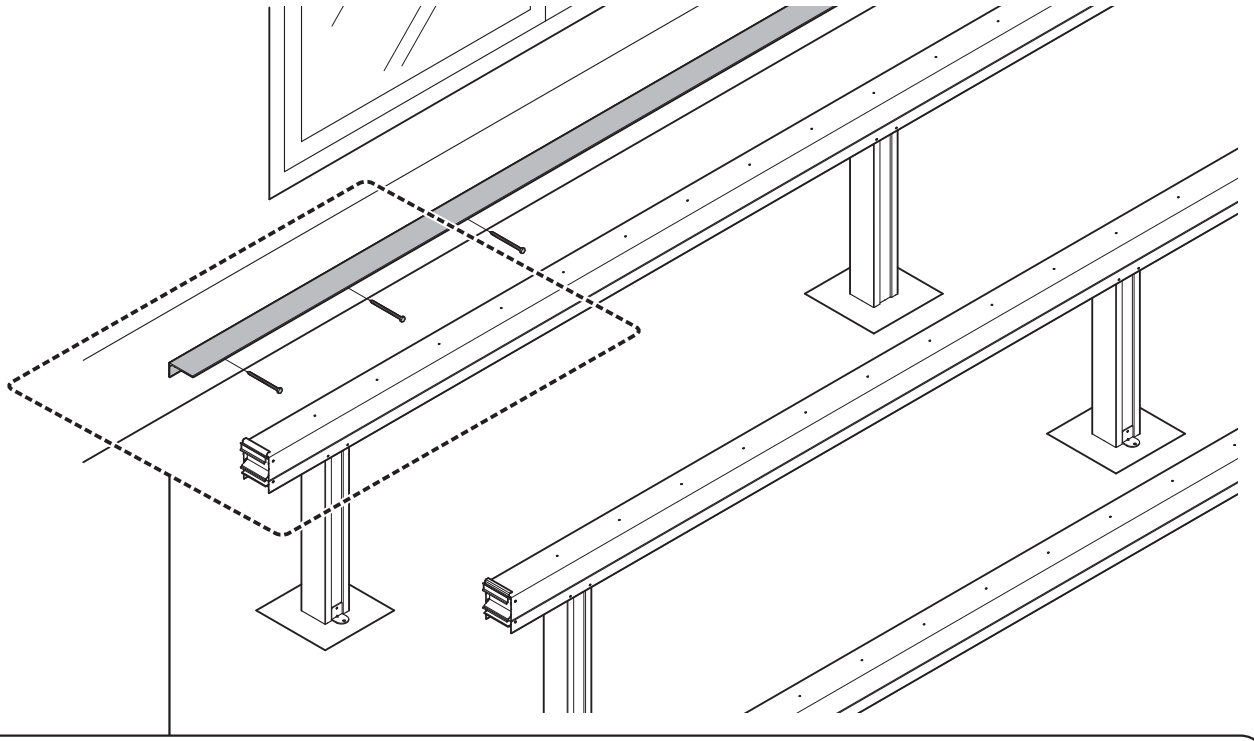


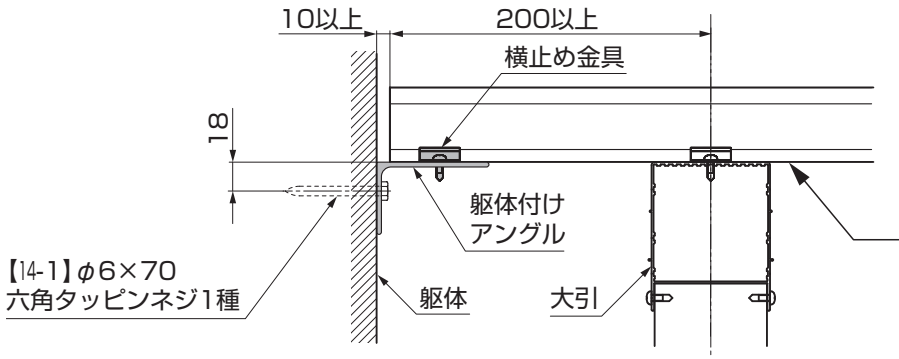
図2-2



3. 躯体付けアングルの取付け オプション

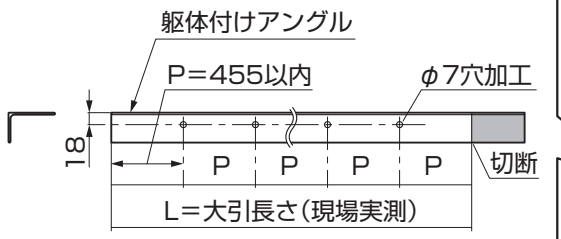
※躯体面と大引との距離が200mmを超える場合の作業です。



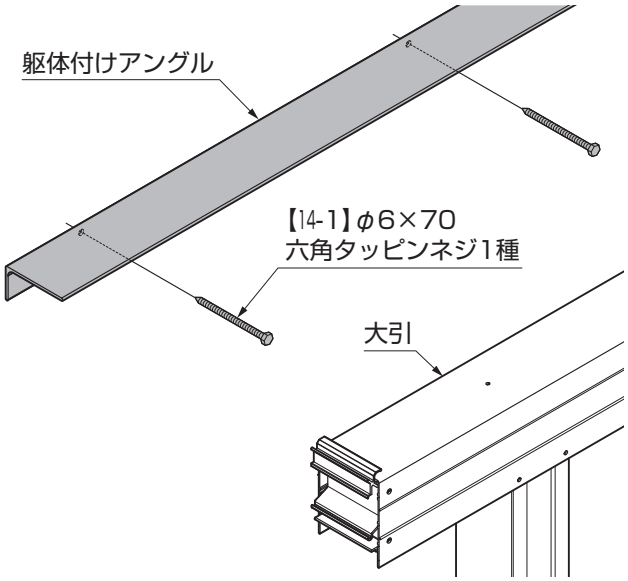


ポイント

●躯体付けアングル上面と、大引上面の高さを同じにしてください。



①躯体付けアングルにφ7の穴を、455mmピッチ以内であけてください。



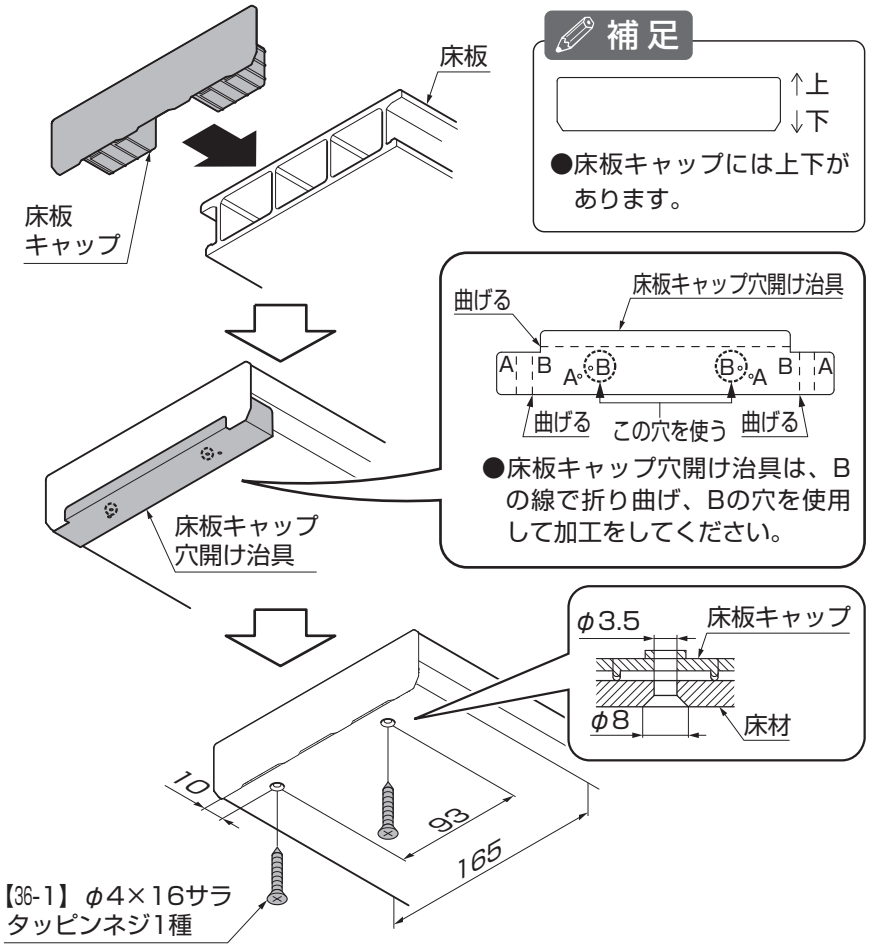
ポイント

●【14-1】は、躯体の構造部材に取付けてください。

②躯体付けアングルを躯体に【14-1】で固定してください。
③横止め金具で床板を固定してください。

E343_201305A

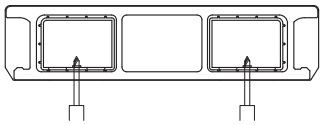
4. 床板キャップの取付け オプション ※床板キャップを取付ける場合の作業です。



①床板キャップを床板にはめてください。
②床板キャップ穴開け治具をBの線で折り曲げてください。
③床板裏面に穴開け治具をあて、Bの穴でφ3.5の穴加工とφ8のサラ取り加工をしてください。

ポイント

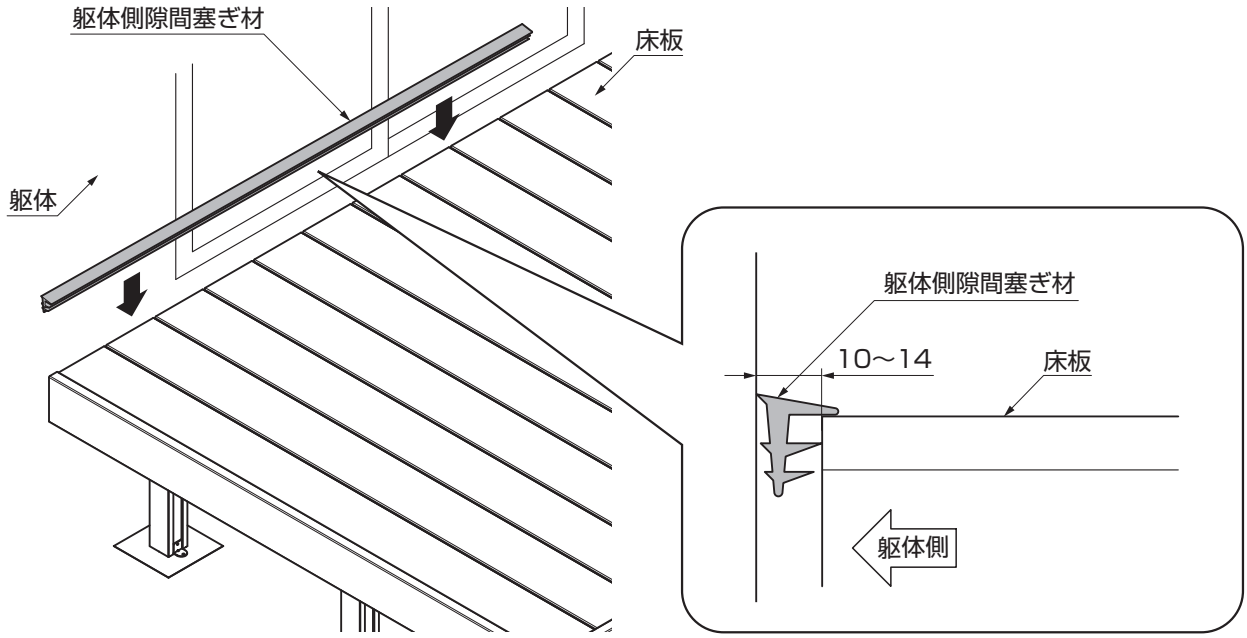
●床板キャップ内側まで、貫通でφ3.5の下穴をあけてください。



●加工の際は、床板キャップが動かないよう、手で押さえながら加工してください。

④床板キャップを床板に【36-1】で固定してください。

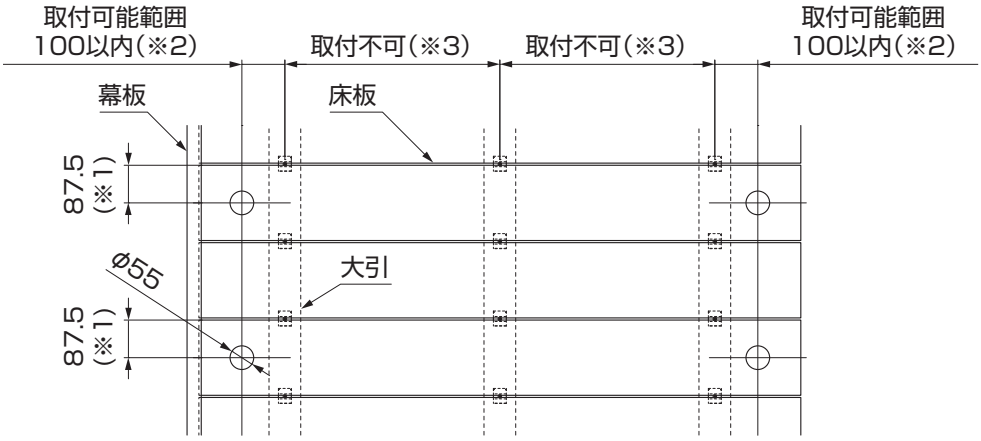
5. 躯体側隙間塞ぎ材の取付け オプション



①床板と躯体の間に躯体側隙間塞ぎ材を押し込んで取付けてください。

6. ポイントライトの取付け オプション

6-1 ポイントライトの穴開け位置



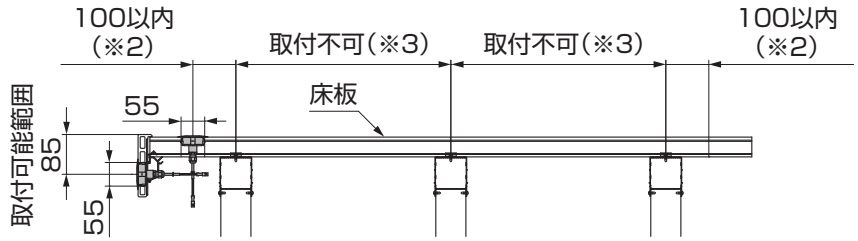


図6-1　幕板A

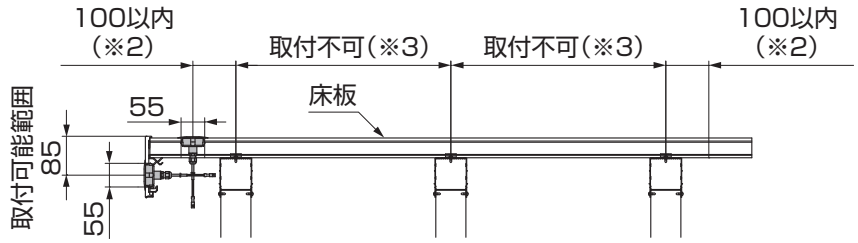


図6-2　幕板B

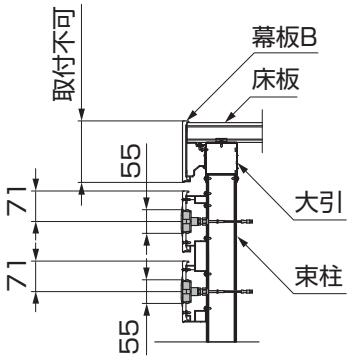


図6-3　多段幕板

①ポイントライトを取付けるところにφ55の穴加工をしてください。

ポイント

●床板に取付ける場合の取付可能範囲は、床板幅の中央(※1)で、大引芯から100mm以内(※2)です。
●幕板を大引固定する場合は、取付けできません。

注 意

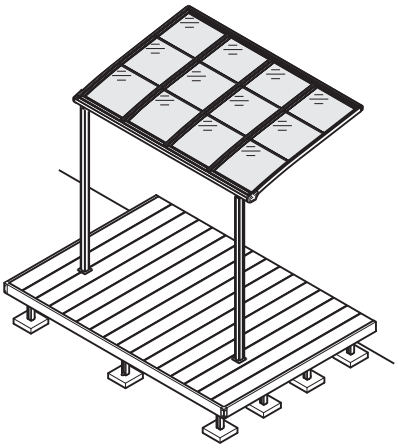
●大引間(※3)には取付けないでください。床板が破損し、ケガをするおそれがあります。

②ポイントライトに付属の取付説明書を参照して、ポイントライトを取付けてください。

11　関連商品への取付け

1. テラスとの接続

●製品の取付けは各製品の取付説明書を参照してください。



※デッキが既に設置されている場合は、デッキの床板を取外してテラス本体を組立ててください。
※テラス柱の設置場所に大引がある場合は別紙のテラス取付け説明書にしたがってテラス柱を移動してください。
（テラス柱と大引の間を30mm以上あけて取付けてください。）

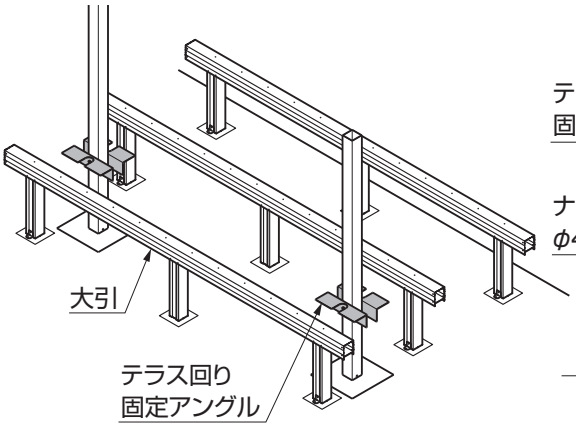
※柱との接続は別売りの**「テラス回り固定アングルセット」・「テラス柱化粧カバーセット」**をご使用してください。

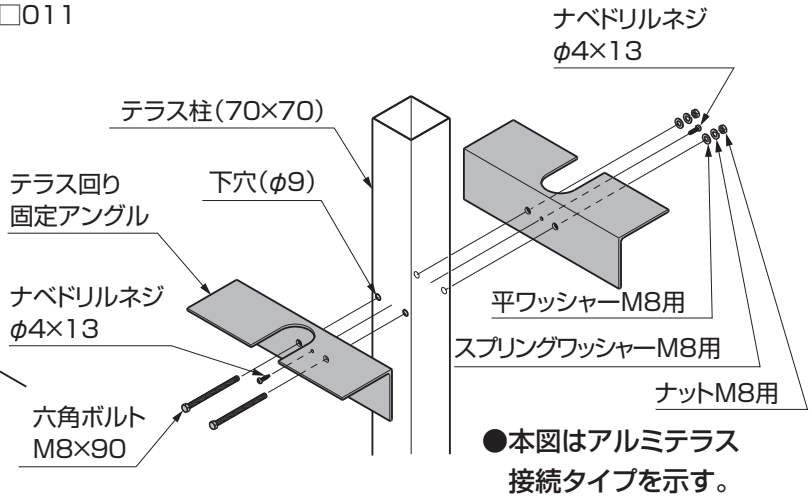
【アルミテラス柱（70角）との接続】
・テラス回り固定アングルセット：WVCB009
・テラス用化粧カバーセット：WVC□010
・テラス用化粧カバーセット（雨どい付き）：WVC□011

【ラッピングテラス柱（70角）との接続】
・テラス回り固定アングルセット：PRAZX110
・テラス用化粧カバーセット：WVC□010
・テラス用化粧カバーセット（雨どい付き）：WVC□011

【機能柱との接続】
・テラス回り固定アングルセット：PRAZX120
・テラス用化粧カバーセット：PRA□X410

（1）テラス回り固定アングルの取付け



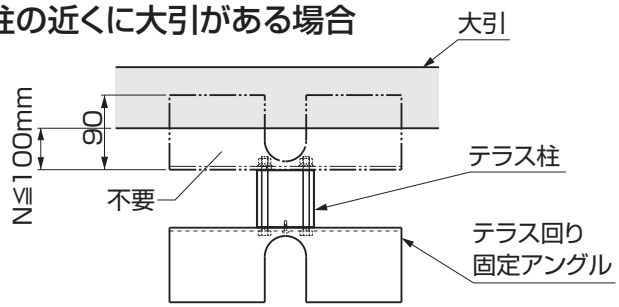


●本図はアルミテラス接続タイプを示す。

※大引と平行になるように取付けてください。
※雨どい付きの場合は、いったん雨どいを外してください。
①ナベドリルネジでテラス回り固定アングルを取付けます。
②柱に下穴（φ9）の現場加工をしてください。
③テラス回り固定アングルをボルトで固定してください。
④ラッピング柱は、ネジ・ボルトの取付ける位置が違います。
⑤機能柱はネジ止めのみです。

※テラス回り固定アングルと大引の上面を合わせて取付けてください。
※ラッピング柱、機能柱についても同様に取付けてください。

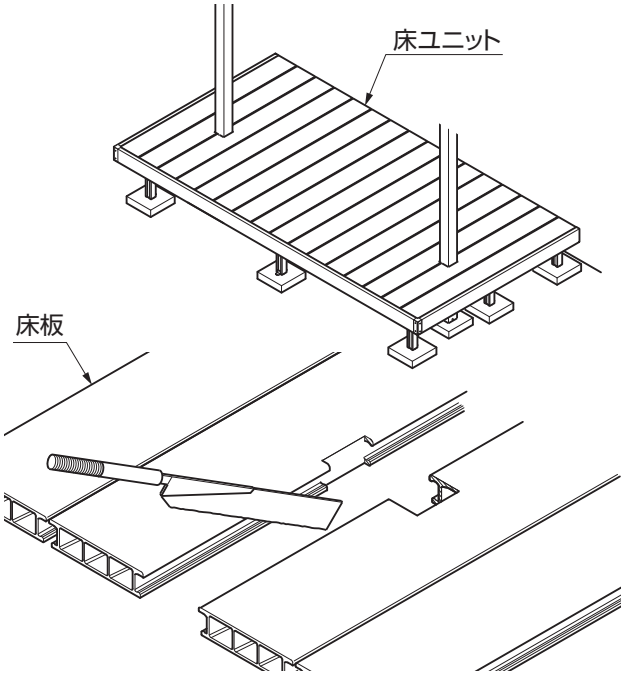
■柱の近くに大引がある場合



※テラス柱と大引の間（N寸法）が100mm以下の場合は、片側のテラス回り固定アングルは不要です。

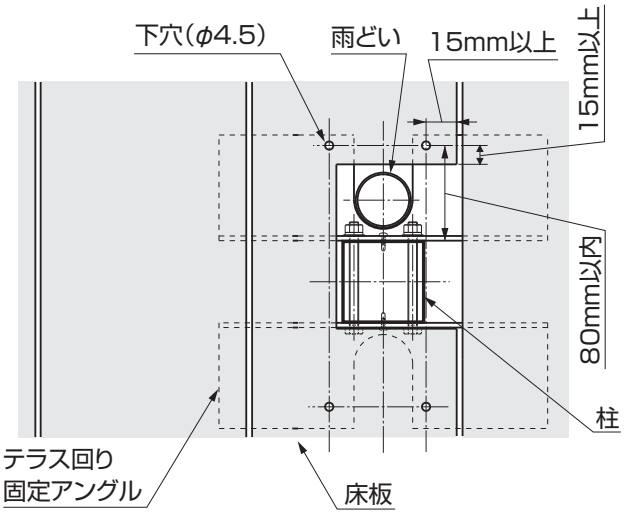
1. テラスとの接続(つづき)

(2) 床材の取付け

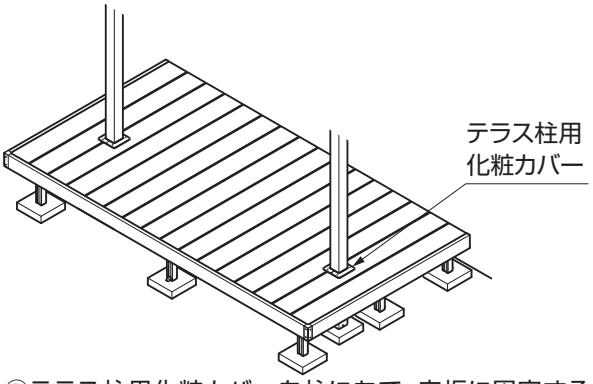


①柱にあたる床板を切欠いてください。

②テラス回り固定アングル位置に下穴(φ4.5)をあけて、床板取付けネジで取付けてください。
※機能柱の場合は、タップ穴M5をあけて取付けてください。
※固定位置は柱面から80mm以内かつ床板端部から15mm以上離して固定してください。

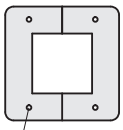


(3) テラス柱用化粧カバーの取付け



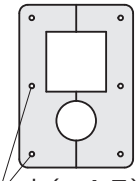
①テラス柱用化粧カバーを柱にあて、床板に固定する位置を決めます。
②テラス柱用化粧カバーに穴(φ4.5)をあけ、床板に下穴(φ4.5)の現場加工を行い、ネジ止めしてください。
※床板に固定できる位置に穴をあけてください。

●柱単独用



穴(φ4.5)をなるべく4隅をネジ止めしてください。

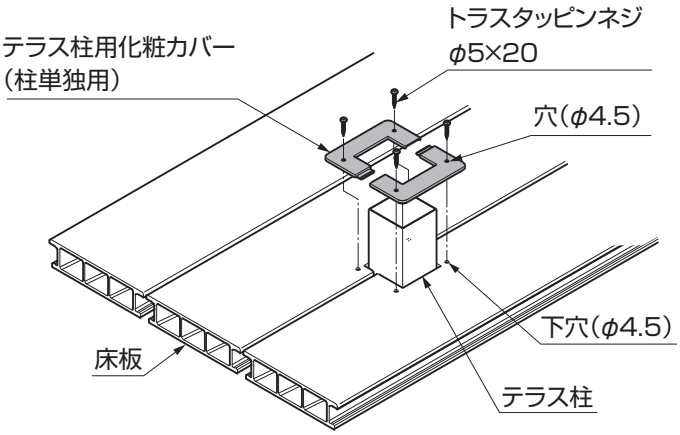
●雨どい付き柱用



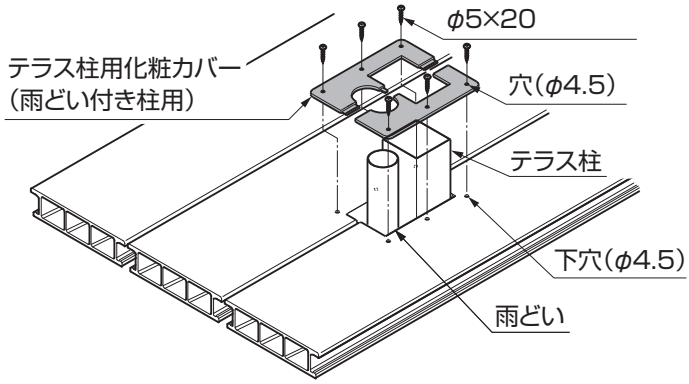
穴(φ4.5)4隅および中央部をネジ止めしてください。

【柱単独仕様の場合】

●本図はアルミテラス接続タイプを示します。

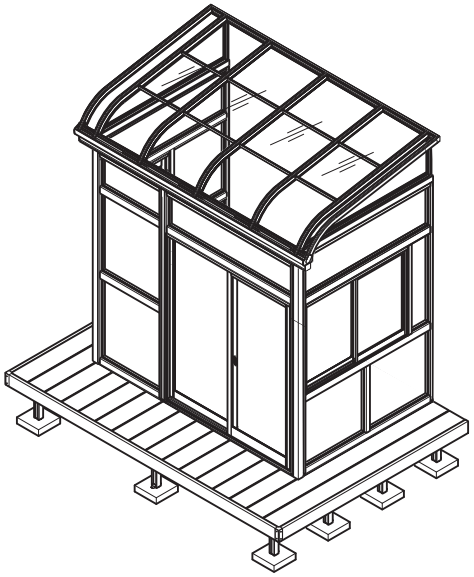


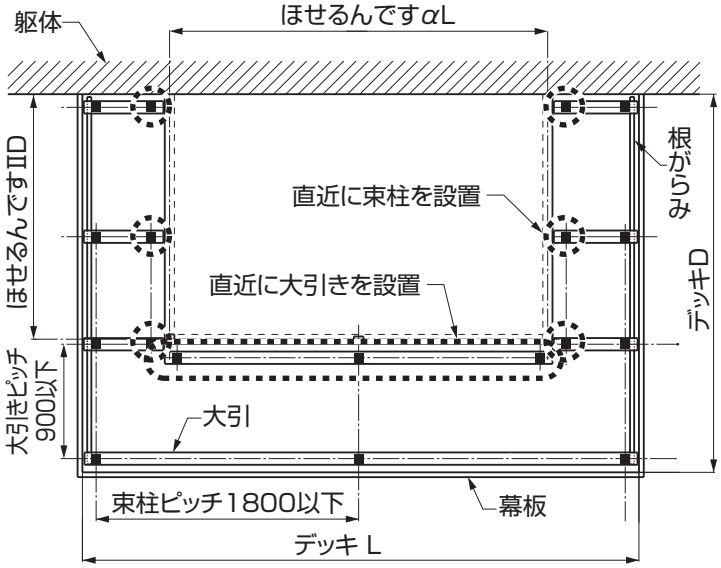
【雨どい付き柱仕様の場合】



2. ほせるんですⅡ、サンクスペースⅡ、ルームトラスとの接続

●製品の取付けは、「ほせるんですⅡ 取付け説明書」、「サンクスペースⅡ 取付け説明書」、「ルームトラス取付け説明書」を参照してください。



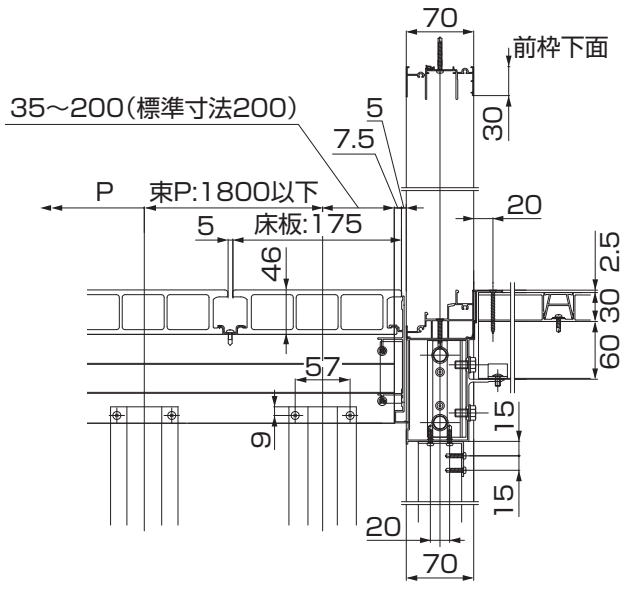


※ほせるんですⅡ、サンクスペースⅡ、ルームトラスを囲うようにデッキを設置してください。
※床板の切り欠きが必要な際は、床板縦切りインナー材を取付けてください。(「 2　施工時の重要確認事項(P.11)」を参照してください。)

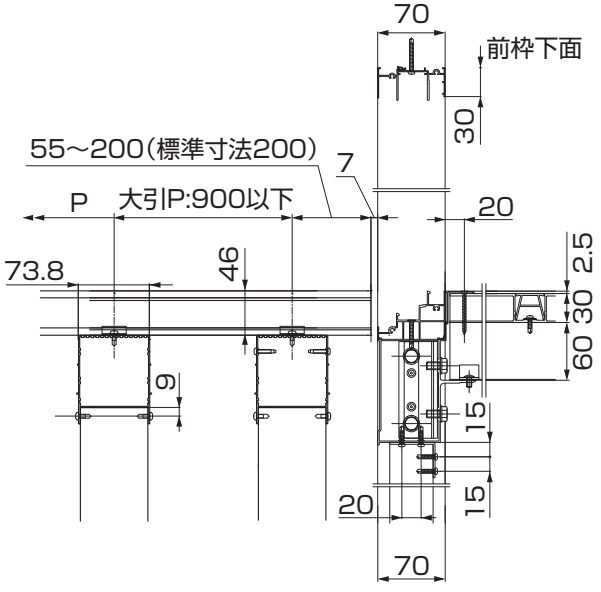
■ほせるんですⅡ、サンクスペースⅡ、納まり参考図

●本図はほせるんですⅡ、サンクスペースⅡ納まりを示す。

●床板縦張り



●床板横張り

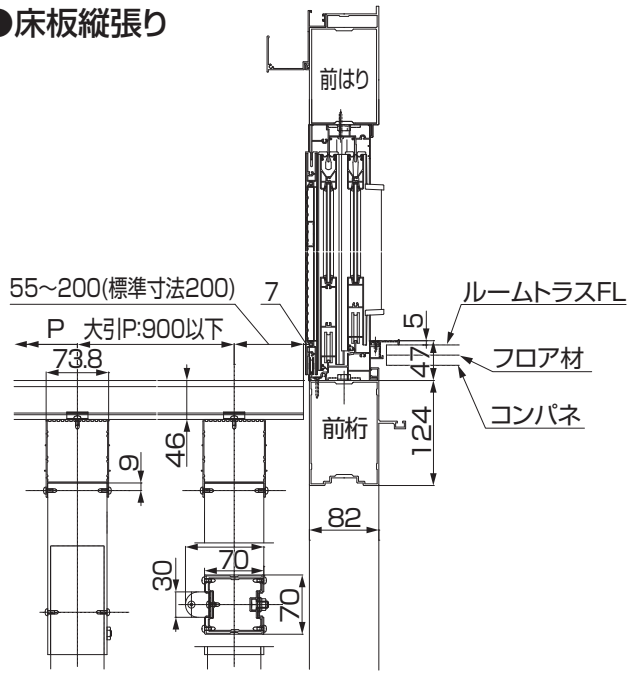


E343_201305A

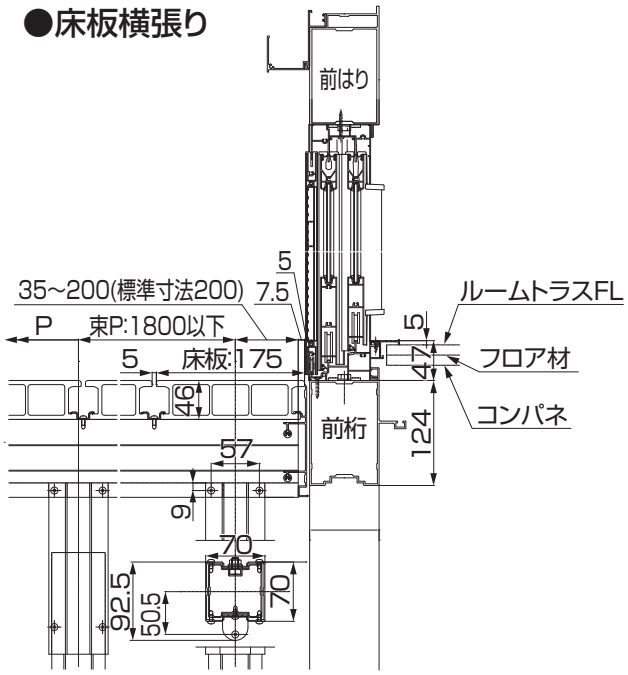
2. ほせるんですⅡ、サンクスペースⅡ、ルームトラスとの接続(つづき)

■ルームトラス納まり参考図

●床板縦張り



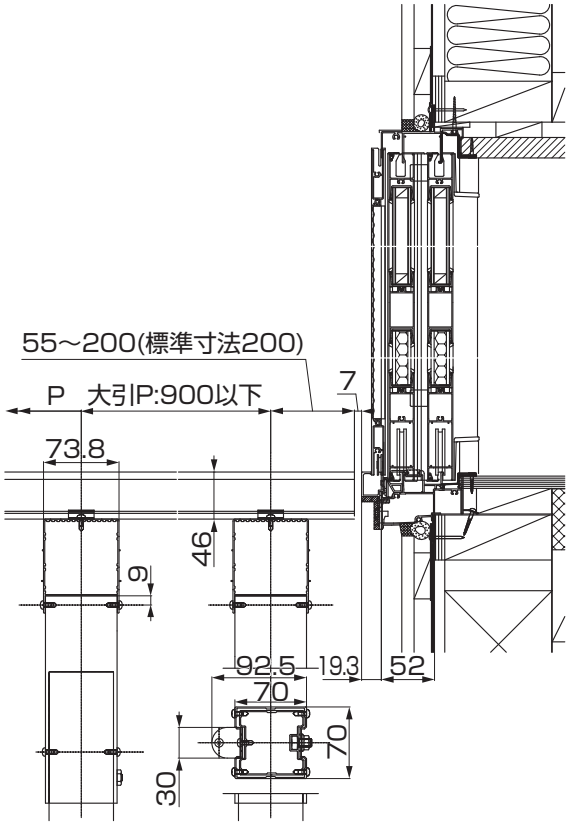
●床板横張り



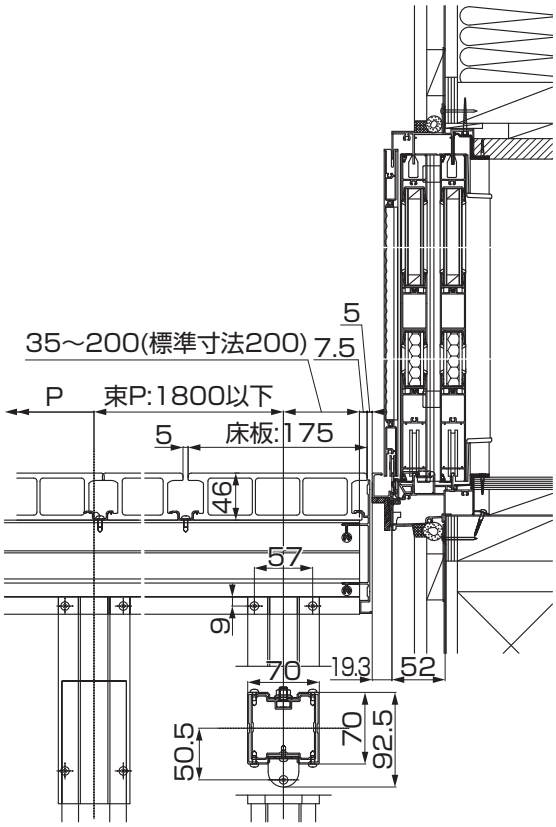
3. ノンレールサッシとの接続

■ノンレール納まり参考図

●床縦張り

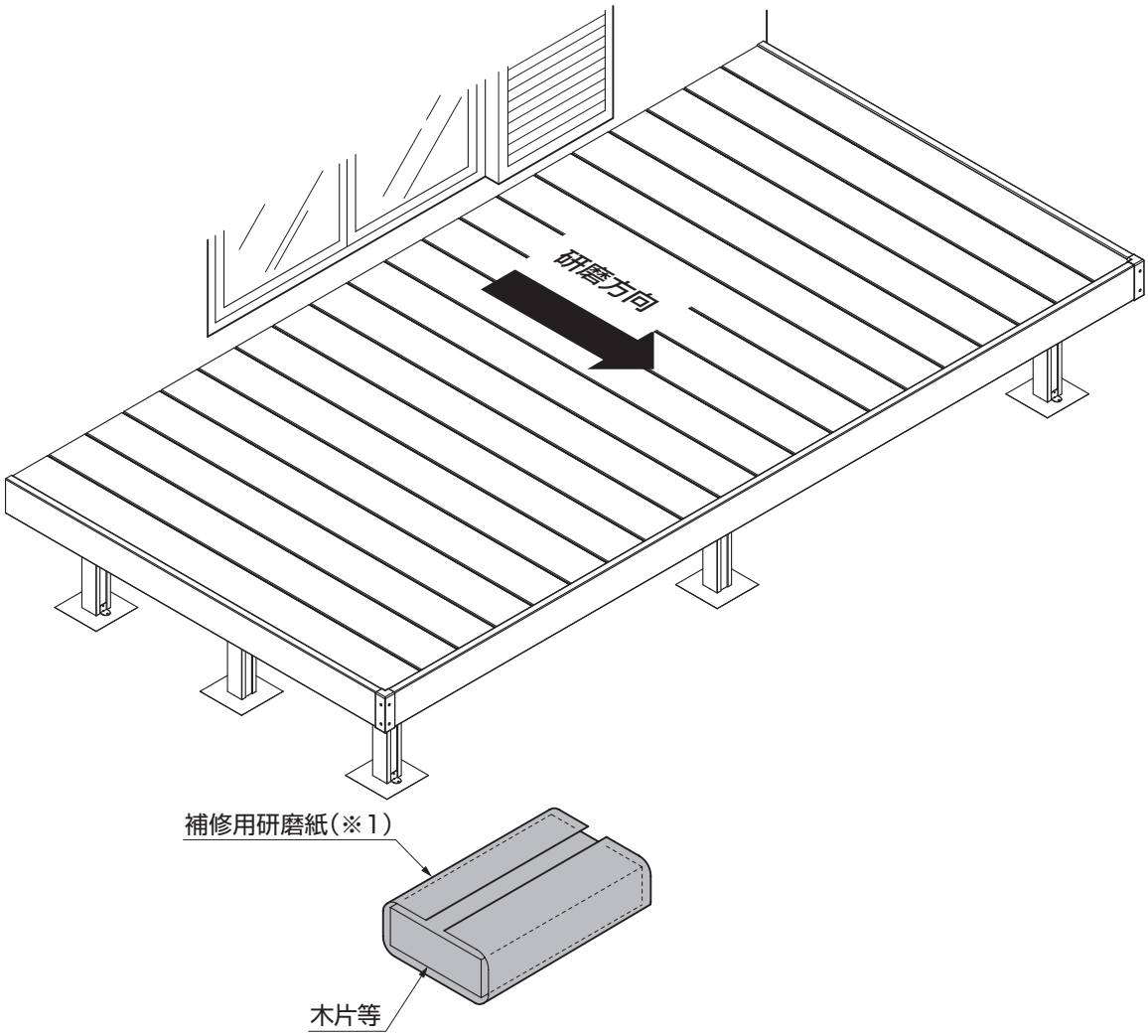


●床横張り



E343_201305A

12　施工後の補修



①施工後、表面に付いたすりキズは図の研磨方向に補修用研磨紙で仕上げてください。

ポイント

●強くこすりすぎないでください。下地が出てしまうおそれがあります。
●一定の方向にこすってください。
●1 ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
●平らな部材を研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)

補 足

●市販の研磨紙を使用する場合は、40番の研磨紙を使用してください。

取説コード
E343
JZZ626026
201305A_1041